

わかみやおおじしゅうへんいせきぐん
若宮大路周辺遺跡群 (No.242)

大町一丁目 1034 番 9 地点

例 言

1. 本報告は、鎌倉市大町一丁目1034番9において実施した若宮大路周辺遺跡群（鎌倉市No.242）の発掘調査報告である。
2. 発掘調査は平成22年8月18日から同年11月5日にかけて、店舗併用住宅の建設に伴う国庫補助事業として鎌倉市教育委員会が実施した。調査の対象面積は、79.81㎡である。
3. 発掘調査体制は、以下のとおりである。

主任調査員	押木弘己（鎌倉市文化財課 臨時的任用職員）
調査員	岡田慶子、渡辺美佐子（鎌倉市文化財課 臨時的任用職員）
調査補助員	佐藤ななみ、椎木達哉（鎌倉市文化財課 臨時的任用職員）
作業員	牛嶋道夫、中須洋二、大塚尚城、根市真古人

（公益社団法人 鎌倉市シルバー人材センター）

整理作業参加者	押木弘己、遠藤綾子、佐藤千尋、吉田麻子（鎌倉市文化財課 臨時的任用職員）
	天野隆男、串田健一、倉澤六郎、高橋こう子、高山譲二、松岡信喜

（公益社団法人 鎌倉市シルバー人材センター）
4. 本報告では世界測地系（第IX系）の国家座標軸に基づく測量成果を掲げたが、平成23年3月11日以前の測量基準点を基に測量・作図したため、座標値は東日本大震災後の地殻変動に対応した補正值となっていない。
5. 本報告の執筆と編集は、押木が行った。
6. 本報告で使用した写真は、現地・出土遺物とも押木が撮影した。
7. 本報告の作成に当たり、次の諸氏からご教示を賜った（敬称略）。

古田土俊一（浄光明寺）・汐見一夫（鎌倉市教育委員会）
8. 本調査に係わる出土遺物および各種記録類は、鎌倉市教育委員会が保管している。本調査地の略称は市教育委員会の統一基準に従って「WA1006」とし、出土品への注記などに使用した。

目 次 本 文 目 次

第一章 遺跡の位置と歴史的環境	161
第二章 調査の方法と経過	163
第1節 調査に至る経緯	
第2節 調査の方法	
第3節 調査の経過	
第三章 基本土層	164
第四章 発見された遺構と遺物	170
第1節 1面の遺構と遺物	
第2節 2面の遺構と遺物	
第3節 3面の遺構と遺物	
第4節 4面の遺構と遺物	
第五章 調査成果のまとめ	193

挿 図 目 次

図1 調査地の位置.....	162	図16 表土～1面出土遺物②.....	182
図2 調査区配置図.....	163	図17 1面遺構出土遺物①.....	183
図3 調査区セクション図①.....	165	図18 1面遺構出土遺物②.....	184
図4 調査区セクション図②.....	167	図19 1面下～2面出土遺物①.....	185
図5 調査区セクション図③	169	図20 1面下～2面出土遺物②.....	186
図6 1面全体図.....	171	図21 2面遺構出土遺物①.....	187
図7 1面個別遺構図.....	172	図22 2面遺構出土遺物②.....	188
図8 2面全体図.....	173	図23 2面遺構130・138出土遺物.....	189
図9 2面個別遺構図①.....	174	図24 2面下～3面出土遺物.....	190
図10 2面個別遺構図②.....	175	図25 3面遺構出土遺物.....	191
図11 3面全体図.....	177	図26 3面道1c下～4面(地山面)	
図12 3面個別遺構図.....	178	・3面遺構18出土遺物.....	192
図13 4面全体図.....	179	図27 3面下～4面(地山面)	
図14 4面個別遺構図.....	180	・4面遺構出土遺物.....	192
図15 表土～1面出土遺物①.....	181	図28 線刻画(階調反転).....	194

表 目 次

表 1 出土遺物観察表.....	195	表 2 出土遺物カウント表・計量表.....	204
------------------	-----	------------------------	-----

図 版 目 次

図版 1	233	図版 4	236
1. 現地調査前 (南から)		1. Ⅲ区第 2 面 遺構 130 (北東から)	
2. 表土掘削作業 (北東から)		2. 遺構 130 底面清掃作業 (北から)	
3. I 区 第 1 面 (南西から・○印は線刻硯の出土位置)		3. Ⅲ区第 2 面 遺構 130・138 断面 (西から)	
4. 第 1 面 遺構 10 線刻硯出土状況		4. 遺構 130 床下埋甕 (南西から)	
5. I 区 第 4 面 (北東から)		5. Ⅲ区第 2 面 清掃作業 (北から)	
6. 第 3 面 遺構 18 (第 4 面検出時、南西から)		図版 5	237
7. I 区 南壁断面 (北東から)		1. Ⅲ区第 2 面 遺構 138 (北西から)	
8. I 区 地山砂質土面 (東から)		2. 遺構 138 断面 (南西から)	
図版 2	234	3. 遺構 138 断面 (北東から)	
1. Ⅱ区 第 1 面 (北東から)		4. 遺構 138 床下土坑 (南西から)	
2. Ⅱ区第 1 面 道路 1 a (北東から)		5. Ⅲ区 第 4 面 (北東から)	
3. 道路 1 a 路盤内遺物出土状況		図版 6	238
4. 道路 1 a ～ 1 b 掘り下げ時断面 (南西から)		1. 第 2 面道路 1 b (北東から)	
5. Ⅱ区第 1・2 面 道路 1 a・ 遺構 10 断面 (南西から)		2. 第 2 面道路 1 b 路面上貝砂	
6. Ⅱ区 第 2 面 (北東から)		3. 地山砂中の貝層	
7. Ⅱ区第 2 面 道路 1 b (北東から)		4. 道路 1 c 下～地山面 断面 (南西から)	
図版 3	235	5. 道路 1 a ～地山面 調査区北壁断面 (南西から)	
1. Ⅱ区 第 3 面 (北東から)		6. Ⅲ区 道路 1 下 第 4 面 (北東から)	
2. Ⅱ区 第 4 面 (北東から)		7. 第 4 面 遺構 160 断面 (南西から)	
3. Ⅱ区 第 4 面 (東から)		8. 第 4 面 遺構 160 (南東から)	
4. Ⅱ区第 4 面 遺構 18 (南西から)		図版 7 ～ 10 出土遺物.....	239
5. Ⅱ区 地山砂質土面 (北東から)			
6. Ⅲ区 第 1 面 (北東から)			
7. Ⅲ区 第 2 面 (北東から)			
8. Ⅲ区第 2 面 遺構 130・138 断面 (南西から)			

凡 例

1. 挿図の縮尺は、遺構・遺物ともに図中に表示している。
2. 本書中に記載した国土座標値は、世界測地系 (第 IX 系: 東日本大震災後の補正前) に基づいている。
3. 挿図に示した方位標は座標北 (Y 軸) で、真北はこれより 0° 09' 25" ほど東に振れている。
4. 遺構挿図中の水系高は、海拔値を示す。

第一章 遺跡の位置と歴史的環境

本地点は若宮大路の東側に位置し、下馬交差点から至近の位置にある。かつて若宮大路には上・中・下3本の「下馬橋」が懸かっていたといい、現在の下馬交差点近辺には下の下馬橋が存在していたと考えられている。ちなみに、上の下馬橋は鶴岡八幡宮社頭の赤橋に比定、中の橋は二の鳥居前に存在したとする理解が一般的である。下馬は社寺や貴人への敬意や礼節を表す行為であり、八幡宮への参詣道たる若宮大路の性格を象徴的に表す名称といえる。

「下の下馬」は、若宮大路と笹目から名越方面へと通じる東西道路（大町大路）とが交差する場所に位置しており、『吾妻鏡』建保元年（1213）五月二日条は、この東側が「若宮大路米町口」と呼ばれていたことを伝えてくれる。また、建長三年（1251）十二月三日条と文永二年（1265）三月五日条からは幕府が鎌倉中での商業活動を七地区に限定許可したことが知られるが、この中には大町や米町（穀町）・小町など当地付近の地名も多く含まれている。こうした史料上の記載を裏付けるものか、周辺の発掘調査では手工業生産との関わりを示す知見も得られており、商行為に付随する生産（職能）活動がこの地域一帯で行われていた状況を想起させる。その一方で、『吾妻鏡』などからは当地付近に御家人屋敷も少なからず存在していた様子が窺える。当地点とは距離的にやや隔たりがあるが、米町遺跡の一地点では鎌倉時代の寺院または武家屋敷としての様相が確認されており、当地区が庶民の居住・生業一辺倒の場ではなかったことが発掘成果によっても追認されている。周辺の発掘調査では、破碎泥岩を用いた道路跡が随所で発見されているが、こうした大小規模の道路が鎌倉の交通機能とともに土地区画の役割も担っていたことは容易に推察できる。そして道路や溝、堀によって細分された区画ごとに庶民活動・居住の場としての町屋と武家屋敷あるいは寺院の混在する都市景観が鎌倉時代を通じて形づくられていったのだろう。

当地区の町屋としての賑わいは、中世後期になっても続いたようである。相模原市津久井の光明寺に残る明応六年（1497）七月二十五日付「善法（宝）寺分年貢注文」は、大町地区の米町や中座に青物屋、紙屋、塗師、銀細工などの商工業者が存在したことを伝えており、同時期の製作と考えられる「善寶寺寺地図」は、本地点付近の様子を詳細に描写している。それによれば、「置石」（段葛）の東側に滑川を渡る橋（延命寺橋）と民屋と思しき家並が続き、そこに「米町」と注記されている。その北に「善寶寺之地」と記された長方形の区画が見え、本地点もこの区画内に位置したと考えられる。「善寶寺之内」は滑川を挟んだ北岸にも広がっており、同寺が北は本覚寺、西は若宮大路、南は大町大路、東は小町大路によって画された広大な寺域を保有していたことが分かる。このうち善寶寺は廃寺となり、善昌寺（廃寺）を経て江戸前期の延宝六年（1678）には材木座光明寺境内にあった教恩寺が移され現在に至っている。

現在、鎌倉の市街地を貫く滑川は本地点の北で扇川と合流し、佐助川など丘陵部の谷戸に端を発する小流もこの周辺に集まっている。このことから分かるように、下馬交差点の付近は鎌倉の沖積平野においても一際低い土地となっている。本地点は海拔6.5mの微高地上に立地し、現況で下馬交差点より2.7mほど高い（図1）。こうした土地条件のため本地点の地下水位は低く、故に木材などの有機質遺物は殆ど遺存していなかった。

中世の基盤層となる黒褐色粘質土は海拔5.2m前後で確認され、南と西に向けて僅かに下がっていく状況が見て取れた。これ以下の堆積は明褐色の砂質土～砂層へと漸移していき、海拔3.8mで貝殻粒を多量に含む黄褐色砂層の堆積を確認した。約6000年前とされる、縄文時代前期の最海進時に形成されたものであろう。

【参考文献は第5章末（194頁）に掲載した】

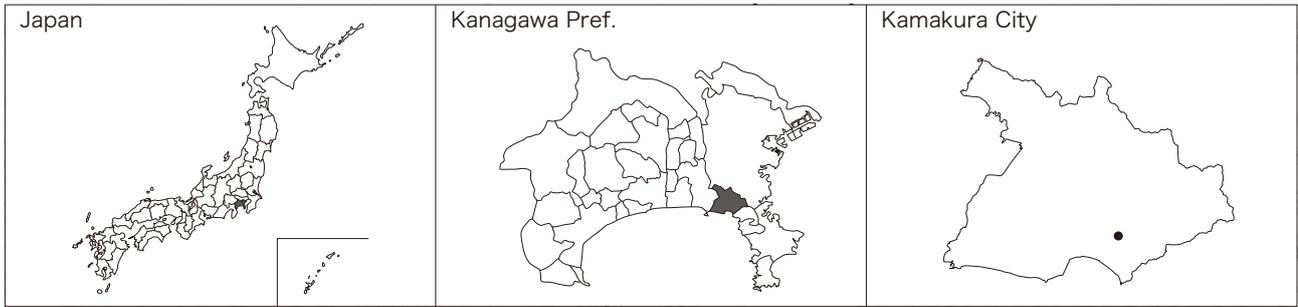


図1 調査地の位置

第二章 調査の方法と経過

第1節 調査に至る経緯

本発掘調査は店舗併用住宅の建設に伴う事前調査として、鎌倉市教育委員会（市教委）が実施した。建築計画では基礎工事として現地地表下3.5 mまでの柱状改良を施すことから、市教委は平成22年1月19日と20日の二日間にわたって埋蔵文化財の確認調査を実施した。この結果、地表下50cmで中世の遺物包含層が検出され、地表下80cm、104cm、118cm、150cmでも中世遺構面と思しき堆積層が確認された。さらに下位にも中世遺構の存在を予測させる結果が得られたことから、建築計画の実施に先立ち本格的な発掘調査を実施する必要があるとの判断に至った。

以上の手続きを経て、平成22年8月18日～11月5日の約2ヶ月半をかけて現地での調査を実施した。

第2節 調査の方法

重機による表土除去後、掘削に伴う残土置き場を確保する必要から79.81㎡の範囲を三分割して調査を進めた（図2）。Ⅱ区西端部で遺存状態の良好な南北道路遺構が確認できたことから、道路幅などの全体像を視覚的に捉えるべく、続くⅢ区に着手するまで同遺構を残すこととした。

今回は大きく4枚の中世遺構面を確認したが、各区とも中世基盤層上の第4面の調査まで終えた後、同基盤層である黒褐色粘質土層から暗黄灰色砂質土上面まで掘り下げて古代以前の遺構・遺物について確認を試みた。その結果、いずれの調査区でも遺構・遺物の検出には及ばなかった。

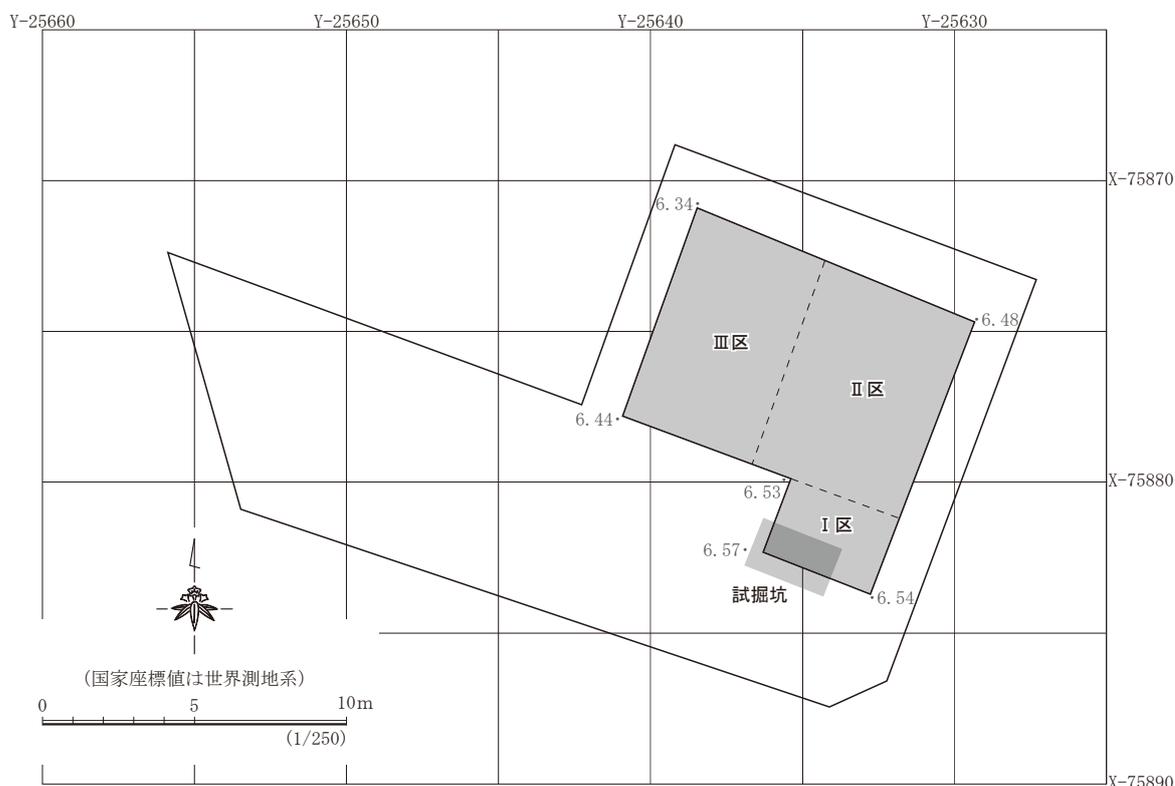


図2 調査区配置図

各調査区とも遺物包含層以下は全て人力によって掘削し、順次下層遺構面への掘り下げと遺構掘削、および写真撮影・測量図作成といった記録作業を進めた。測量に当たっては国家座標系に基づく基準軸を設定し、主に光波測距儀を用いて平面図の作図を行った。座標移動は市道上に設置された鎌倉市4級基準点「D01U129」と「D01U130」の座標値を国土地理院発行のweb版「TKY2JGD」で世界測地系(第IX系)に変換した後、二点間関係をもとに開放トラバース法によって行った。なお、図2に示した座標値は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災後の補正值とはなっていない。

第3節 調査の経過

前述のとおり、本地点の調査は平成22年8月18日に開始した。Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ区の順に調査を進め、Ⅰ区は9月6日に、Ⅱ区は10月7日に、Ⅲ区は11月4日に調査を終えた。11月5日には調査用具を撤収し、現地での調査工程を全て終了した。

出土品などの整理作業は、平成26年度末に遺物実測に着手し、27年度前半には挿図および写真図版の作成、次いで表組みの作成・本文執筆へと作業を進めた。これら一連の整理作業は、鎌倉市文化財課分室で行った。

第三章 基本土層

中世の遺構群は海拔5.2m前後の黒褐色粘質土上面を基盤とし、盛土造成と竪穴建物・土坑等の掘削を繰り返しながら形成されていた。中世基盤層上の4面から標高6.1m付近の1面まで、大きく4枚の遺構面が確認できた。造成土および遺構覆土は暗褐色砂質土がベースで、これに泥岩のブロックや粒子が多く含まれる。黒褐色粘質土を取り除いた標高4.8m前後では暗黄灰色砂質土の堆積が確認された。今回の調査ではこれより下位への掘削は行わなかったが、中世竪穴建物の掘り方壁面では貝殻粒を多く含む黄褐色砂層が確認されている。貝殻の粒径や含有量の違いによる間層も見受けられ、それらは概ね南へ向けて緩やかに下がっていた。地質学的裏付けをもたないが、おそらく縄文海進に伴い形成された砂層ではないかと考えている。

次章でも述べるように、本地点では調査区の中央を南北に縦貫する中世の道路遺構が連綿と築かれていたが、これを挟んだ東西で検出遺構の形態が大きく異なり、道路以東は土坑や井戸を主体とし、以西では竪穴建物が繰り返し構築されていた。このため、調査区全域を通じて遺構面の把握が困難であった中、道路以東では竪穴建物の重複によって1面以下、中世基盤層までの間に明確な生活面を見出すことはできなかった。こうした理由から、現地では竪穴建物群について3面遺構と捉えていたが、土層断面や遺構間の切り合い関係を検討した結果、本報告では2面段階の遺構と判断した。これに伴い、調査時に1面下や2面として記録した遺構についても、実際には1面より下位にあることが明らかであっても本報告で1面遺構に集約したものがある。土層断面および遺構間の切り合いに基づく帰属面の変更は、道路以西の遺構についても行っているが、夥しい数の遺構を4時期に大別した結果であるので、各面は厳密に同時期の遺構だけで構成されたものではなく、多少の混乱を残している。

調査区壁等の土層断面については、図3～5を参照されたい。

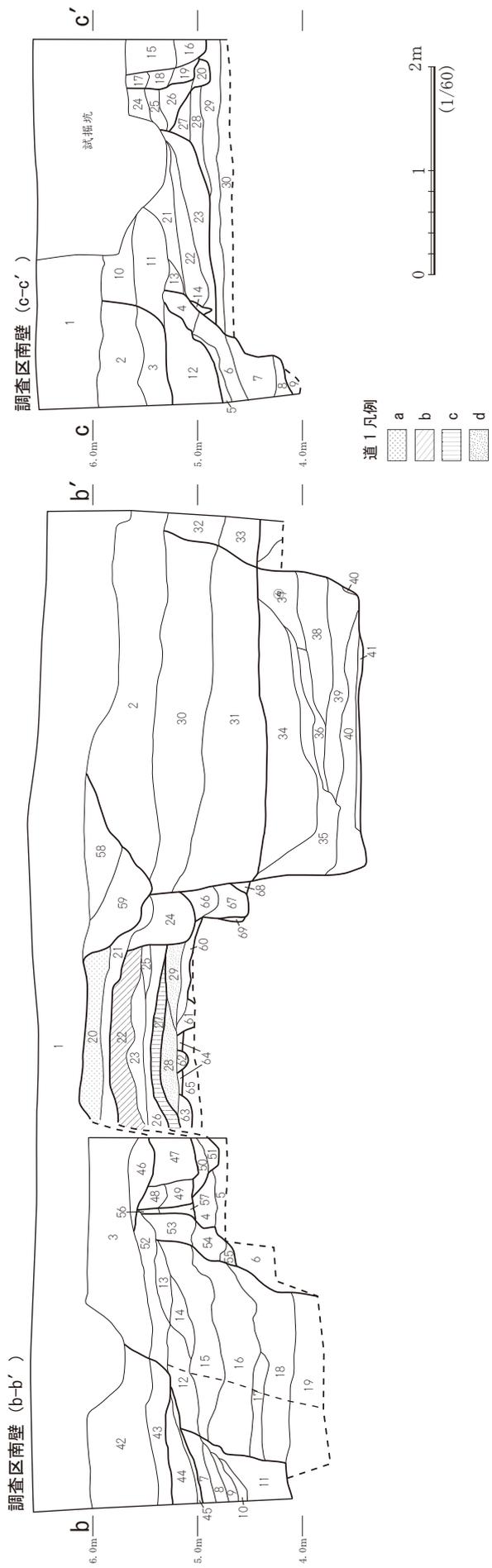
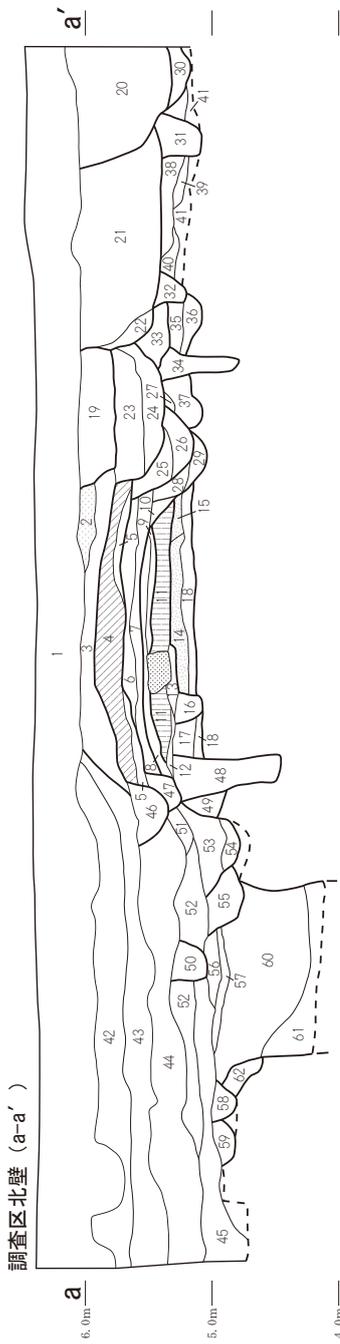
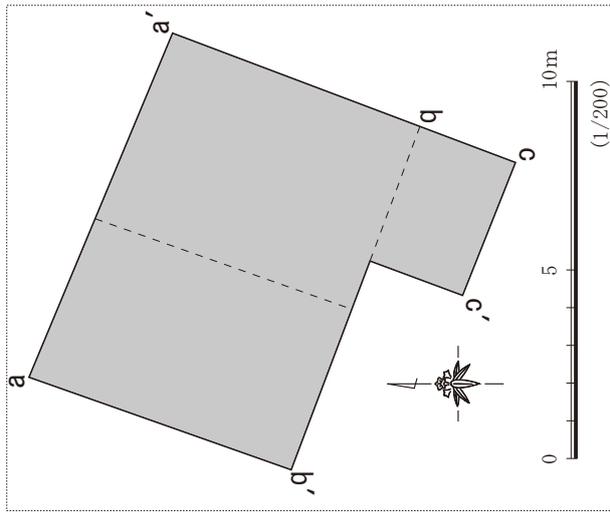


図3 調査区セクション図①

調査区北壁 (a-a') 土層説明

1. 暗灰褐色土 表土。砂質土でコンクリート片など混入。
- 道 1a ~ 1d**
2. 暗褐色土 砂質土。泥岩ブロック多量。
3. 暗褐色土 砂質土。2層より泥岩ブロック少ない。
4. 黄灰色土 大型泥岩による道路整地層。
5. 灰褐色土 砂質土。これに泥岩ブロックを入れて4層を構築。
6. 黄灰色土 泥岩粒による道路整地層。上面に混貝砂の薄層。
7. 暗灰褐色土 砂質土。
8. 黄灰色土 砂質土に泥岩粒と混貝砂を混ぜた整地層。
9. 暗灰褐色土 砂質土。
10. 暗灰褐色土 砂質土。泥岩粒少量。
11. 褐色砂 中粗砂。締まりややあり。
12. 黒色土 粘質土ベース。灰色砂微量。
13. 灰褐色砂 貝殻片ごく微量。締まり弱い。
14. 暗灰褐色砂 貝殻片多量泥岩粒少量。
15. 暗灰褐色土 砂質土。薄い炭層を挟む。締まり非常に強い。
16. 灰褐色砂 締まり弱い。
17. 灰褐色砂 細砂。締まり強い。
18. 暗黄灰褐色砂 細砂。酸化のため非常に締まり強い。炭粒ごく微量。
- その他**
19. 暗褐色土 2層より泥岩ブロック減る。
20. 暗褐色土 泥岩ブロック多量。締まり弱い。
21. 暗褐色土 泥岩粒やや多い。締まりあり。
22. 暗黄褐色砂 泥岩ブロックやや多い。
23. 灰褐色土 泥岩粒多い。締まり弱い。
24. 灰褐色土 砂質土。炭粒少量。
25. 暗灰褐色土 砂質土。炭粒少量。
26. 暗褐色土 泥岩ブロック多い。
27. 灰褐色土 砂質土。
28. 暗灰褐色土 砂質土。泥岩ブロック少量。
29. 暗灰褐色土 砂質土。泥岩ブロックやや多い。
30. 暗黄褐色土 砂質土。炭粒少量。
21. 暗褐色土 泥岩粒少量。粘性ややあり。
2. 暗褐色土 泥岩粒少量。粘性ややあり。
33. 暗黄褐色土 泥岩粒少量。
34. 暗褐色土 粘質土。泥岩粒、黄色さ砂少量。
35. 暗黄褐色土 砂質土。炭粒少量。締まり弱い。
36. 黄色褐色土 砂質土。35層より炭粒減る。締まり弱い。
37. 暗灰褐色土 粘質土。黄灰色砂を多く含む。
38. 暗褐色土 炭化物多量。締まり弱い。
39. 暗褐色土 粘質土。炭粒少量。
40. 暗褐色土 粘質土。黄色砂、炭粒少量。
41. 黄褐色砂 均質な微細砂。
42. 暗褐色土 泥岩粒少量。締まりあり。
43. 暗褐色土 泥岩粒少量。
44. 暗褐色土 泥岩粒多量。締まり、粘性あり。
45. 暗褐色土 砂質土。泥岩粒ごく微量。
46. 暗褐色土 泥岩粒少量。
47. 暗褐色土 泥岩粒ごく微量。締まり、粘性ややあり。
48. 暗褐色土 砂質土。
49. 黒褐色土 粘質土ベース。泥岩粒ごく微量。
50. 暗褐色土 泥岩粒多量。
51. 暗褐色土 砂質土。
52. 暗褐色土 砂質土。泥岩粒ごく微量。
53. 黒褐色土 粘質土ベース。砂粒少量。
54. 黒褐色土 粘質土ベース。56層より砂粒減る。
55. 黒褐色土 粘質土ベース。砂粒少量。
56. 黒褐色土 粘質土ベース。混貝微砂粒少量。
57. 暗黄褐色砂 混貝微砂。
58. 黒褐色土 粘質土ベース。砂粒、炭粒ごく微量。
59. 黒褐色土 粘質土。締まり弱い。
60. 暗褐色土 砂質土。粘性ややあり。炭粒少量。
61. 黄褐色砂 粗砂。
63. 暗褐色土 粘質土+砂。泥岩粒ごく微量。

調査区南壁 (b-b') 土層説明

1. 暗灰褐色土 表土。砂質土でコンクリート片など混入。
2. 黒色土 粘質土ベース+炭。締まり、粘性あり。西壁8層。
3. 暗褐色土 泥岩粒、炭粒多い。
4. 黒灰色土 粘質土ベース+砂粒微量。
5. 暗黄灰色土 粘質土。
6. 黄灰色砂 粘質土が斑文状に混入。
- 遺構 14・17**
7. 暗褐色土 砂質土。炭粒多い。
8. 暗褐色土 砂質土。炭粒多い。
9. 暗褐色土 泥岩粒多い。
10. 暗灰褐色土 砂質土。炭粒多い。
11. 暗灰褐色土 泥岩粒、炭粒少量。
- 遺構 18**
12. 暗褐色土 泥岩粒少量。締まりあり。
13. 暗褐色土 泥岩粒少量。
14. 暗褐色土 泥岩粒やや多い。
15. 暗褐色土 泥岩粒、炭粒少量。
16. 暗褐色土 泥岩粒少量、炭粒やや多い。
17. 暗褐色土 泥岩粒少量。粘性ややあり。
18. 暗褐色土 泥岩粒、炭粒、貝殻片少量。
19. 暗褐色土 泥岩粒、炭粒、貝殻片少量。
- 道 1a ~ 1d**
20. 暗褐色土 泥岩ブロック多い。
21. 暗褐色土 砂質土。締まり弱い。
22. 黄褐色土 泥岩ブロックによる整地層。
23. 暗褐色土 砂質土。貝殻片少量。
24. 暗褐色土 泥岩ブロック多量。**道 1b側溝**
25. 黒褐色土 砂質土。炭粒多量、貝殻片少量。
26. 黒褐色土 砂質土。炭粒多量。
27. 暗褐色土 泥岩粒少量、貝殻片多量。締まり非常に強い。
28. 暗褐色土 砂質土。貝殻片少量。締まり強い。
29. 暗褐色土 砂質土。泥岩粒、貝殻片少量。締まり強い。
- 遺構 131**
30. 暗褐色土 泥岩ブロックやや多い。
31. 暗褐色土 泥岩ブロック、貝殻片多量。
- 遺構 131西**
32. 暗褐色土 泥岩粒少量。西壁31層。
33. 暗褐色土 泥岩粒やや多い。西壁33層。
- 遺構 138**
34. 暗褐色土 砂質土。貝殻片少量。締まり、粘性ややあり。
35. 黒褐色土 粘質土。泥岩粒ごく微量。締まりあり。
36. 暗黄褐色土 砂質土。
37. 暗褐色土 粘質土ベース。黄色砂、貝殻片ごく微量。締まりあり。
38. 暗褐色土 粘質土ベース+黄色砂を斑文状。締まり、粘性あり。
39. 暗褐色土 粘質土ベース。黄色砂混入。締まり、粘性あり。
40. 暗黄褐色砂 濁った混貝砂ベース。部分的に薄い炭層を挟む。
41. 黒色土 粘質土ベース。炭粒混入。締まり、粘性あり。
- その他**
42. 暗褐色土 泥岩粒、炭粒多い。
43. 暗褐色土 泥岩ブロック多量。
44. 暗褐色土 泥岩粒やや多い。炭粒少量。
45. 灰褐色土 粘質土。締まり弱い。
46. 黄褐色土 砂質土。泥岩ブロック少量。
47. 黄褐色土 砂ベース+灰色粘質土の混交土。
48. 黄褐色砂 砂粒少量。
49. 暗黄褐色土 砂粒少量。
50. 黄褐色土 砂ベース+粘質土少量。
51. 暗灰色土 泥岩ブロック多い。
52. 暗褐色土 泥岩粒少量。
53. 暗褐色土 泥岩粒少量。
54. 黄褐色土 砂ベース+粘質土の混交土。
55. 暗黄褐色土 粘質土ベース。砂粒少量。
56. 黄褐色土 砂ベースに粘質土少量。
57. 暗褐色土
58. 暗褐色土 泥岩ブロック微量。締まり弱い。**道 1a側溝**
59. 暗褐色土 56層より泥岩ブロック減り、締まり弱い。**道 1a側溝**
60. 黒褐色土 粘質土ベース+砂。締まりあり。
61. 暗褐色土 砂質土。泥岩粒ごく微量。
62. 黒褐色土 粘質土ベース+砂少量。
63. 暗褐色土 砂質土。
64. 暗褐色土 砂質土。締まり非常に強い。道路面の可能性あり。
65. 黒褐色土 粘質土。中世基盤層。北壁44層。
66. 暗褐色土 粘質土ベース+砂。泥岩粒、貝殻片少量。
67. 暗褐色土 粘質土ベース+砂。泥岩粒微量、炭粒少量。66層より締まり、粘性強い。
68. 暗褐色土 粘質土ベース。泥岩粒ごく微量。67層より締まり強い。
69. 黒褐色土 粘質土主体。砂粒、炭粒ごく微量。

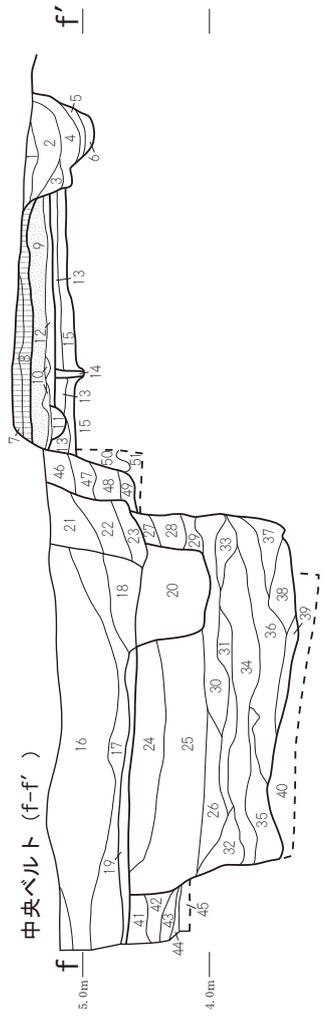
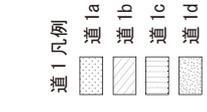
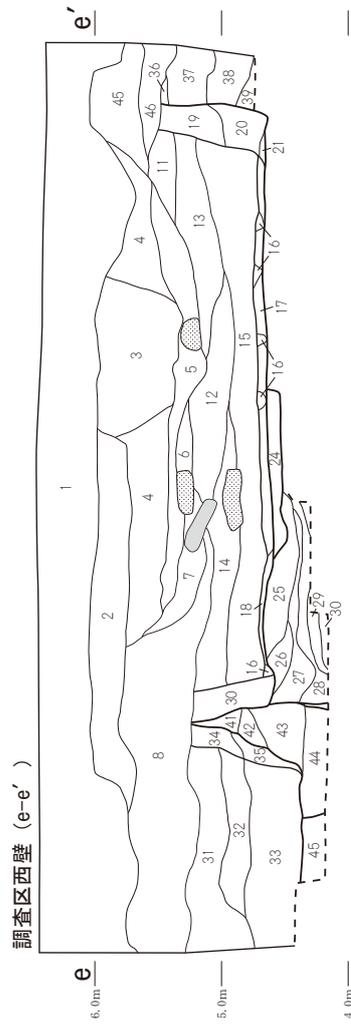
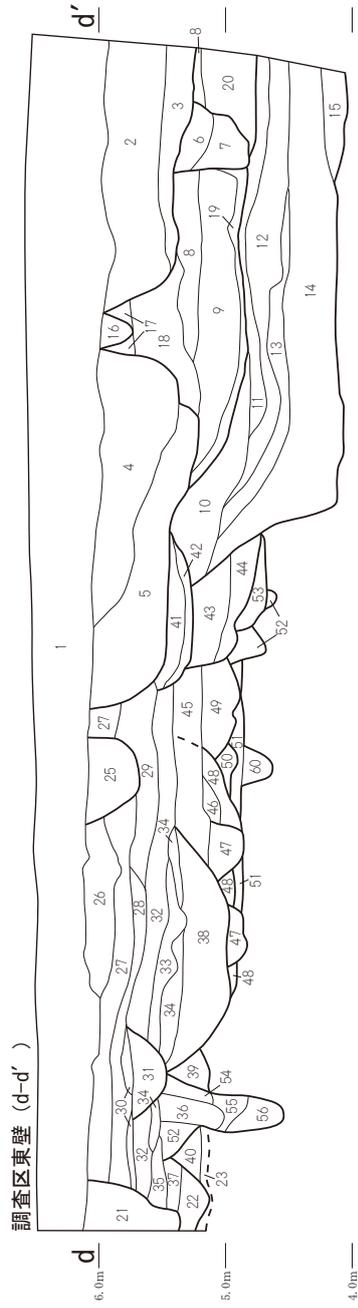
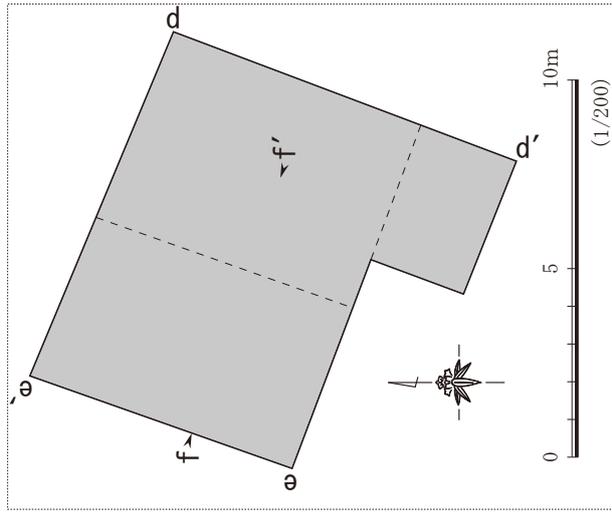


図4 調査区セクション図②

調査区南壁 (c-c') 土層説明

1. 暗灰褐色土 表土。砂質土でコンクリート片など混入。
- 遺構 3**
2. 暗褐色土 泥岩粒、炭粒多量。縮まりややあり、粘性なし。
 3. 暗褐色土 2層より泥岩粒少ない。
- 遺構 14・17**
5. 暗褐色土 砂質土。炭粒多い。東壁11層。
 6. 暗褐色土 泥岩粒多い。東壁12層。
 7. 暗灰褐色土 泥岩粒、炭粒少量。東壁14層。
 8. 暗褐色土 泥岩粒少量。炭粒、貝殻片少量。東壁15層。
 9. 黄褐色砂 自然堆積層。
- その他**
- 10.
 - 11.
 - 12.
 13. 暗褐色土 泥岩粒少量。縮まりあり。
 14. 暗褐色土 やや砂質。泥岩粒少量。
 15. 暗黄褐色土 泥岩粒、砂粒多量。
 16. 暗黄褐色土 泥岩粒、砂粒多量。
 17. 暗黄褐色土 泥岩粒、砂粒多量。
 18. 暗褐色土 炭粒少量。粘性ややあり。
 19. 暗黄褐色土 炭粒、貝殻片やや多い。
 20. 暗褐色土 泥岩ブロック少量。粘性ややあり。
 21. 黄褐色砂 粘質土が斑文状に混入。泥岩粒少量。
 22. 暗褐色土 泥岩粒、砂粒、炭粒少量。粘性ややあり。
 23. 暗褐色土 泥岩粒少量。粘質土ブロック混入。
 24. 暗黄褐色土 砂質土。泥岩ブロック少量。
 25. 暗黄褐色土 24層より砂粒少ない。泥岩粒少量。
 26. 灰褐色土 砂質土。炭粒多量。
 - 27.
 28. 暗灰色土 粘質土ベース。砂粒、炭粒少量。
 29. 黒灰色土 粘質土。砂粒微量。
 30. 暗黄灰色土 粘質土。

調査区東壁 (d-d') 土層説明

1. 暗灰褐色土 表土。砂質土でコンクリート片など混入。
- 遺構 3**
2. 暗褐色土 泥岩粒、炭粒多量。縮まりややあり、粘性なし。
 3. 暗褐色土 2層より泥岩粒少ない。
- 遺構 11**
4. 暗褐色土 泥岩粒、炭粒多い。南壁42層。
 5. 暗褐色土 泥岩ブロック多量。南壁43層。
- 遺構 13**
6. 暗褐色土 泥岩粒、炭粒少量。縮まりややあり。
 7. 暗褐色土 6層より泥岩粒、炭粒減る。
- 遺構 15・16**
8. 暗褐色土 泥岩粒少量、炭粒多量。
 9. 暗褐色土 泥岩粒やや多い。炭粒少量。
- 遺構 14・17**
10. 暗褐色土 砂質土。炭粒多い。
 11. 暗褐色土 砂質土。炭粒多い。
 12. 暗褐色土 泥岩粒多い。
 13. 暗灰褐色土 砂質土。炭粒多い。
 14. 暗灰褐色土 泥岩粒、炭粒少量
 15. 暗褐色土 泥岩粒少量。炭粒、貝殻片少量。
- その他**
16. 暗褐色土 泥岩粒、炭粒多量。縮まりややあり、粘性なし。
 17. 灰褐色土 砂質土。泥岩粒少量。
 18. 灰褐色砂 炭粒少量。縮まりややあり。
 19. 灰褐色土 粘質土。縮まり弱い。
 20. 暗褐色土 砂質土。泥岩粒、炭粒少量。
 21. 暗褐色土 泥岩ブロック多量。縮まり弱い。北壁22層。
 22. 暗黄褐色土 砂質土。炭粒少量。北壁32層。
 23. 黄褐色砂 均質な微細砂。北壁43層。
 24. 暗褐色土 泥岩ブロック多量。
 25. 暗褐色土 泥岩ブロック多量。
 26. 暗褐色土 泥岩粒多量。縮まりあり。
 27. 暗灰褐色土 砂質土。泥岩粒少量。
 28. 暗褐色土 泥岩粒やや多い。縮まりややあり。
 29. 暗褐色土 泥岩ブロック多量。
 30. 暗黄褐色土 泥岩粒、黄色砂多い。縮まりややあり。
 31. 暗褐色土 泥岩粒少量。
 32. 暗褐色土 泥岩粒少量。縮まりややあり。
 33. 暗褐色土 粘性ややあり。
 34. 暗褐色土 泥岩粒微量。
 35. 暗褐色土 砂質土。
 36. 暗褐色土 泥岩粒、炭粒少量。

37. 暗褐色土 泥岩粒少量。粘性ややあり。
38. 暗褐色土 泥岩粒少量。
39. 暗褐色土 砂質土。
40. 暗褐色土 砂質土。
41. 暗褐色土 泥岩ブロック少量。
42. 暗灰褐色土 粘質土。
43. 暗褐色土 泥岩粒やや多い。
44. 暗褐色土 泥岩粒少量。
45. 暗褐色土 泥岩粒微量。
46. 暗褐色土 泥岩粒多量。縮まりあり。
47. 暗黄灰色土 粘質土と黄灰色砂の混交土。
48. 暗黄灰色土 47層より黄灰色砂減る。炭粒少量。
49. 暗褐色土 砂質土。泥岩粒、炭粒少量。
50. 暗褐色土 砂質土。粘性ややあり、縮まり弱い。
51. 暗褐色土 縮まりややあり。
52. 黒灰色土 粘質土ベース+黄灰色砂。粘性ややあり、縮まり弱い。
53. 暗褐色土 泥岩粒、黄灰色砂ブロック少量。
54. 暗褐色土 泥岩粒微量。
55. 暗褐色土 砂質土。粘性ややあり、縮まり弱い。
56. 黒灰色土 黄灰色砂少量。粘性あり、縮まり弱い。

調査区西壁 (e-e') 土層説明

1. 暗灰褐色土 表土。砂質土でコンクリート片など混入。
 2. 暗褐色土 泥岩粒少量。縮まり弱い。
 3. 暗褐色土 泥岩ブロック多量。
 4. 暗褐色土 泥岩粒少量。
 5. 暗褐色土 泥岩粒少量。炭粒微量。
 6. 暗褐色土 泥岩粒少量。炭粒やや多い。
 7. 暗褐色土 泥岩粒少量。部分的に炭粒多い。
 8. 暗褐色土 泥岩粒微量。縮まりあり。
 9. 暗褐色土 泥岩粒少量。縮まりあり。北壁45層。
 10. 暗褐色土 泥岩粒少量。北壁46層。
- 遺構 130**
11. 暗褐色土 泥岩粒やや多い。
 12. 暗褐色土 泥岩ブロック多量。炭粒やや多い。
 13. 暗褐色土 泥岩ブロック少量。
 14. 暗褐色土 貝殻片、泥岩粒多い。中央ベルト16層。
 15. 黒褐色土 14層より貝殻片、泥岩粒減る。中央ベルト17層。
 16. 暗褐色土 縮まり弱く粘性ややあり。遺構130根太痕。
 17. 暗褐色土 砂質土。
 18. 灰褐色砂 縮まりややあり。貝殻粒、炭粒少量。中央ベルト19層。
 19. 暗褐色土 泥岩粒少量。
 20. 暗褐色土 砂質土。泥岩粒微量。
 21. 暗褐色土 泥岩粒やや多い。縮まりあり。
 22. 暗褐色土 粘性ややあり。
 23. 暗褐色土 泥岩粒少量。
- 遺構 130下**
24. 黒褐色土 粘質土ベース。微量の灰色砂が斑文状に混入。
 25. 暗褐色土 粘性ややあり。泥岩粒、炭粒微量。
 26. 黒褐色土 粘質土ベース。黄色砂と泥岩粒ごく微量。
 27. 暗褐色土 25層よりやや明るく、灰色砂を均質に含む。
 28. 黒褐色土
 29. 黄褐色砂 細砂。縮まり弱い。
 30. 暗褐色土 腐植土と混貝砂の混交土。縮まりあり。
- 遺構 131西**
31. 暗褐色土 泥岩粒少量。南壁32層。
 32. 暗褐色土 泥岩粒、貝殻片多い。
 33. 暗褐色土 泥岩粒やや多い。南壁33層。
 34. 暗褐色土 砂質土。縮まり弱い。
 35. 暗褐色土 泥岩粒少量。
- その他**
36. 暗黄褐色土 黄色砂ベース。縮まりややあり。
 37. 暗褐色土 泥岩粒多量。縮まり、粘性あり。北壁47層。
 38. 暗褐色土 砂質土。泥岩粒ごく微量。北壁48層。
 39. 黒褐色土 粘質土。中世基盤層。北壁44層。
 40. 黒褐色土 中世基盤層。北壁44層。
 41. 暗褐色土 砂質土。
 42. 暗褐色土 微細な貝殻片多い。
 43. 黒褐色土 粘質土ベース。砂粒、泥岩粒ごく微量。
 44. 黒褐色土 粘質土ベース。
 45. 黒褐色土 粘質土ベース。砂粒、泥岩粒微量。貝殻片。
 46. 灰黄褐色砂 自然堆積層。

中央ベルト (f-f') 土層説明

遺構 1・10

1. 灰褐色土 砂主体。泥岩粒少量。
2. 暗黄褐色砂 黄色砂+粘質土。炭粒、泥岩粒少量。
3. 暗黄褐色砂 2層より黄色砂が多い。
4. 暗灰褐色土 泥岩ブロック多い。炭粒、黄色砂少量。
5. 灰褐色砂 細砂+粘質土。縮まり弱い。
6. 灰褐色土 粘質土ベース+細砂。底面に黄色砂の薄層あり。

道 1c

7. 灰褐色砂 貝殻片を多く含む海砂。縮まり強い。
8. 黄褐色砂 海砂をベースに泥岩粒少量含む。

道 1d

9. 灰褐色砂 上面に貝殻片、泥岩粒多い。縮まり強い。

道 1d下部

10. 黒褐色土 中世基盤層の粘質土がベース。砂少量。
11. 灰褐色土 炭粒、貝殻片少量。縮まり弱い。
12. 灰褐色土 貝殻片多い。縮まりややあり。
13. 暗黄褐色砂 細砂。酸化のため縮まり非常に強い。
14. 暗黄褐色砂 炭粒少量。縮まり弱い。
15. 暗黄褐色砂 細砂。13層に比べて縮まり弱く明るい。

遺構 130

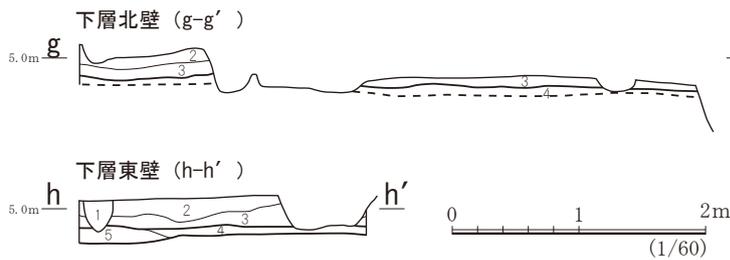
16. 暗褐色土 貝殻片、泥岩粒多い。
17. 黒褐色土 1層より貝殻片、泥岩粒減る。
18. 暗灰褐色土 灰褐色砂が斑文状に入る。泥岩粒少量。
19. 灰褐色土 縮まりややあり。貝殻粒、炭粒少量。
20. 暗褐色土 粘質土多い。据え甕土坑。
21. 暗褐色土 泥岩粒少量。
22. 灰褐色土 貝殻片少量。
23. 暗灰褐色土 灰色砂が均質に入る。炭粒少量。

遺構 138

24. 暗褐色土 灰色砂を均質に含む。泥岩粒微量。
25. 暗褐色土 24層よりやや明るい。
26. 暗褐色土 貝殻片多い。
27. 黒色土 粘質土ベース。
28. 暗灰色土 泥岩粒、炭粒微量。
29. 暗褐色土 黄色砂を均質に含む。縮まりあり。
30. 暗褐色土 泥岩粒多い。砂混入。
31. 暗褐色土 粘性あり。貝殻片、砂粒少量。
32. 暗褐色土 粘性あり。縮まり弱い。
33. 黄褐色砂 縮まりややあり。
34. 暗黄褐色土 粘質土ブロックと黄色砂の混交土。
35. 黒褐色土 粘性あり。炭粒多い。
36. 暗黄褐色土 34層より粘質土ブロック多い。
37. 暗黄褐色土 36層より粘質土ブロック多い。縮まりあり。
38. 黒褐色土 粘質土。縮まり強い。
39. 黒褐色土 粘質土。炭粒多い。縮まりややあり。
40. 黄褐色砂 海成砂層。貝殻粒多くラミナ状を呈する。

その他

41. 暗褐色土 粘性ややあり。泥岩粒、炭粒微量。
42. 暗褐色土 41層よりやや明るく、灰色砂を均質に含む。
43. 黒褐色土
44. 黄褐色砂 細砂。縮まり弱い。
45. 暗褐色土 腐植土と混貝砂の混交土。縮まりあり。
46. 暗灰褐色土 砂質土。泥岩粒、炭粒微量。
47. 暗灰褐色土 均質な砂質土。炭粒微量。
48. 黒褐色土 粘質土ベース+灰色砂。粘性、縮まりあり。
49. 灰褐色土 砂質土。黒色粘質土を斑文状に含む。
50. 黒色土。粘質土。中世基盤層。
51. 暗灰色土 黒色粘質土と灰黄色砂が斑文状に混交。自然堆積層。



下層北壁 (g-g')・東壁 (h-h') 土層説明

1. 黒灰色土 粘性あり。中世基盤層の粘質土に黄灰色砂がブロック状に混入。
2. 黒灰色土 中世基盤層。白色微砂粒少量。
3. 黒灰色土 中世基盤層。2層より白色微砂粒が少ない。
4. 暗黄灰色土 粘性あり。基盤層の粘質土に黄灰色砂多く入る。
5. 暗黄灰色土 4層より黄灰色砂が多い。

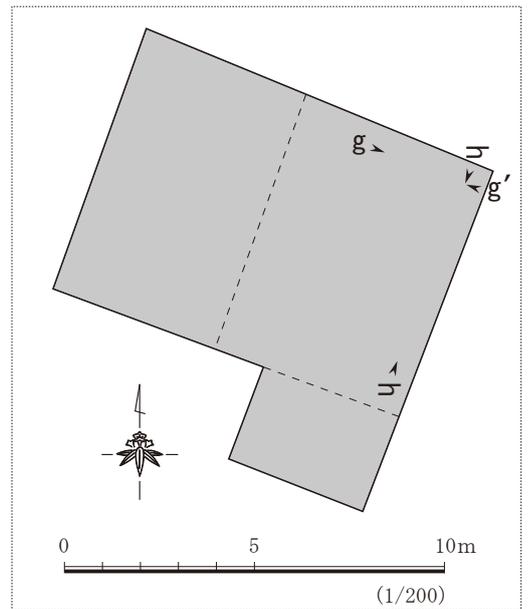


図5 調査区セクション図③

第四章 発見された遺構と遺物

本地点では大きく4時期に及ぶ中世遺構群が検出され、上層から1～4面の順に遡る。調査区中央を南北に縦走する道1は破碎泥岩を積み重ねて構築と補修が繰り返されており、新しい順に道1a～1cが1～3面に対応するものと考えた。道1以外の部分では明瞭な整地面を把握できなかったが、道の東側で井戸や溝・土坑といった遺構が、西側では竪穴建物を中心とする遺構展開が確認できた。4面は中世基盤層の上面で、道1c敷設以前の井戸や土坑などが検出された。

以下、主な検出遺構について、上層から順に説明する。

第1節 1面の遺構と遺物

道1a：調査区の中央部、I区とII区との境界ライン上で検出された南北道である。拳大程度の泥岩ブロックを敷き詰めて構築され、検出北端部の中心には50～60cm長の泥岩塊が平坦面を上にした状態で敷き並べられていた。上面の幅は1.2～2.1mで、N20°Wに延びる。路面の標高は、検出北端部で6.1mを測るが、調査区の南壁断面には対応する層序を確認できなかった。表土直下での検出であったことから、削平を受けて失われてしまった可能性も考えられる。東辺には側溝を伴うが(遺構1・10)、調査区の北端部付近で浅くなり途切れてしまう。調査区北壁断面からは縦貫していた可能性も窺える。底面レベルの推移から、北から南へ流下させていたと考えられる。西側溝は平面的な確認には及ばず、調査区の南壁断面には路面が西側へ落ち込む様子が見て取れたものの、これより北へと続く様相は確認できなかった。この南壁際の落ち込みについては、表土を除去した直後にサブトレンチを設けたため、平面プランは見落としてしまった。

道1aの築成土および東側溝(遺構1・10)からの出土遺物は、図17・18に分けて提示した。東側溝の遺構10覆土上層では、裏面に針状工具で線刻画を施した硯が出土している(図18-89)。地藏菩薩、もしくは阿弥陀如来の来迎図がモチーフと思われる。図17-87の常滑片口鉢Ⅱ類は7・8型式なので、14世紀代に道1aの整備時期を考えることができる。

道1aの東側には、建物とは見なしにくい竪穴状遺構や土坑が点在していた。一方の西側では、上層で凝灰岩切石の集積箇所が、下層で掘り込みの浅い土坑数基が確認された。道1a東側の1面と比べ西側1面の上層はやや高く、下層はやや低い位置に広がっている。

遺構3(竪穴状遺構)：I区の南東隅に位置し、東と南側の調査区外に続くため全体の規模と形状は不明。方形基調のプランを呈し、東西1m、南北2mまでを計測した。現地では1面から2面まで掘り下げる際に確認に及んだ。底面標高は5.3～5.4mの範囲で推移し、確認面からの深さは5～15cmと浅い。

遺構3からの出土遺物は図18-90～92に示した。90は内底面に焼成後の線刻をもつロクロかわらけの小皿。文字を刻したとも見られるが、具体的な内容は不明。91のロクロ大皿と合わせ、かわらけは14世紀前半の様相といえようか。

遺構11(竪穴状遺構)：II区の南東隅に位置し、東側が調査区外へと続く。これも1面から2面までの掘り下げ時に確認された。方形基調のプランを呈し、南北長は2.5mを測る。東西長は1.5mまでを確認した。底面標高は5.35m前後で推移し、確認面からは15～25cmを測る。

遺構11の出土遺物は図18-93～105に示した。緞紐から外れたものか、数枚の銅銭が重なった状態で出土している。

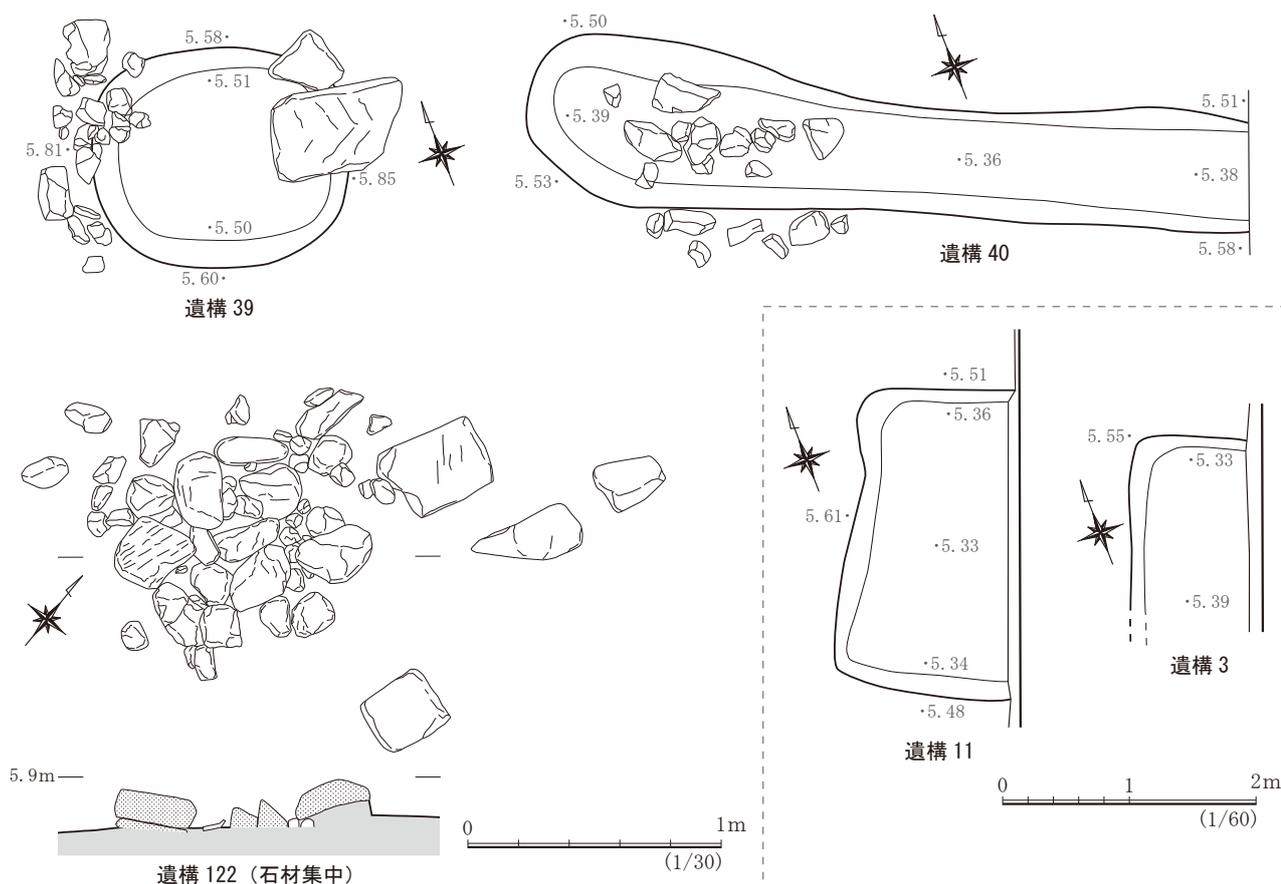


図7 1面 個別遺構図

遺構39 (土坑)：Ⅱ区の中央部に位置する。東西1m、南北90cmの略円形プランを呈する。底面の標高は5.5m前後でフラットであり、確認面からの深さは最大で35cmを測る。遺構の確認レベルには凝灰岩の切石や泥岩屑がややまとまって検出されている。

遺構39の出土遺物は図17-74～76に示した。年代的なまとまりを欠いているので、提示のみに留めたい。

遺構40 (溝状遺構)：Ⅱ区中央に位置し、東側が調査区外に続く。上幅45～60cmで東西長は2.9mまでを計測した。底面標高は5.4m弱で、確認面から15～20cmの深さを確認した。遺構の確認レベルで小規模な泥岩屑の集積箇所が確認されている。本遺構の西側延長部では道1aの泥岩整地層が軟質になっていたため、本来は道1aの下部まで繋がっていた可能性もある。

遺構40で出土した遺物は図17-77～84に示した。少ない資料だが、かわらけを中心に、13世紀末～14世紀前半の様相と捉えられる。

遺構122 (石材集中)：Ⅲ区の中央部で検出された。標高5.7～5.8mに凝灰岩の切石や泥岩屑が集積していたが、下部での掘り込みは確認できなかった。人為的に寄せ集められたものであろうが、配置に規則性がなく火熱を受けた痕跡も見られなかったため用途は不明。この西側でも1面下の掘り下げ時に切石を中心とする石材の集積状況を確認したが(図6)、この下部の2面では竪穴建物(遺構130a)が検出されていることから、建物の廃絶・解体に際して不要石材を遺棄した痕跡とも考えられる。

1面下から2面までの掘り下げに際して出土した遺物は、図19-106～149と図20-150～163として示した。新旧遺物の混在は認められるが、主体となるかわらけには15世紀代の要素は見出せないため、大よそ14世紀代の年代幅で収まる資料と考えられる。

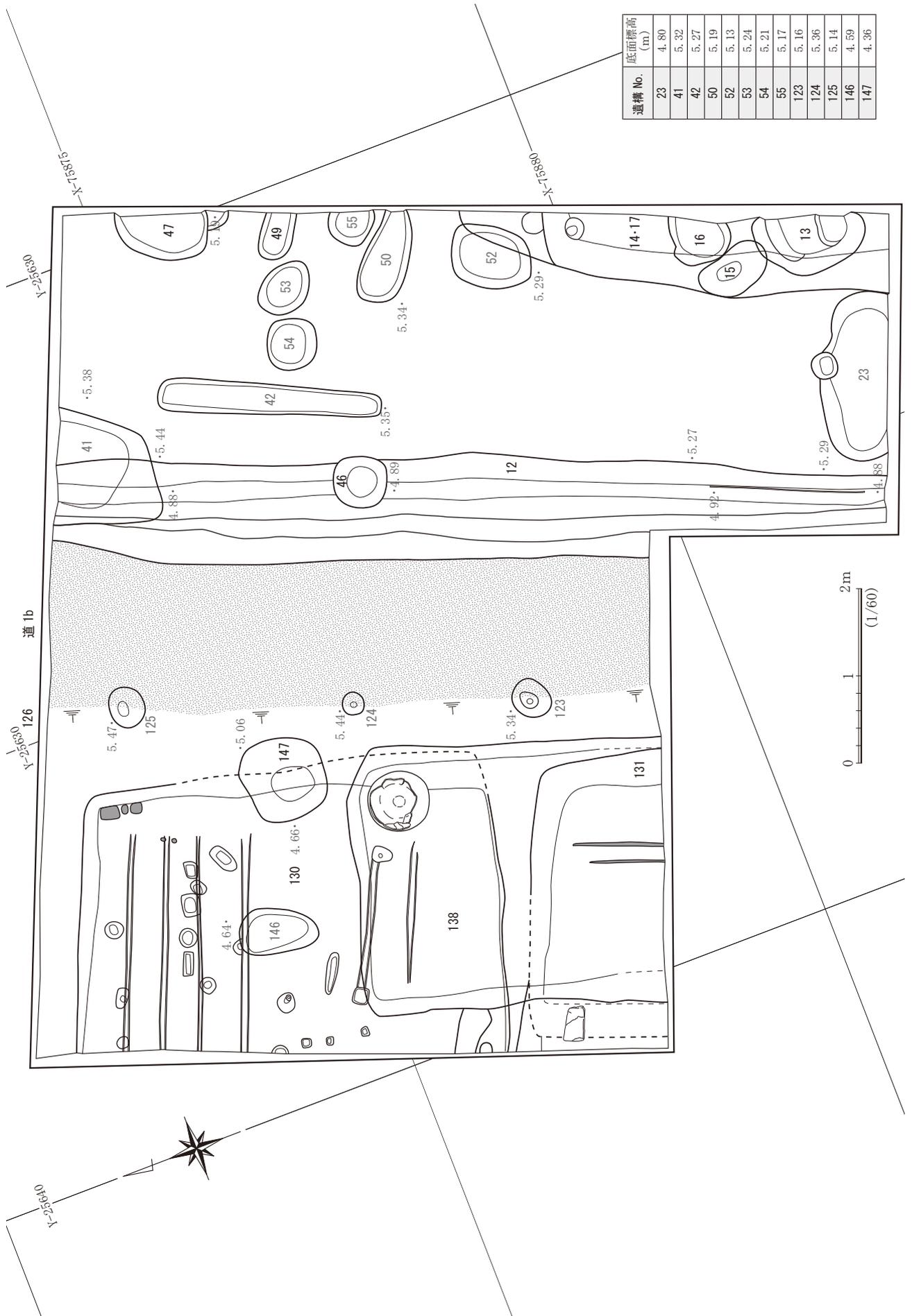
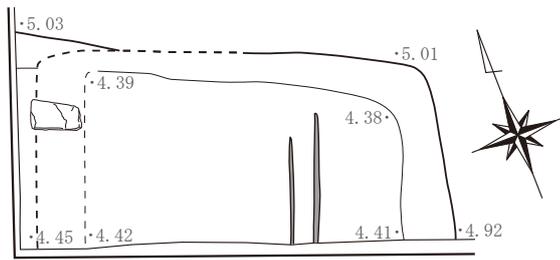
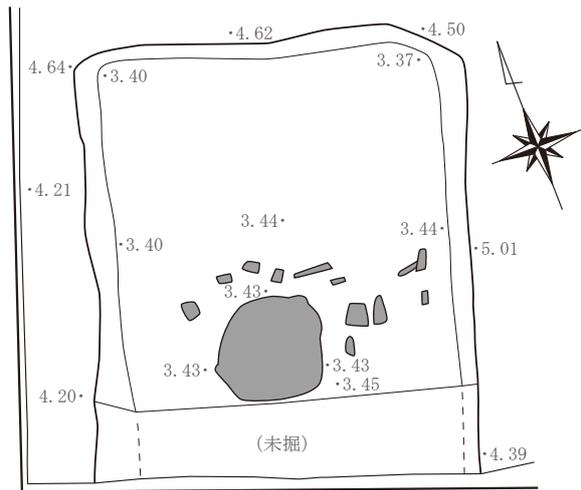


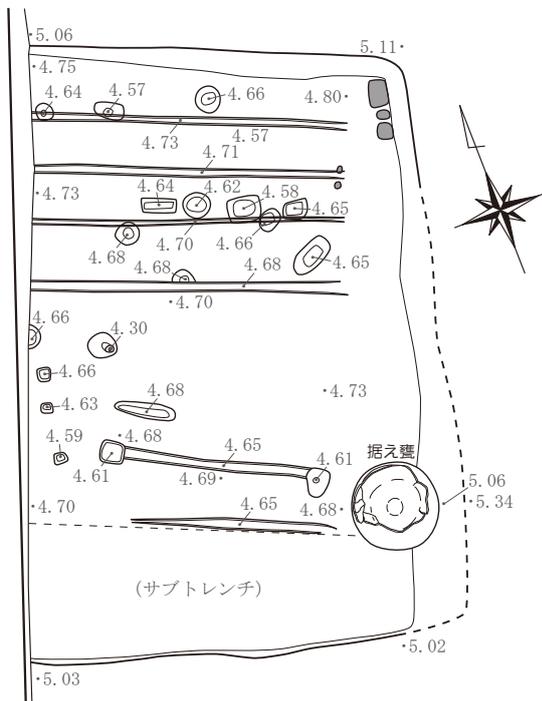
図8 2面全体図



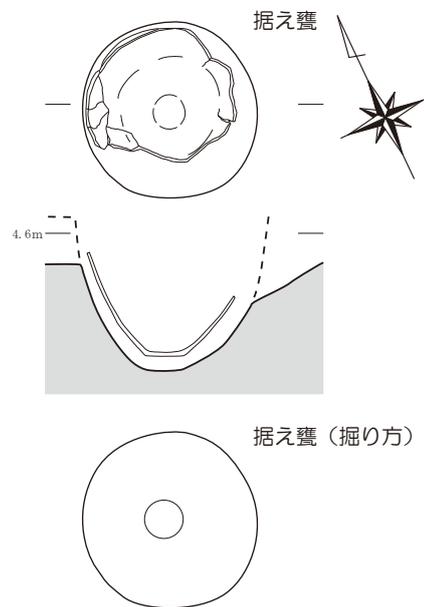
遺構 131



遺構 138



遺構 130



据え甕 (掘り方)

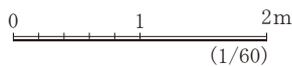


図9 2面 個別遺構図①

第2節 2面の遺構と遺物

道1b:道1aの下30cmで検出された。路面の標高は5.8～5.9mを測り、南側が僅かに低い。上幅は1.6～1.7mで、N 20° Wで延びる。東側に上幅80～100cmの側溝が取り付くが(遺構12)、断面観察では道1bの路面で覆われてしまう状況が見て取れた。道路上端面からは80cm弱の深さがあった。底面標高は図8に示したが、断面観察によって下層の側溝覆土も同時に掘り上げてしまったことに気付き、本来は図8の数値よりも15cmほど高い標高5.0～5.1m前後で推移していたものと考えられる。護岸施設の痕跡として、腐食した板材が僅かに遺存していた。西側溝は確認できなかったが、路面から西に向けてのなだらかな落ち込みを遺構126と呼称し、遺物の取り上げを行った。

道1bの築成土および遺構126の出土遺物を図21-164～167に示した。遺物の絶対量が少ないため、これらだけでは所産年代の提示は難しい。

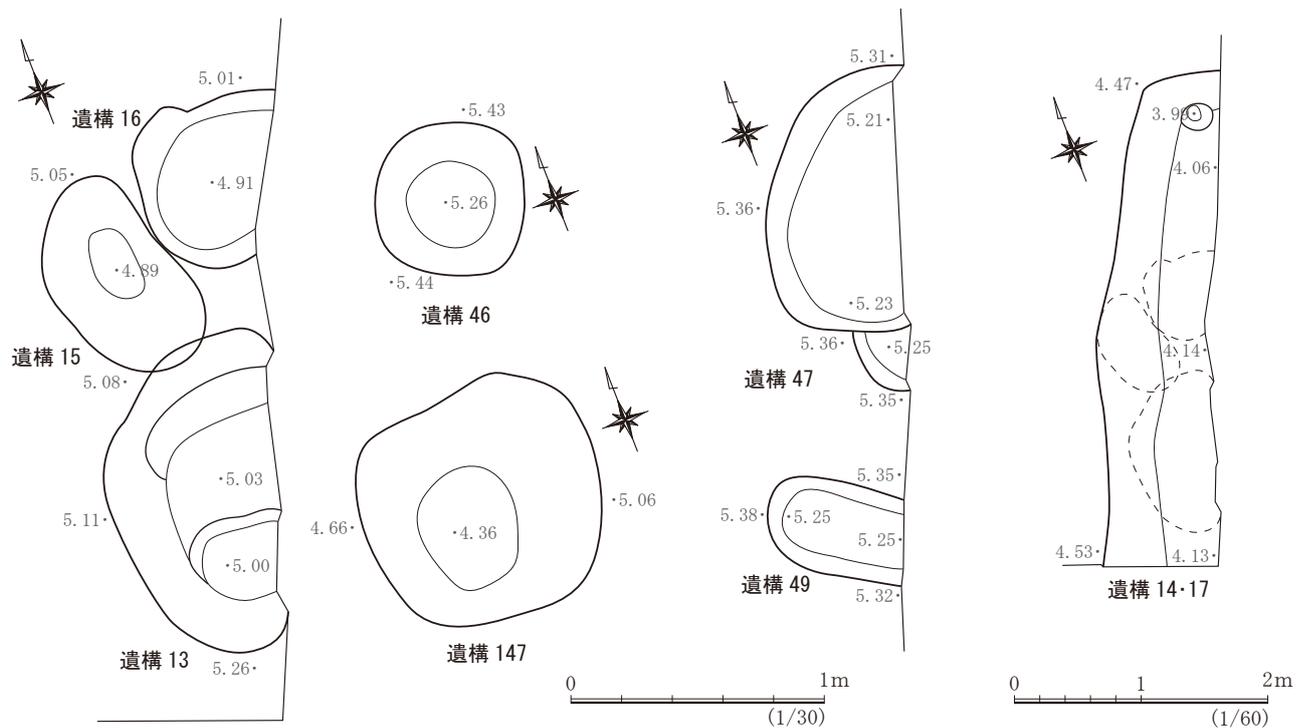


図10 2面 個別遺構図②

道1b以西では3基の竪穴建物を確認した。道の東側では土坑が散漫に分布しており、建物としての可能性をもつ竪穴状遺構も検出されている。

遺構130 (竪穴建物) : III区の北部に位置し、西側が調査区外に続く。平面規模は南北4.9 mを測り、東西は3.5 mまでを測った。南北の方向軸はN 8° Wを指す。確認面から30cm、土層断面の観察では70cmの深さを測り、底面の標高は4.8m弱を測る。底面上で幅10cm、深さ5cm程度の根太材の腐食痕を確認した。この他にも浅い腐食痕が散在しており、礎板など基礎部分の痕跡と考えられる。掘り方の底面までは10cmの厚さで砂質土が堆積していた。床材および壁体は遺存しておらず、使用材質も含め構造は不明だが、断面観察では南北の両壁際で壁体の裏込め土を確認している。南西隅の底面上では、常滑甕を据えた土坑1基が検出された。坑底までの深さは60cmで、甕は底部が全周遺存していたものの、口縁部は欠失していた。

現地調査では、本遺構の範囲を確定するまでに重複する別の遺構についても同時に覆土掘削に及んでしまっている。遺構130aとして取り上げた遺物は本遺構に、遺構140と認識した遺構は本遺構の北側裏込め土となる。遺構130bとして採集した遺物の大半は遺構138に帰属する可能性が高いが、多少の混在は否めないため、表2には現地で取り上げた際の遺構名のままで提示している。

本遺構からの出土遺物として、図22-186～201と図23-222を示した。222は据え甕土坑で出土したもので、その他は全て竪穴の覆土中から出土している。このため諸種の遺物片が混在しており、遺構の構築・使用年代を明確に示す資料は皆無であった。193の備前播鉢は、口縁部形態および播り目の条数から中世3a期=14世紀中葉頃の所産と見られるので、本遺構には、これ以前の使用年代を考慮することができる。

遺構131 (竪穴建物) : III区の南端部に位置する。遺構間の切り合いでは遺構130より古く、遺構138より新しい。南側が調査区外に続き、東西3.3 m、南北1.6 m以上の平面規模を確認した。南北軸はN 17° Wを指す。土層断面では110cmの深さを確認し、掘り方底面の標高は4.4 mを測る。底面上では幅5 cm程度で南北に延びる根太材の痕跡2条を確認している。

本遺構の出土遺物として、図22-202～213を提示した。他の竪穴建物の例に漏れず、覆土中の出土遺物が中心となり、構築・使用年代を示す資料とはならない。小片ではあるが、209の備前播鉢が最新の資料と見れば、14世紀前半～中葉頃には廃絶・埋没段階に入っていたと見ることができる。

遺構138(竪穴建物):Ⅲ区の南端部に位置し、遺構130・131より古い。南が調査区の外方に続く。東西3.1m、南北3.6m以上の平面規模をもつ。長軸ラインはN18°Wを指す。土層断面で確認できる深さは1.2mで、掘り方底面の標高は3.4m前後を測る。底面では直径80cmほどの円形プランを確認したが、このレベルで相当量の湧水があり、調査における深度規制もあって覆土の掘削は見合わせた。黄褐色の海成砂層中に黒褐色の砂質土を覆土としていた。この他にも、方形基調で腐植土を覆土とする小穴プランが点在して確認されており、礎板などの痕跡と考えられる。

本遺構の出土遺物として、図23-215～221、223～229を提示した。竪穴覆土からの出土品が中心で、新旧の遺物が混在している。13世紀中葉頃まで遡る資料も見られ、遺構間の新旧関係も考慮すると、これ以降、14世紀前葉までの間に構築～使用・廃絶に至った遺構かと考えられる。

遺構13・15・16(土坑):Ⅰ区東部で検出された土坑群である。13と16は調査区の東外へと続く。いずれの土坑も暗褐色砂質土を覆土とし、泥岩粒を含んでいた。遺構13は南北120cm、東西70cm以上を測る。底面の標高は5.0mで、確認面からの深さは30cm弱であった。遺構15は、南北80cm、東西50cmを測る。底面の標高は4.89m、確認面からは20cmの深さがあった。遺構16は南北70cm、東西55cm以上を測る。確認面からの深さは10cmと浅く、底面標高は4.91mであった。

調査区の東壁断面では、平面規模および底面標高が平面での確認内容と異なっていた。本来であれば断面図に即して平面図の修正を行うべきところだが、同質の覆土で繰り返された遺構間の重複について現地では識別しきれなかったこともあるため、本報告では不確実な修正・復元図の提示は控えた。記述内容についても、基本スタンスとして現地で作図した平面記録に準じている。同じことは、調査区壁際で検出された各面の遺構に関してもいえる。

遺構13の出土遺物として図21-168、遺構15・16の出土遺物として図21-174～176を示した。168は尾張型山茶碗の6～7型式なので、13世紀中葉前後の所産品である。他の遺物については、年代特定の指標とできない。

遺構46(土坑):Ⅱ区の西側で検出された。道1bの東側溝を切って構築されている。直径60cm前後の円形プランを呈する。確認面からの深さは20cm弱で、底面標高は5.26mを測る。

本遺構からの出土遺物を図21-183に示した。尾張産の片口鉢(常滑・Ⅰ類)で、内底近くの器面が細かく剥離している。遺存部位が少なく、型式の特定はできない。

遺構47(土坑):Ⅱ区北東部に位置し、東側が調査区外に続く。南北110cm、東西50cm以上を測る。確認面からの深さは15cmで、底面標高は5.2m前後を測る。調査区の東壁断面では、後述する遺構49も含め遺構50・55を包括する落ち込みとして確認することができ、平面図における個々の遺構が単独のものであったのか、ひとつの大きな落ち込みの中で底面レベルが異なっていたのか、両者の可能性を残しておきたい。

遺構47の出土遺物として、図22-184に砥石1点を図示した。

遺構49(土坑):Ⅱ区の北東部、遺構47の南側で検出された。上述したように、遺構47など周辺の土坑群と合わせて一連の落ち込みとなっていた可能性も考えられる。東側が調査区外へ続き、南北35cm、東西55cm以上の規模を測る。確認面からの深さは10cm前後と浅く、底面標高は5.25mを測る。

本遺構の出土遺物として、図21-185を示した。滑石製鍋の再加工品と見られ、形態は紡錘車に近似している。

遺構147(土坑):Ⅲ区の東辺部、道路1bの西側で検出された。遺構130に切られ、3面の遺構152の南半部を切っている。南北90cm、東西95cmの不整円形プランを呈する。確認面からの深さは最大で70cm、底面標高は4.36 mを測る。

本遺構の出土遺物として、図22-214のロクロかわらけ大皿1点を示した。

遺構14・17(竪穴状遺構):Ⅰ区東部～Ⅱ区の南東隅で検出された。現地では、遺構14を遺構17に切られる土坑と捉えていたが、土層断面の記録を基に整理した結果、両者とも一つの竪穴状遺構になるものと判断した。東と南が調査区の外に続き、遺構のごく一部を確認したにとどまる。東西90cm以上、南北3.9 m以上の平面規模をもつ。確認面からの深さは40cmほどで、調査区壁の断面では120cm以上の深さを有していたことを確認している。底面は標高4.1 m前後で、概ねフラットに推移する。壁面は外開きに立ち上がり、裏込めの痕跡などは見て取れなかった。竪穴建物としての可能性はあるが、部分的な確認であったため断定はできない。

本遺構の出土遺物として、図21-169～173と図21-177～182に示した。前者は遺構14として、後者は遺構17として現地で取り上げたものである。常滑の甕・片口鉢Ⅱ類は6型式の資料で13世紀後半の生産年代が考えられ、かわらけについても13世紀後葉～14世紀前葉の幅で捉えられよう。覆土からの出土品が中心で、遺構廃絶後の年代比定に資する遺物となる。

2面下から3面までの掘り下げ時に出土した遺物は、図24-230～258として示した。かわらけを中心に13世紀後葉～14世紀前葉の資料が主体を成していると思われるが、248の常滑片口鉢Ⅱ類や250の瀬戸天目茶碗などは14世紀後半まで下る要素をもっている。

第3節 3面の遺構と遺物

道1c:道1bの40cm下位で検出された。路面の標高は5.4～5.5 mを測り、南側が僅かに低い。上幅は1.5～1.8 mで、N 20° Wで延びる点は上層の道路と同じである。貝殻粒と泥岩粒を含む灰褐色砂によって、堅固な路盤が築成されていた。東側に上場幅80cmの側溝が取り付く。断面観察では道路面上端から45～65cmの深さがあり、底面標高は4.8～5.03 mで南側が低い。西辺では側溝は確認できなかったが、現地では路面からのなだらかな落ち込みを遺構129と呼称して遺物の取り上げを行った。

道1c築成土の出土遺物を図25-259～264に、遺構129からの出土遺物を図25-265・266に示した。264は小片のため器種不明であるが、胎土の特徴は渥美・湖西型の陶器と近似している。内面調整から壺の一種と考えており、胴上部に円形の透孔を開け、その下位に断面三角形の突帯文を巡らせている。259～261のかわらけ小皿は手づくね成形品を含み、低平な器形であることから13世紀前半まで遡るであ

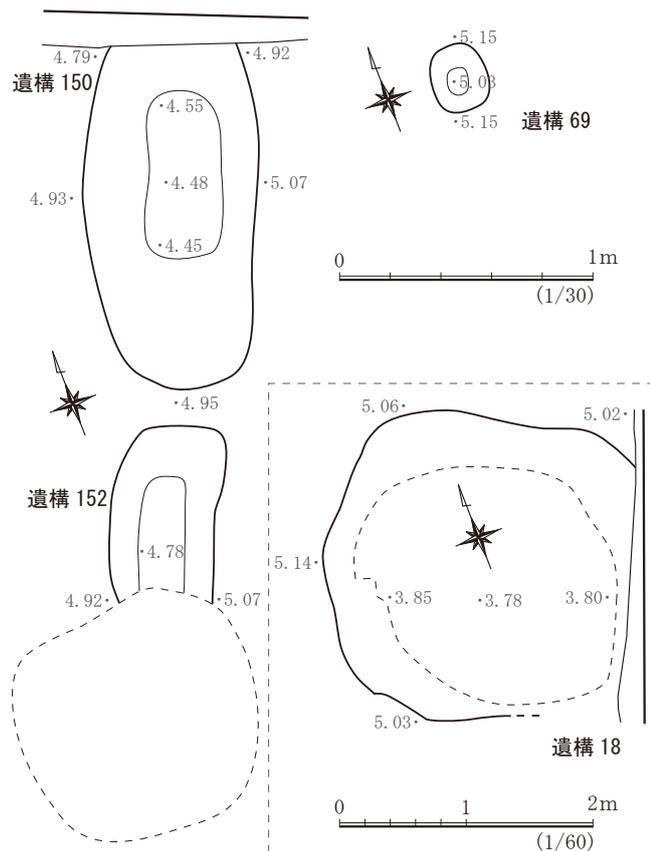


図12 3面個別遺構図

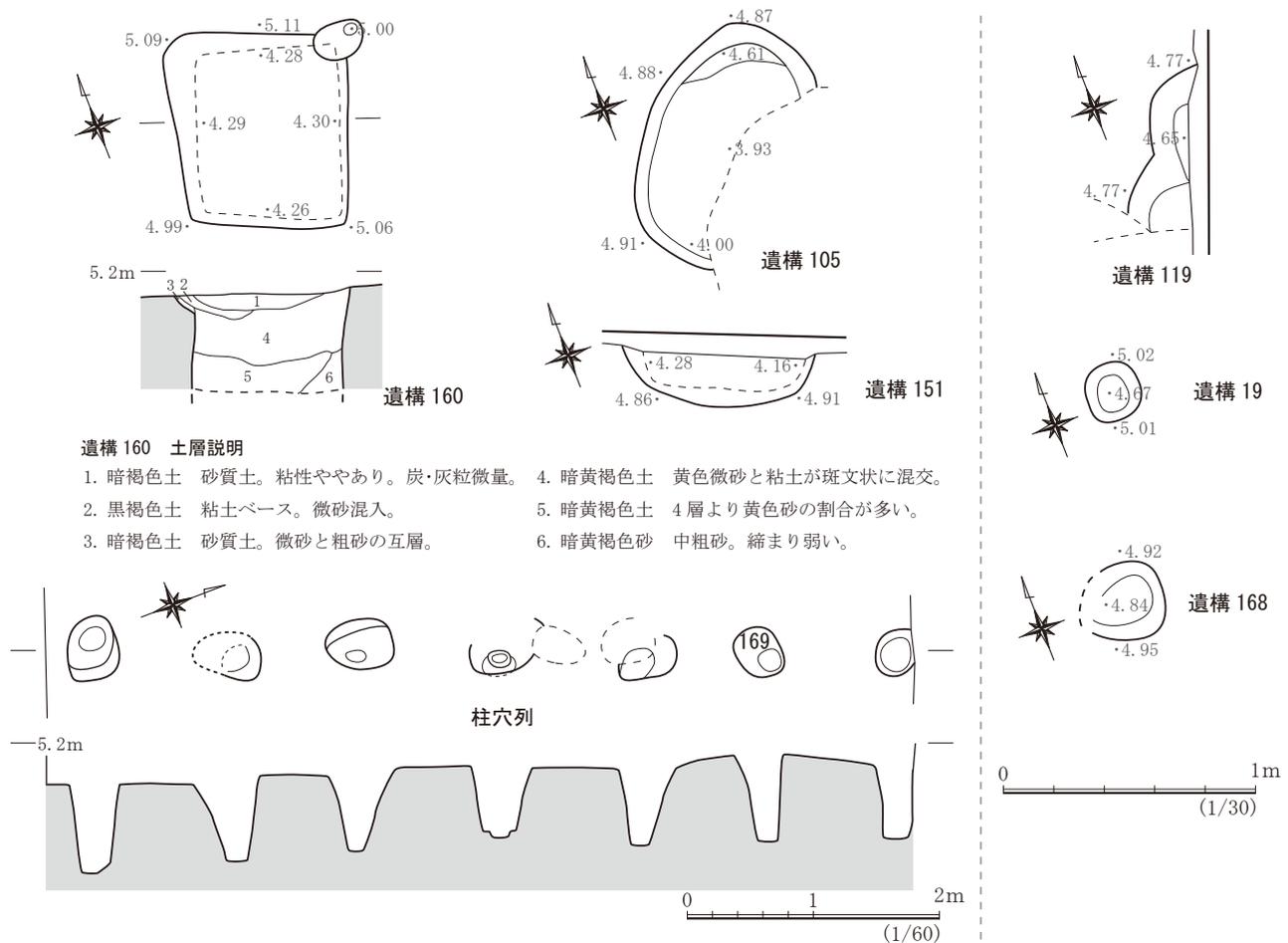


図14 4面個別遺構図

ろうか。263の常滑片口鉢Ⅱ類は口縁部の細片であるが、7型式までは下らないと思われる。265の常滑甕は6型式段階となろう。

以上を総合すると、13世紀後半には道1cの築成が行われたと考えられる。

遺構150(土坑):Ⅲ区の北部で検出され、道1cの西に隣接する。北側が調査区外に続き、東西70cm、南北140cm以上を測る。長軸方向は、道1cに平行している。確認面からは60cmの深さがあり、底面の標高は4.5m前後を測る。黒褐色の粘質土を覆土とする。

本遺構からの出土遺物として、図25-270～272にかわらけの小皿3点を、273に平瓦1点を示した。かわらけは手づくね成形品を含み、低平な器形であることから13世紀前半の所産と考えられる。273は胎土・調整技法から永福寺女瓦A類と見られる。焼成後に長辺方向に半截しており、熨斗瓦としての再利用が想定できる。

遺構152(土坑):Ⅲ区の北部で検出され、遺構150の南側に隣接する。南側を上面遺構に切られており、東西50cm、南北70cm以上の平面規模となる。長軸方向は道1cに平行しており、遺構150と合わせて道路側溝の様にも見える。黒褐色粘質土を覆土としていた。確認面から30cmほどの深さを有し、底面の標高は4.78mを測る。

本遺構からの出土遺物として、図25-268にロクロかわらけの小皿を示した。口縁部に灯明具としての使用痕が残る。小片から図上復元したものであり、これ1点では年代比定材料にはしがたいが、大まかには13世紀後葉～14世紀前葉の土器様相と捉えることができる。

遺構69(ピット):Ⅱ区の北部で検出され、道1cの東辺に隣接する。直径30cm弱でやや南北に長い楕

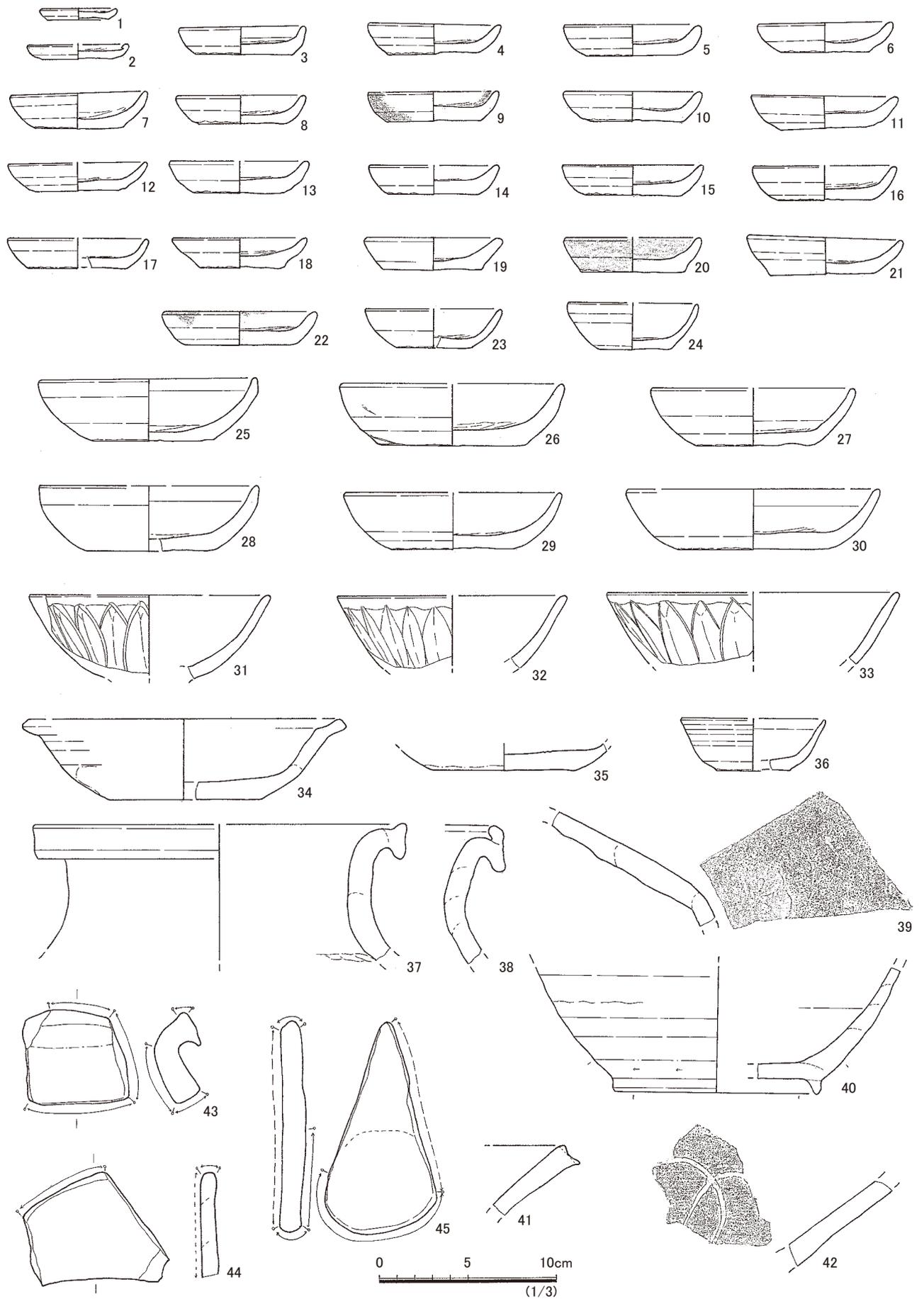


图15 表土~1面 出土遺物①

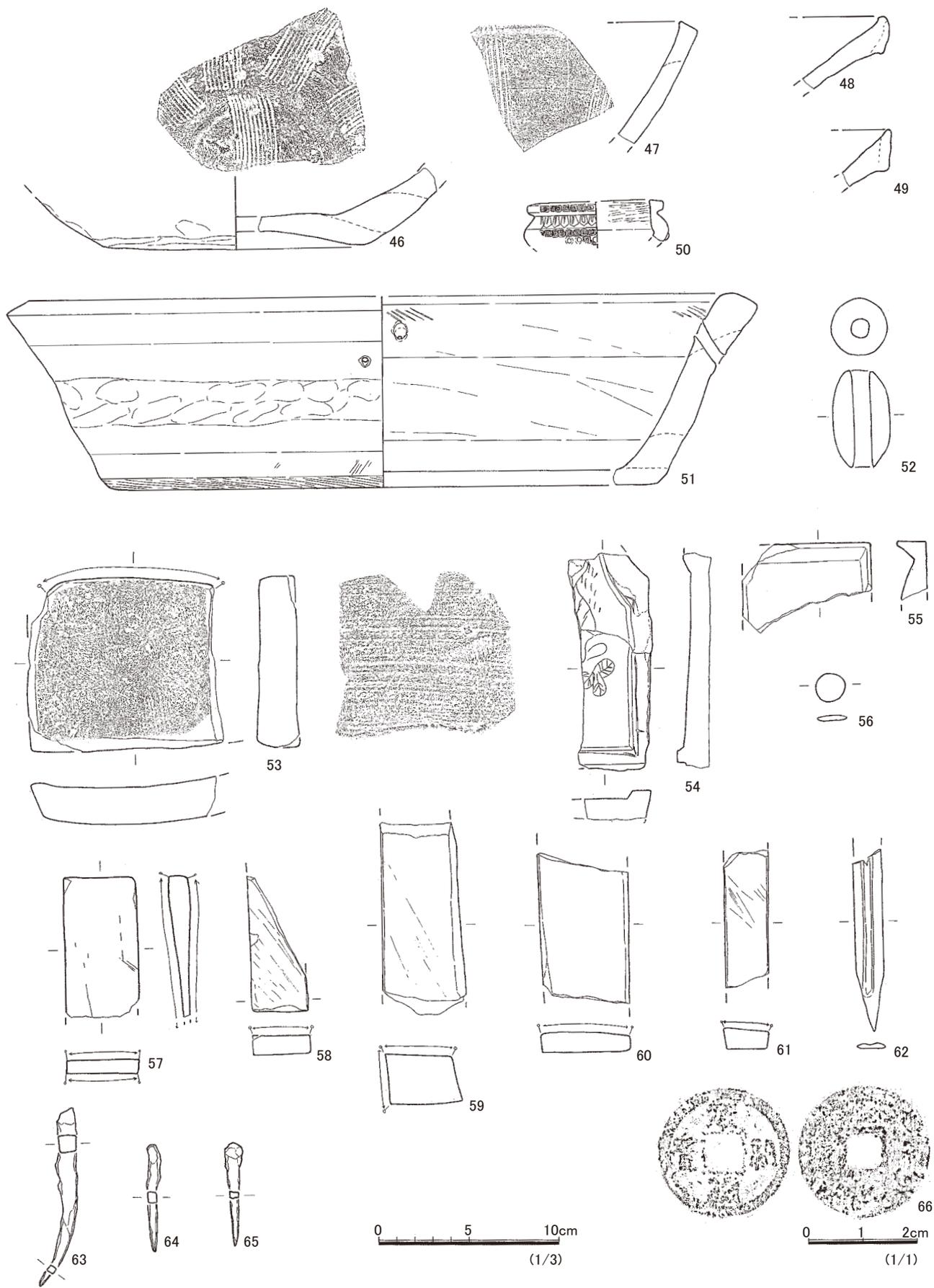


图16 表土~1面 出土遺物②

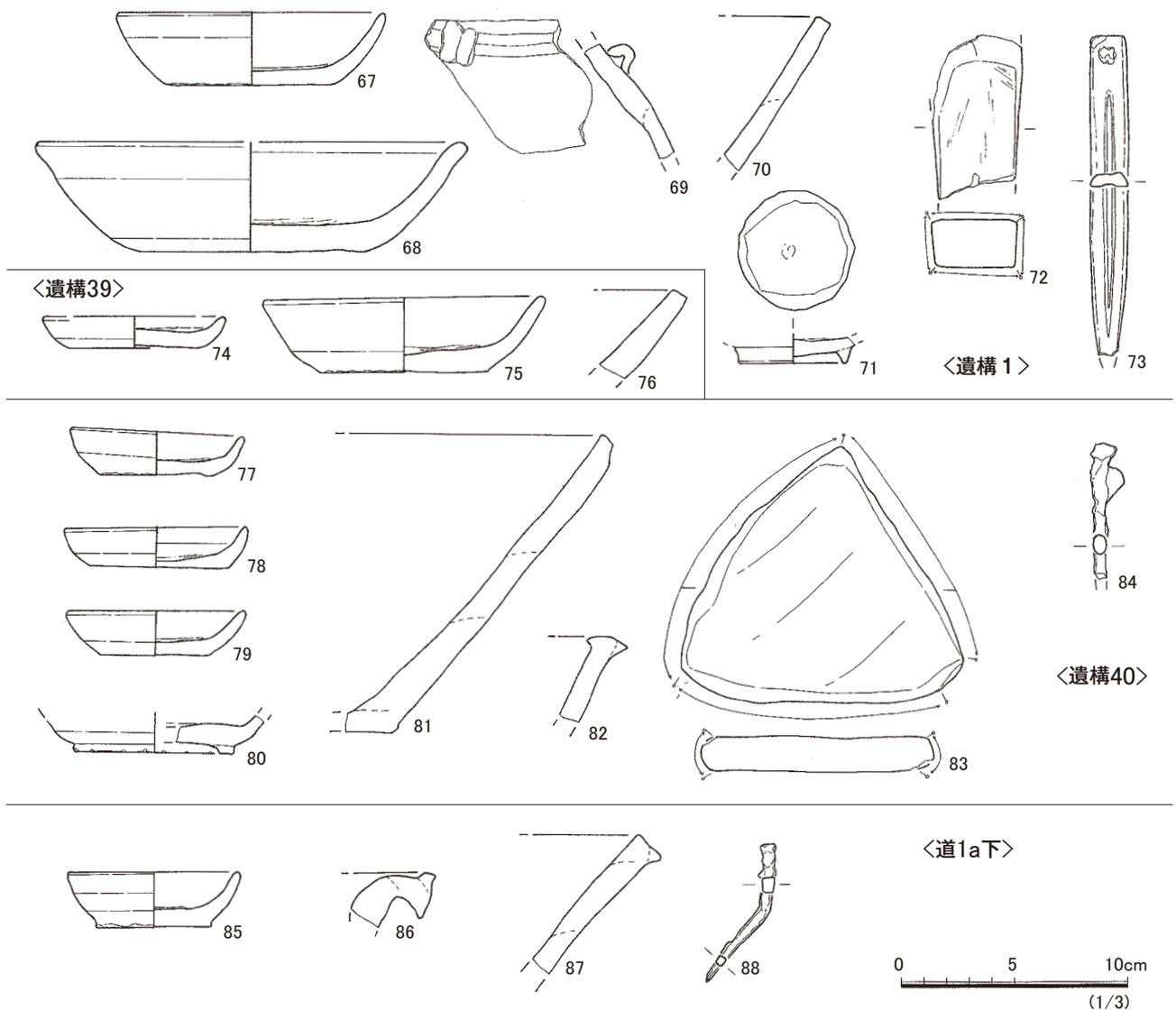


図17 1面遺構 出土遺物①

円形のプランを呈する。確認面からは10cm程度の深さしかなく、底面標高は5.03 mを測る。

本遺構からの出土遺物として、図25-269に手づくねかわらけの小皿1点を示した。小片であるが、13世紀代の前半に収まるであろう。

遺構18 (土坑)：I区北部からII区南部にかけて検出された。東側を2面の遺構14・17に切られて上部を失っており、下部も調査区東外へ続くことが確認された。東西2.5 m以上、南北2.4 mを測り、隅丸形状の平面プランを呈する。深度規制のため底面まで完掘できなかったが、確認面からは1.3 m以上の深さを有することを確認している。現状では、掘り下げを止めた標高3.8 m前後で湧水が始まるので、平面や掘り方の形状・規模も考慮すれば、井戸として利用されていた可能性が高いだろう。

本遺構の出土遺物として、図26-281～286を示した。かわらけは手づくねの大・小皿を含み、ロクロかわらけも低平で底が広いので13世紀前半の様相と見られる。286の常滑片口鉢Ⅱ類が5型式ないし6a型式なので、13世紀中頃から第三四半期にかけて廃絶・埋没した遺構かと考えられる。

3面下から4面(中世基盤層)まで掘り下げた際の出土遺物を、図27-287～291に示した。手づくねかわらけ289・290や常滑5型式の甕291の存在から、大よそ13世紀代前半の土器様相と考えられる。

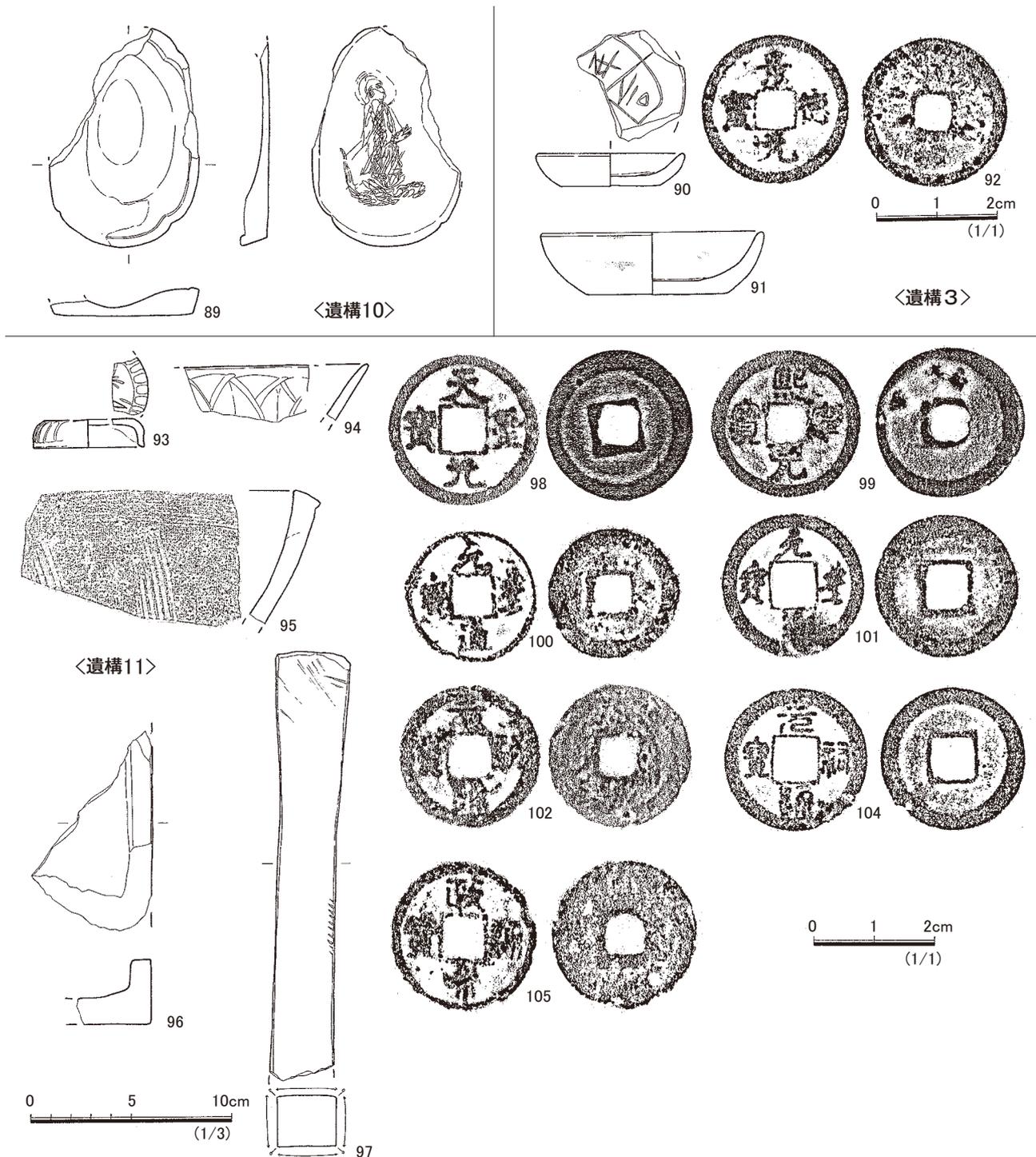


図18 1面遺構 出土遺物②

第4節 4面の遺構と遺物

中世基盤層となる黒褐色粘質土の上面を4面とした。Ⅲ区南部の中世基盤層は2面遺構138によって失われていた。当遺構面では土坑やピット多数が検出され、ピットには柱穴列をなすものも見られた。

また、道1cの下部では、中世基盤層までの間に道1dが遺存していた。

道1d:道1cの5～15cm下で検出された。路面上端の標高は5.33～5.40mを測り、わずかに北側が低くなっている。上幅は1.5～2.0mで、N 20° W方向に延びる。路盤は灰褐色砂を用いて堅固に築成され、上面には泥岩粒や貝殻粒が多く見られた。

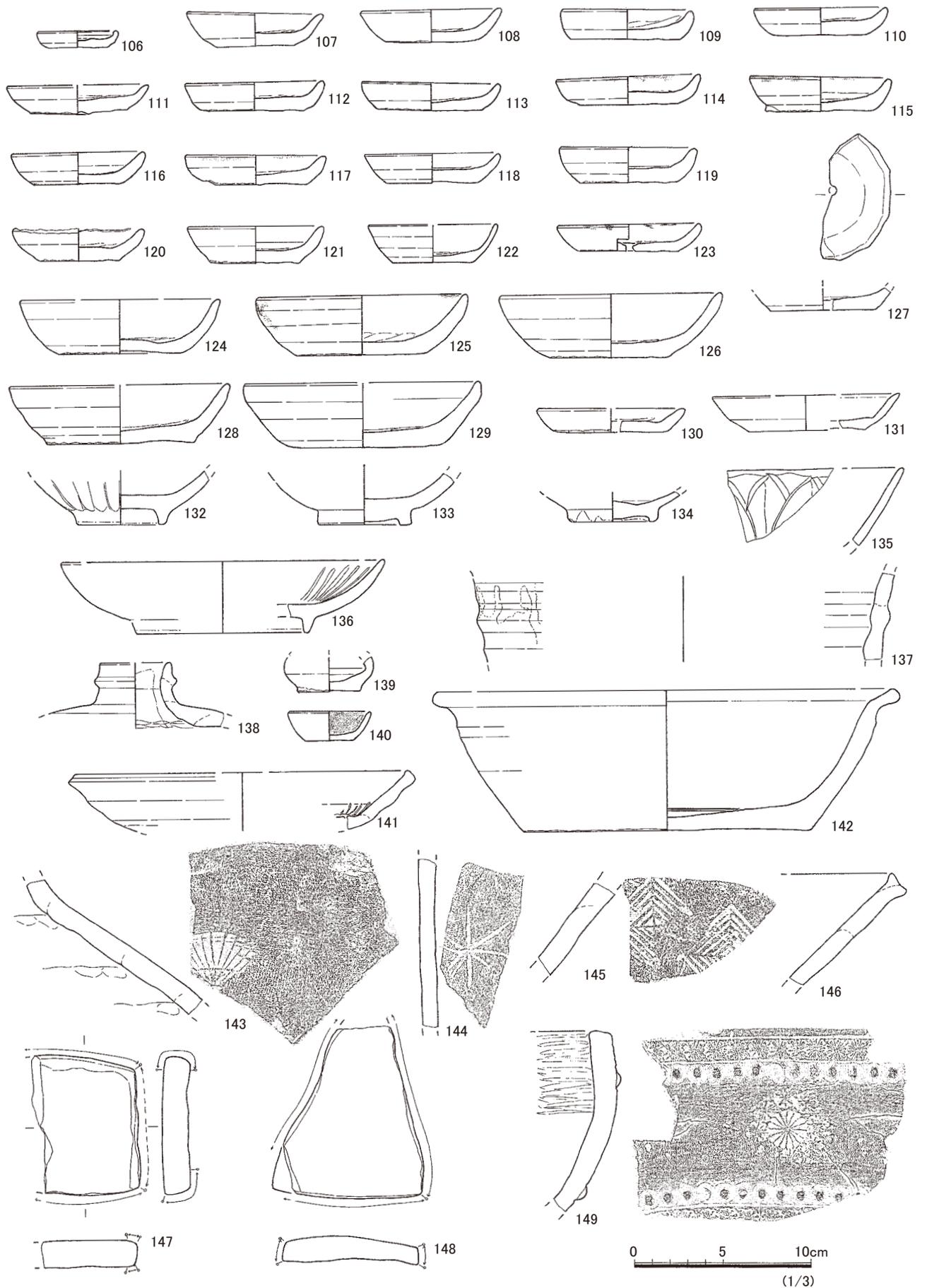


图19 1面下~2面 出土遺物①

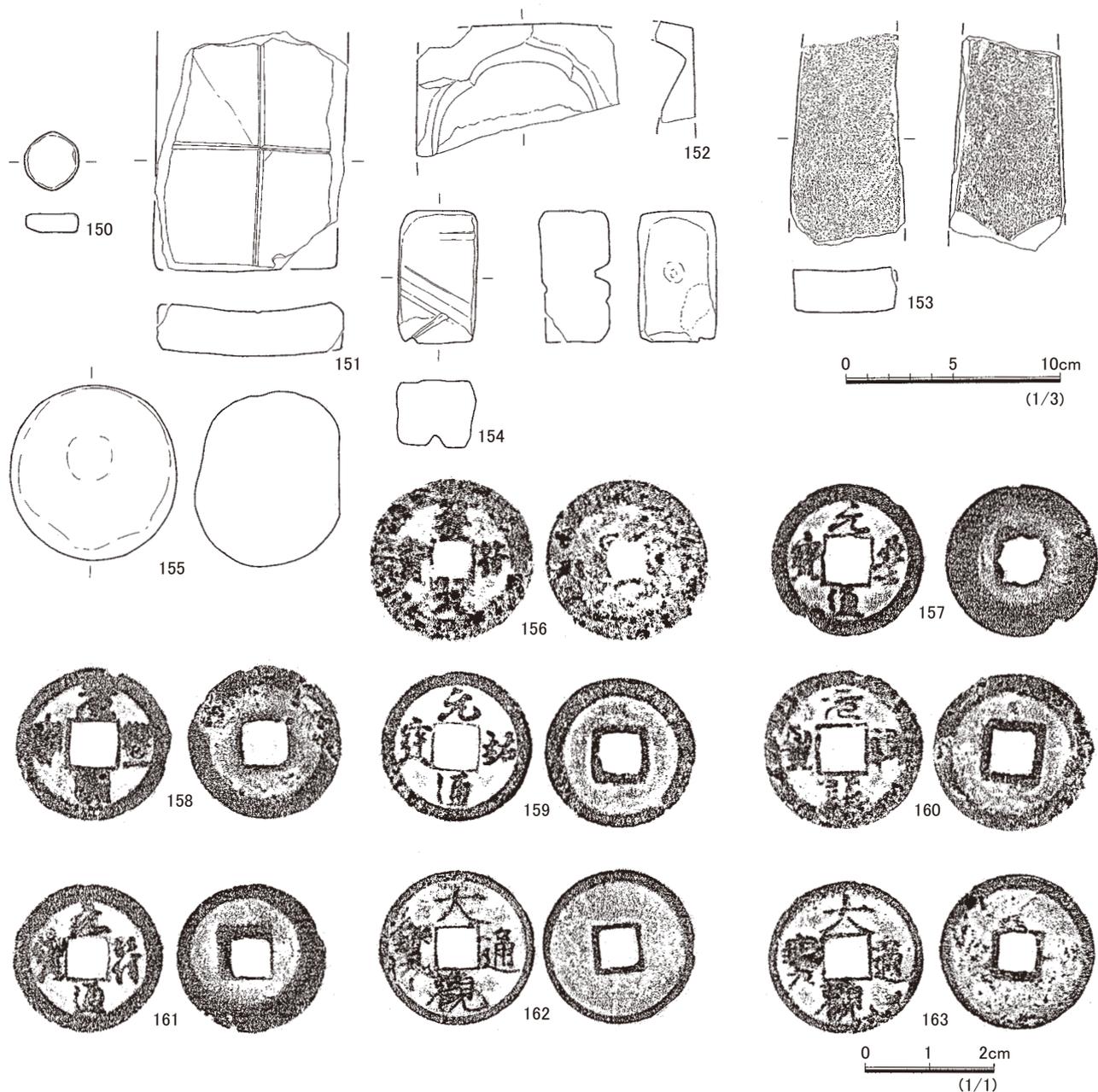


図20 1面下～2面 出土遺物②

道1dの築成土を含む道1c下～中世基盤層の出土遺物は、図26-274～280に示した。年代としては13世紀代の前半～第3四半期までに収まるだろう。

柱穴列: II区東端部で検出された。道1dの西辺沿いに並び、断面観察では道1dより新しく、道1cより古い、もしくは同時存在することが確認できた。N 18° Eの方向に延び、北・南とも調査区外へと続くものと思われる。柱間距離は100～105cmで一定している。西・東への展開は見られなかったことから、板塀などの区画・遮蔽施設の痕跡であると考えられる。底面標高は4.15～4.44mで、相対的に北側ピットの底面が高い傾向にある。

構成ピットのうち遺物が出土したのは遺構169が唯一で、小片のみで時期比定の材料にはし難いが、かわらけは手づくね成形品のみに限られるので、13世紀代前半以降の構築年代を当てておきたい。

遺構160(土坑): I区とII区の境界ラインに位置し、道1dの下位で検出された。一辺150cmのやや歪んだ方形のプランを呈する。深度規制のため覆土は完掘できなかったが、確認面からの深さは80cm以

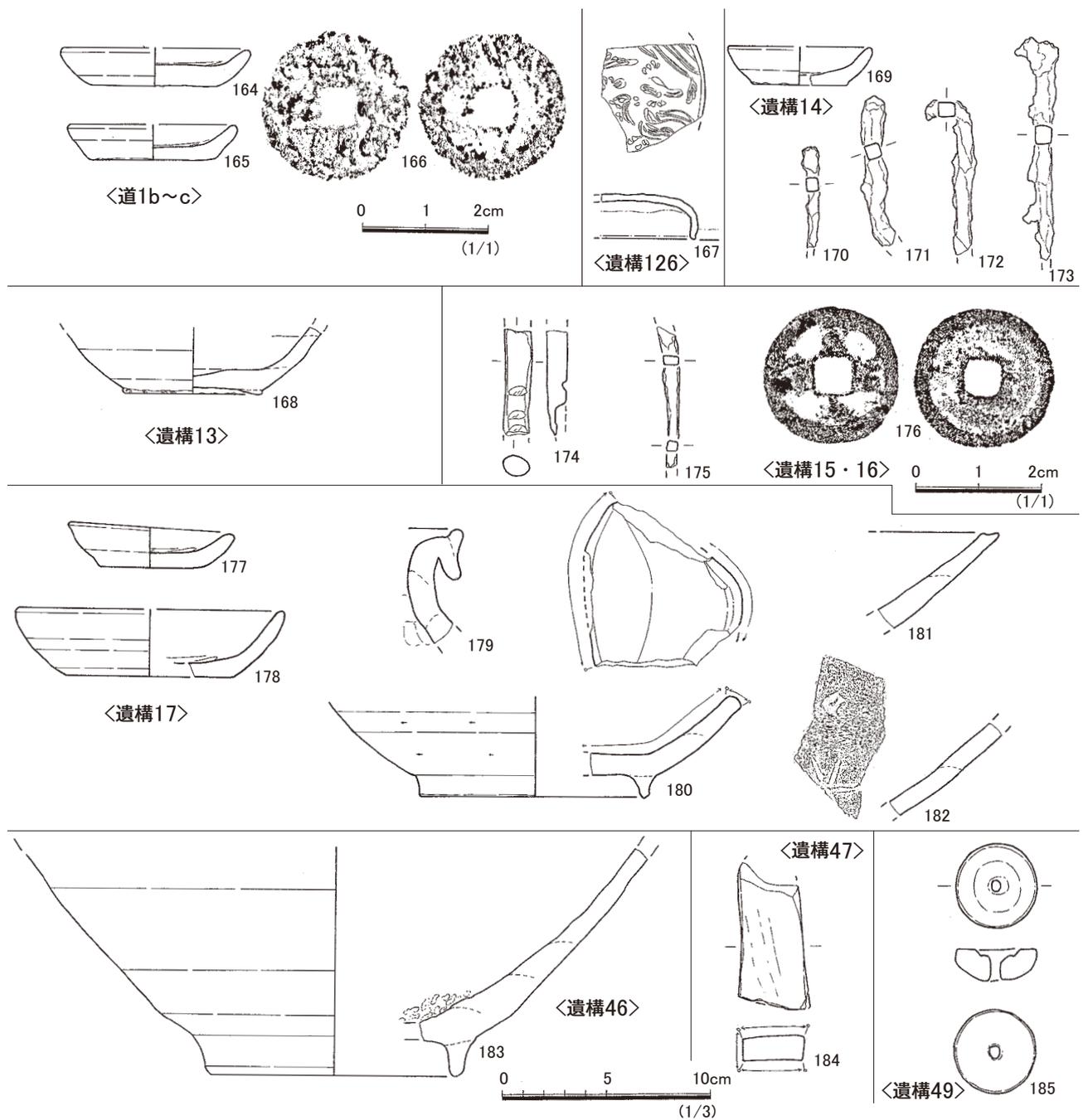


図21 2面遺構 出土遺物①

上で、底面が標高4.3m以下にあることは確認できた。ほぼ垂直な掘り方形状を呈しており、現状で湧水レベル以下に底面があることから、やや小振りながら井戸としての機能が想定できる。

本遺構の出土遺物として、図27-293～299を示した。小片のみであり絶対量も少ないが、12世紀末～13世紀前葉の遺物様相といえよう。

遺構105 (土坑)：Ⅱ区の南端部で検出された。南東側を3面の遺構18に切られており全体像は不明であるが、直径190cmほどの円形プランを呈していたものと考えられる。断面は円筒形を呈し、確認面から約1mの標高3.9m強で底面に到達した。覆土は、暗褐色の砂質土である。

本遺構からの出土遺物はなかった。

遺構151 (土坑)：Ⅱ区の北端部に位置する。検出できたのはごく一部で、北側の大部分が調査区外に続く。東西160cm、南北40cm以上の規模をもち、円形基調の平面プランを呈していたと考えられる。

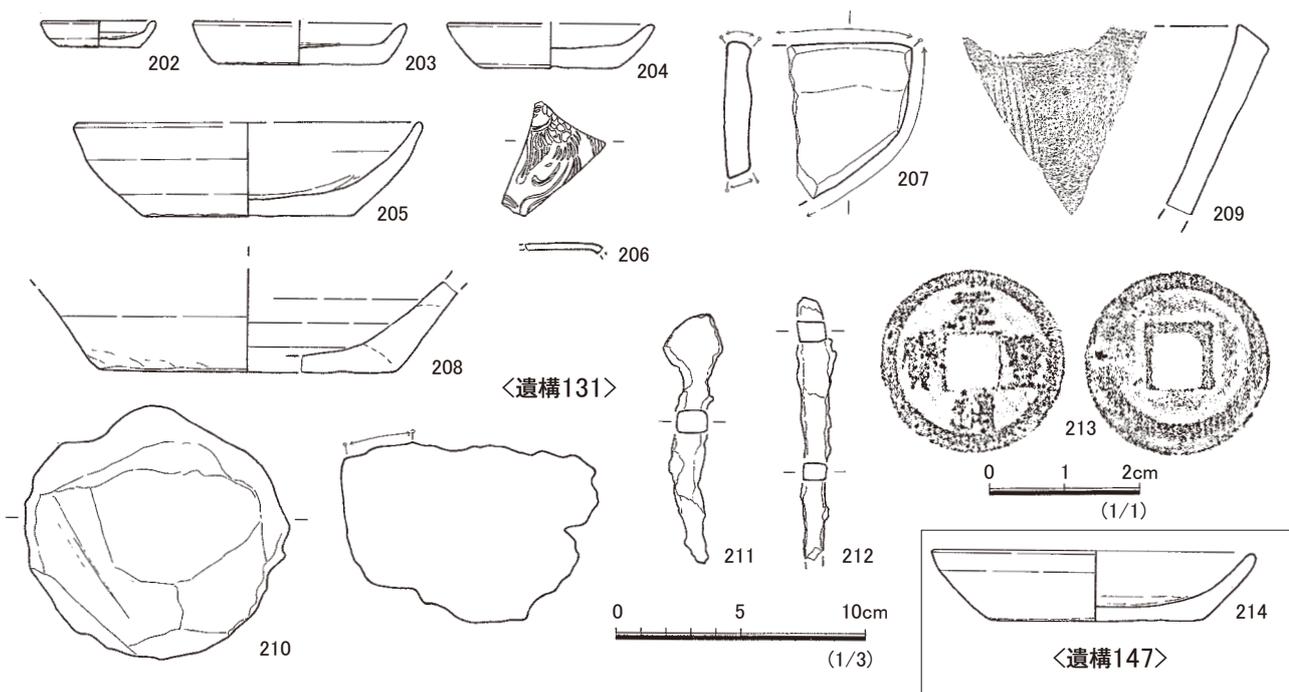
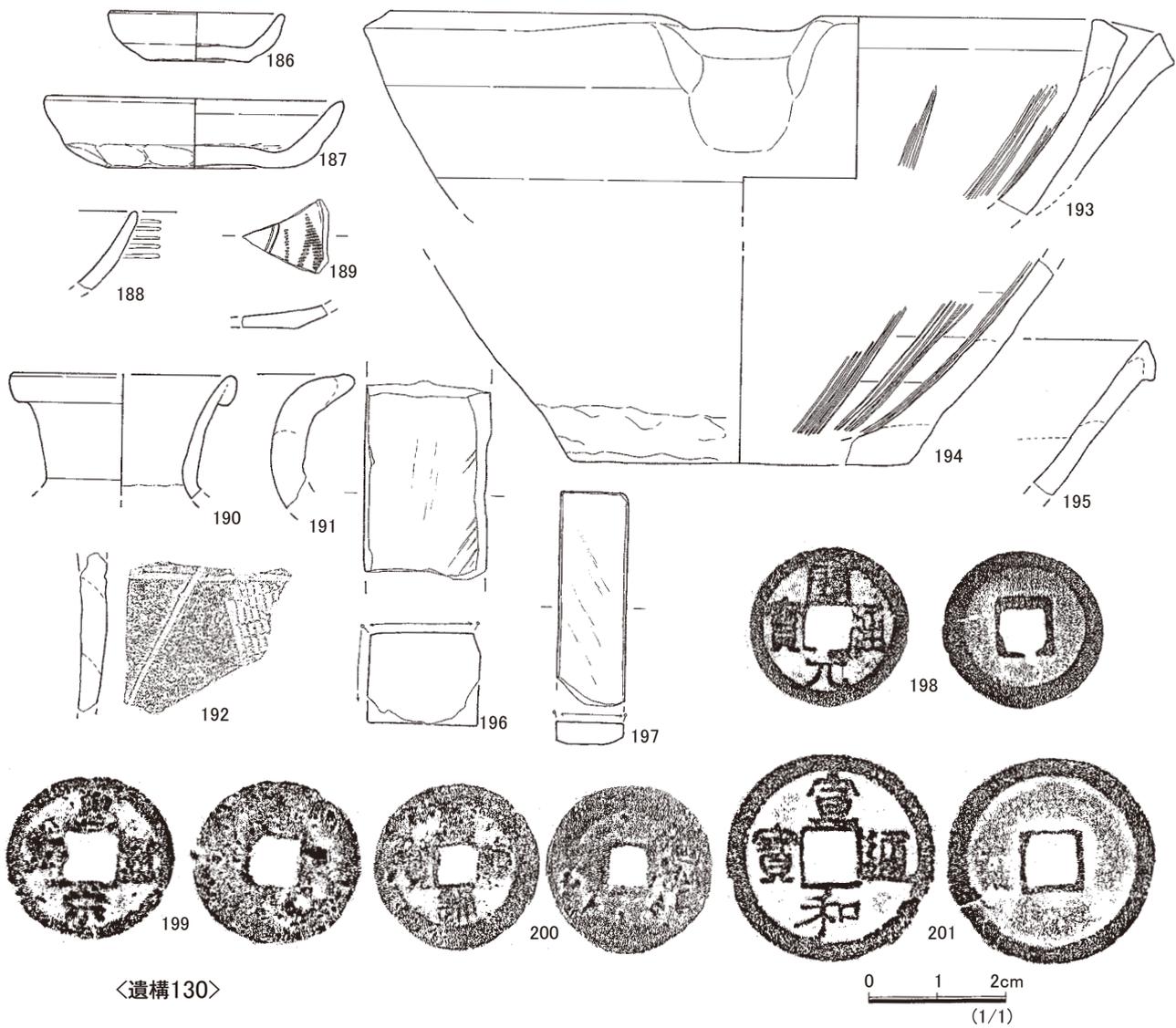


图22 2面遺構 出土遺物②

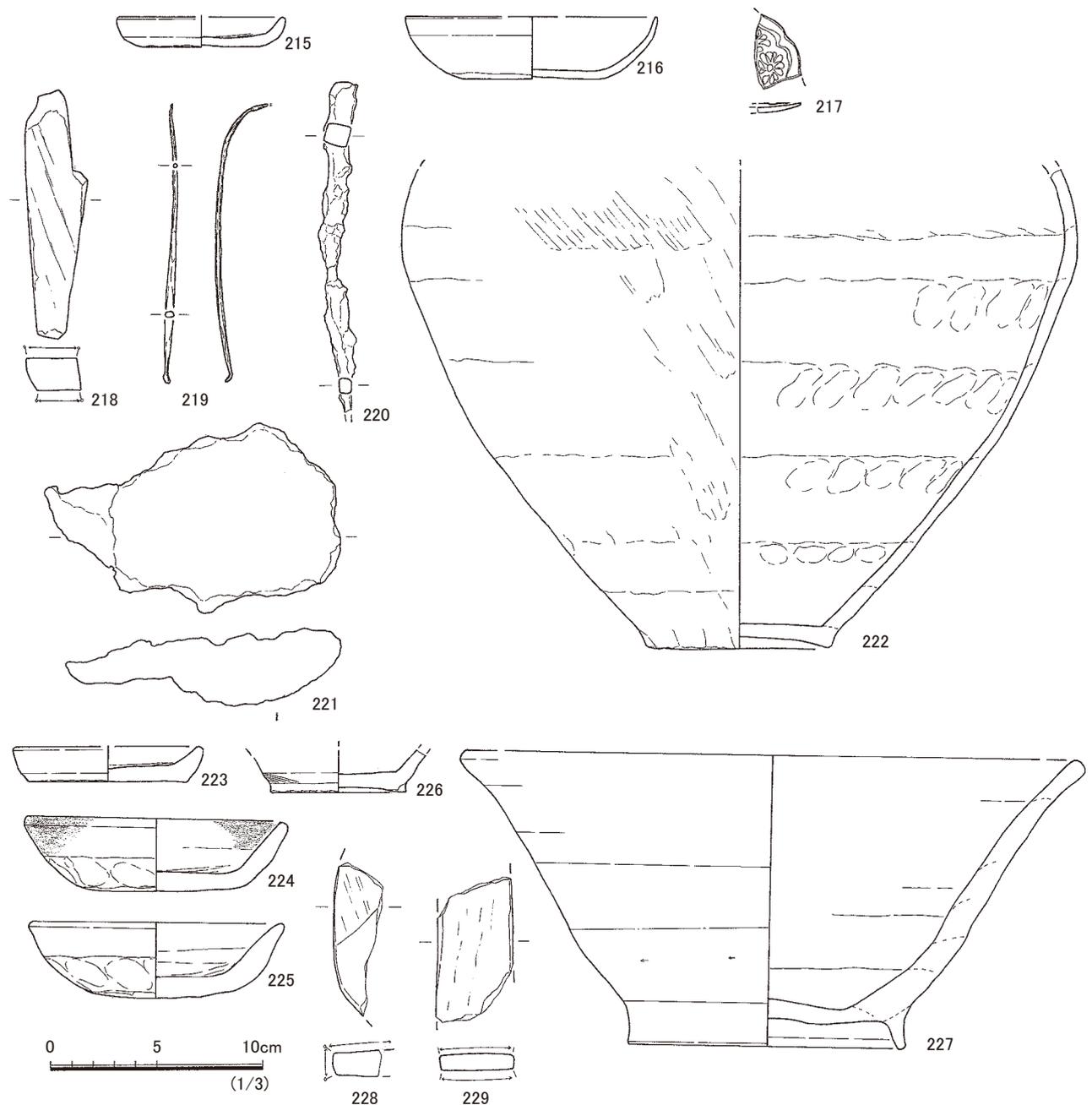


図23 2面遺構130・138出土遺物

断面形は円筒状を呈しており、確認面から80cm以上の深さをもち標高4.1m以下に底面があることを確認した。暗褐色の砂質土を覆土とする。

本遺構で出土した遺物は、図27-300～302に示した。小片ばかりで時期比定の決め手となる遺物はないが、手づくねかわらけ300の存在から13世紀前半の構築・使用年代を当てておきたい。

遺構119(土坑):Ⅱ区の南部で検出された。東側は調査区外に続き、南側を2面の遺構14・17に切られる。また、上部についても2面土坑の重複により削失を受けており、調査区東壁の土層断面からは4面より上位を掘り込み面としていた可能性も考えられる。検出できた限りでは東西28cm、南北67cmの平面規模をもつ。確認面からは10cm強、断面観察では30cm強の深さがあることを確認し、底面標高は4.65mを測る。覆土は黒灰色～暗褐色の粘質土をベースとしていた。

本遺構の出土遺物として、図27-303に手づくねかわらけの大皿1点を示した。残存率が1/6ほどの小

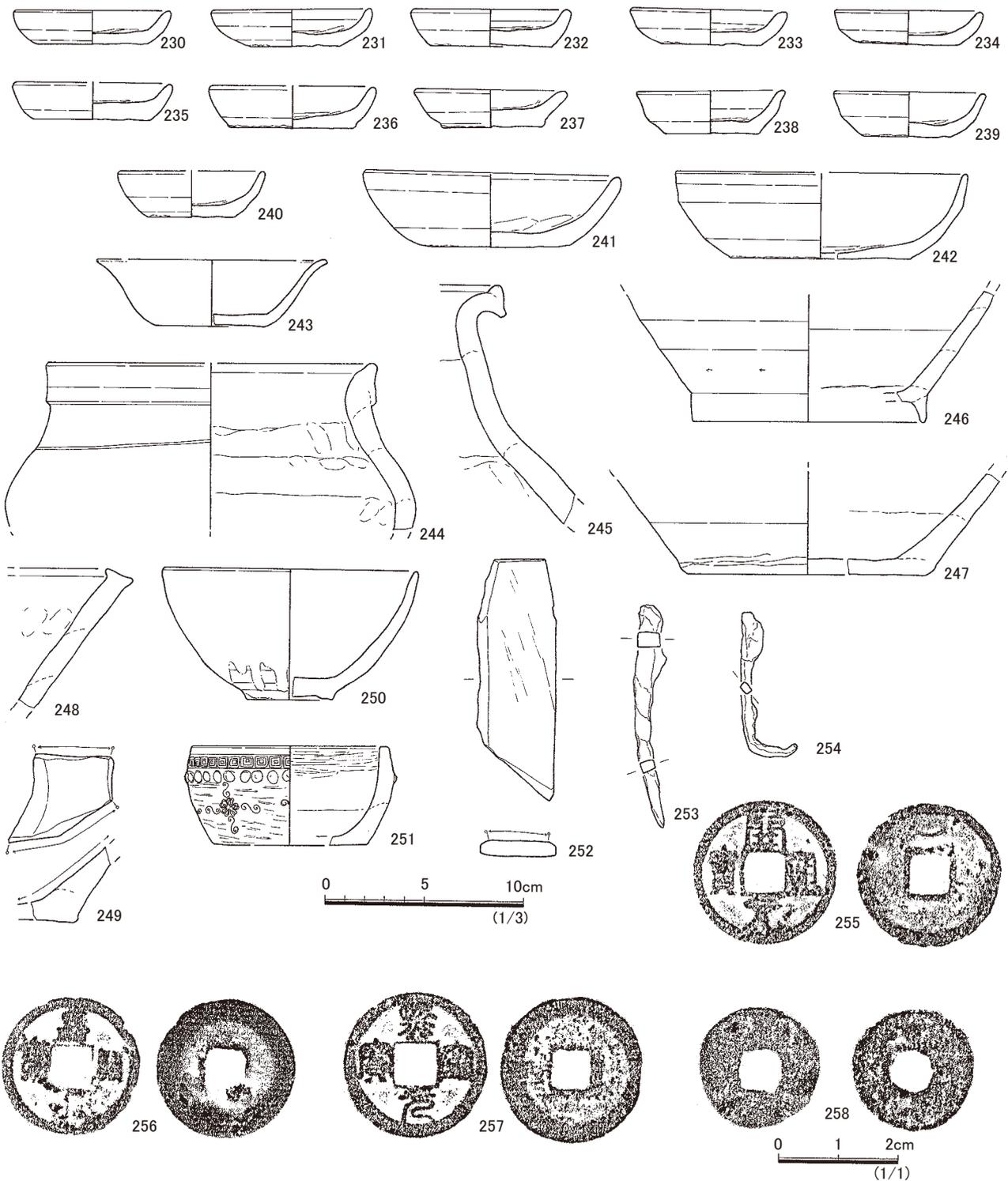


図24 2面下～3面 出土遺物

片であるため詳細な時期比定の材料とはならないが、概ね13世紀代の前半には位置付けられよう。

遺構19（ピット）：Ⅰ区の北部で検出された。直径25cmの円形プランを呈する。確認面からの深さは30cmほどで、底面標高は4.67mを測る。暗褐色の砂質土を覆土とする。

本遺構の出土遺物は、図27-304に手づくねかわらけの大皿1点を示した。小片であり、詳細な年代比定の材料とはしにくい。

遺構168（ピット）：Ⅲ区の中央に位置する。南北柱穴列と同じ並びに位置するが、同列とは柱間の

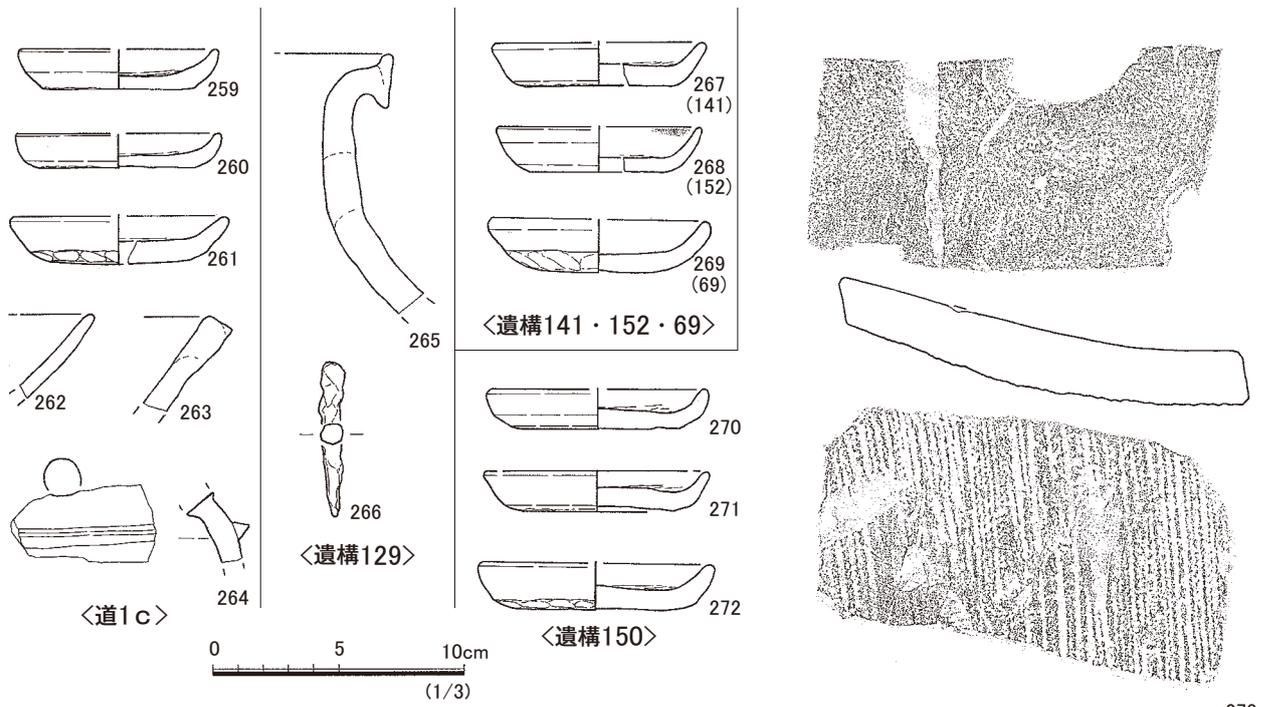


図25 3面遺構 出土遺物

距離が異なる。柱穴列の線上には他にも小穴が分布することから、補助柱もしくは別柱列の存在を想定することは可能だろう。西端部を上面遺構の重複によって失うが、直径30cm強の円形プランを呈していたものと考えられる。確認面からの深さは10cmほどで、底面標高は4.84 mを測る。

本遺構の出土遺物として、図27-305に尾張片口鉢の口縁部片1点を示した。

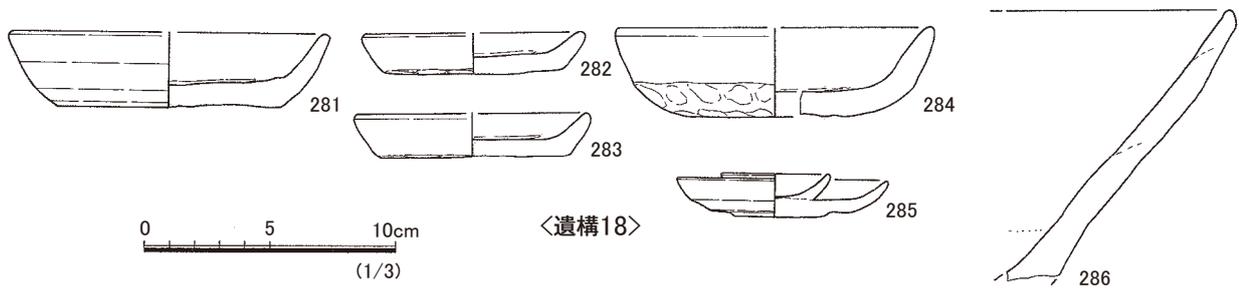
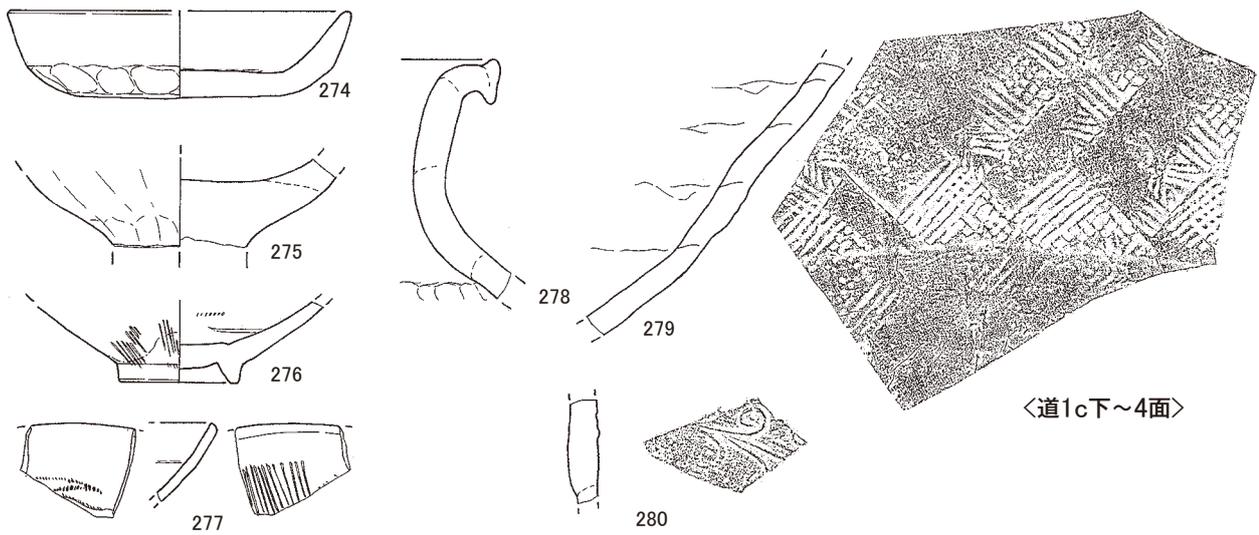


図26 3面 道1c下~4面(地山面)・3面 遺構18 出土遺物

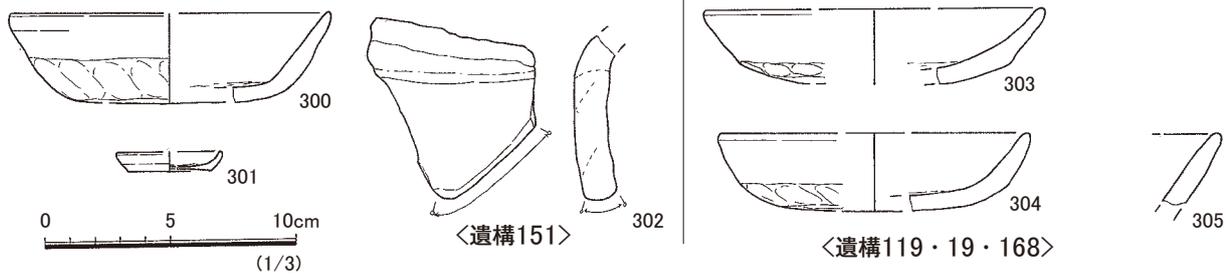
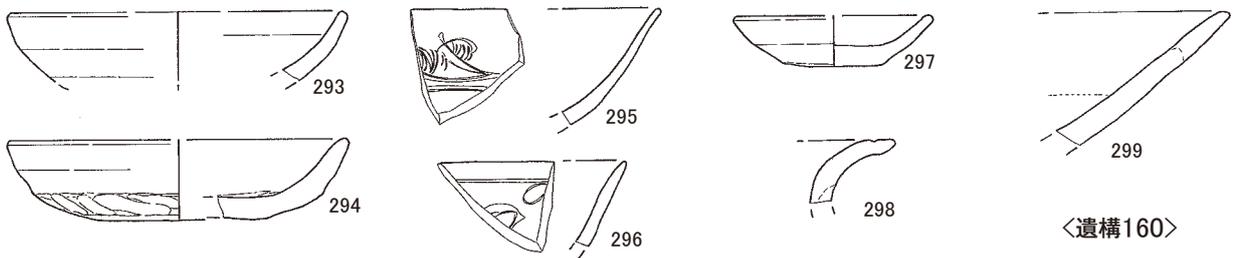
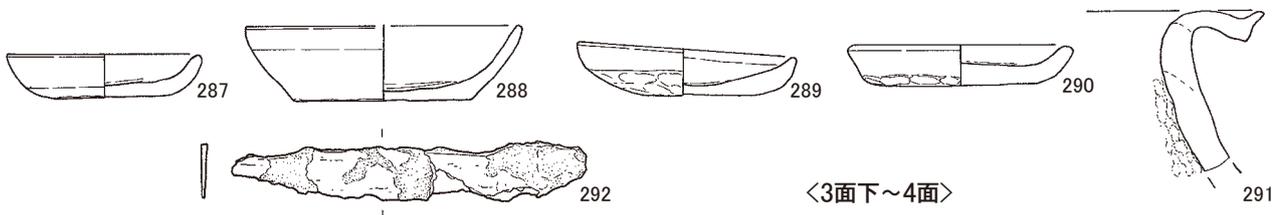


図27 3面下~4面(地山面)・4面遺構 出土遺物

第五章 調査成果のまとめ

遺構の展開と変遷について

今回の調査では80㎡弱という限られた範囲の中、南北道路を中心とする中世の土地利用の在り方を捉えることができた。南北道路は4面≡中世基盤層上面の遺構が廃絶した後に構築され、中世最上層の1面段階まで同じ規模を保ちながら踏襲される。各段階の路盤とも褐色砂や泥岩塊を用いて丁寧に築成されており、3面道路では路面上に混貝砂を敷いている状況も見て取れた。混貝砂の起源は、中世基盤層下に堆積する海成砂であると考えられる。4面遺構の出土遺物は少ないながら13世紀前半の様相に収まるので、初期道路(道1d)の構築は13世紀代の中頃(第2四半期も含むか)と考えられる。4面の南北柱穴列は道1dよりも新しく、続く道1cの西辺には板塀などの遮蔽施設が付帯していた可能性も考えられる。しかし、遮蔽物を挟んだ両サイドがどのような空間の違いを呈していたのか、今回の調査範囲の中では手掛かりを得ることができなかった。道路構築以前は井戸状の土坑が散在するのみで、出土遺物も僅少であることから、当地点における13世紀代前半までの土地利用は低調であったと推察される。

出土遺物から3面の道1cは13世紀後半に、1面の道1aは14世紀代に築成されたと考えられるので、各遺構面にも道路と近い年代観を与え得る。

1面～3面段階では、南北道路を境に東西で検出遺構の形態に差が見出せた。2面では道路西側に近接して竪穴建物が繰り返し構築される状況が見て取れ、東では小規模な土坑・ピットが重複して営まれていた。覆土中の出土遺物に拠れば、13世紀後半～14世紀前葉の中で構築・使用された遺構群と考えられる。道路の東側にも竪穴建物としての可能性を残す遺構が存在することから、道路から東にやや離れた場所での建物展開も推測できよう。道路西側の建物は路肩から60cmしか離れていないが、路面に食い込むような構築はされておらず、道路による土地割を遵守していた様子が窺える。上屋の構造物については明確な復元案を提示するだけの見識をもたないが、遺構の検出状況から察するに、屋根材を道路路面まで葺き下ろすような形態は採っていなかったと考えられる。

竪穴建物が埋没した後の1面でも道路(道1a)の東西で様相が大きく異なり、同時期に使用された遺構面として認識するのも躊躇するほどであった。道路の西側では東側よりも30～40cm低いレベルで浅い土坑が確認されたほか、この上位では凝灰岩切り石などの石材がまとめて捨てられた跡も見られ、建物用地などとして積極的に土地利用を行った形跡は見出せなかった。道路の東側では土坑や溝が散漫に展開しており、西側より整然と土地利用が行われていた様子が窺えた。

表土から1面までに出土した遺物は、備前播鉢などに15世紀代まで下る要素は見出せるものの殆どは14世紀代に収まり、「善寶寺寺地図」が作成された15世紀末頃の様相は捉えられなかった。後世の削平を受けた可能性もあるだろうが、この状況を理解する上では鎌倉公方足利成氏が下総古河へ逃れた康正元年(1455)以降に都市鎌倉が急速に衰退したとする従來說が助けとなるだろう。これに先駆けて15世紀に入る頃には、鎌倉時代に武家屋敷や庶民居住区が入り混じって賑わいを見せた当地区も人家疎らな地域と変貌していたのかもしれない。

本地点では中世における土地改変の頻度が非常に高かったと見え、現地調査および整理作業においてその痕跡の抽出には苦労した。なお混乱の痕を残したままの報告となったが、中世における土地利用の変遷過程を、大まかにでも示せたのではないかと思う。

線刻硯について

裏面に阿弥陀如来または地藏菩薩の来迎図が線刻された硯は欠損品であり、道路側溝という出土位置からも他所で使用・廃棄されたものが造成土とともに本地点へと移動してきたと考えるべきであろう。遺物の具体相については前稿(押木・古田土2011)を参照されたいが、線刻画自体は稚拙に映るものの硬質な石材に極細線で丹念に描かれており、図像に託した人の心情が伝わってくる。尊像が阿弥陀菩薩であれば、来迎・浄土を希求する作者の想いの強さが偲ばれる。実際に描かれ、使用された時期は特定できないが、キャンバスとなった京都鳴滝産の楕円形四葉硯は13世紀の第2四半期頃から鎌倉への搬入が確認されるという。線刻画は消費地である鎌倉で施されたものであろうから、鎌倉後期以降の信仰・精神史を考える上で新たな素材が提供されたものと評価したい。



図28 線刻画(階調反転)

【参考文献】

- 高柳光寿 1959『鎌倉市史 総説編』 鎌倉市
三浦勝男編 1969『鎌倉の古絵図Ⅱ』 鎌倉市教育委員会・鎌倉国宝館
白石永二編 1976『鎌倉事典』 東京堂出版
宗臺秀明 2005「中世鎌倉の土器・陶磁器」『全国シンポジウム 中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～資料集』
田代郁夫 1998「大町大路と小町大路—中世都市の中の「町」と「路」—」『湘南考古学同好会会報73』 湘南考古学同好会
太宰府市教育委員会 2000『大宰府条坊跡X V—陶磁器分類編—』
乗岡 実 2005「備前」『全国シンポジウム 中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～資料集』
藤澤良祐 2008『中世瀬戸窯の研究』高志書院
押木弘己・古田土俊一 2011「若宮大路周辺遺跡群の調査—成果概要と出土した線刻画をもつ硯について—」『かまくら考古』第7号 特定非営利活動法人 鎌倉考古学研究所
押木弘己 2011「若宮大路周辺遺跡群の調査—大町一丁目1034番9地点—」『第21回 鎌倉市遺跡調査・研究発表会 発表要旨』 鎌倉市教育委員会・特定非営利活動法人 鎌倉考古学研究所
愛知県 2012『愛知県史 別編窯業3 中世・近世常滑系』
永田史子 2014「考古学からみた鎌倉研究の現状と課題」『鎌倉研究の未来』中世都市研究会編 山川出版社

表1 出土遺物観察表

遺物 番号	種別	器種	法量 (cm)			その他の特徴
			口径	底径	器高	
表土～1面出土遺物① (図15)						
1	土器	ロクロ かわらけ・極小	4.1	3.4	0.7	完形 11g 胎土:細砂粒、白色針状物質 色調:明橙褐色
2	土器	ロクロ かわらけ・極小	(5.4)	(3.9)	0.9	1/5 胎土:緻密、やや砂質 色調:淡黄褐色 内折れ
3	土器	ロクロ かわらけ・小	7.0	5.4	1.4	略完形 [36]g 胎土:細砂質、白色針状物質 色調:橙色
4	土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	5.1	1.8	略完形 [42]g 胎土:緻密、泥岩粒 色調:淡黄褐色
5	土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	5.3	1.8	略完形 [52]g 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:橙褐色
6	土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.9	1.7	略完形 [50]g 胎土:緻密 色調:淡黄褐色
7	土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.1	2.1	4/5 胎土:緻密、白色針状物質微量 色調:橙色
8	土器	ロクロ かわらけ・小	7.1	5.1	1.6	完形 45g 胎土:緻密、泥岩粒、白色針状物質 色調:淡橙褐色
9	土器	ロクロ かわらけ・小	(7.3)	5.0	1.7	1/3 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:淡黄褐色 内外面煤付着
10	土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.6	1.7	完形 60g 緻密、白色針状物質 色調:淡黄褐色
11	土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	4.2	2.0	略完形 [69]g 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡黄褐色
12	土器	ロクロ かわらけ・小	(7.7)	(4.7)	1.6	1/2弱 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡橙褐色
13	土器	ロクロ かわらけ・小	(7.6)	5.1	1.8	2/3弱 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:橙褐色
14	土器	ロクロ かわらけ・小	(7.2)	5.1	1.7	1/2弱 胎土:緻密、泥岩粒 色調:淡黄褐色 器表に酸化鉄?付着
15	土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.5	1.8	完形 51g 胎土:微砂質、泥岩粒、白色針状物質 色調:橙色
16	土器	ロクロ かわらけ・小	(7.9)	5.3	1.9	2/3 胎土:泥岩粒、色針状物質 色調:橙褐色
17	土器	ロクロ かわらけ・小	(7.8)	(5.6)	1.7	1/3 胎土:緻密、小礫 色調:淡黄褐色 器表に酸化鉄?付着
18	土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.8	1.7	略完形 [43]g 胎土:緻密、泥岩粒 色調:淡黄褐色
19	土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	5.8	1.9	2/3 胎土:粗、泥岩粒 色調:淡黄褐色
20	土器	ロクロ かわらけ・小	(7.6)	5.5	1.9	2/3 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:橙褐色/黒褐色 内外面全体に黒ずむ
21	土器	ロクロ かわらけ・小	8.5	5.9	2.3	4/5 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:橙色
22	土器	ロクロ かわらけ・小	8.4	6.0	1.9	略完形 [72]g 胎土:緻密、泥岩粒、白色針状物質 色調:淡橙褐色 口縁部内外面に煤付着
23	土器	ロクロ かわらけ・小	(7.6)	(4.4)	2.2	1/3 胎土:緻密、白色針状物質、角閃石 色調:淡橙色
24	土器	ロクロ かわらけ・小	(7.2)	3.8	2.6	3/4 胎土:緻密 色調:淡黄褐色
25	土器	ロクロ かわらけ・大	12.1	6.8	3.6	2/3 胎土:緻密、泥岩粒 色調:橙褐色
26	土器	ロクロ かわらけ・大	(12.4)	7.3	3.5	1/3 胎土:やや微砂質、泥岩粒、白色針状物質 色調:橙褐色
27	土器	ロクロ かわらけ・中	(11.3)	6.2	3.3	2/3 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:淡橙褐色
28	土器	ロクロ かわらけ・大	(12.3)	(6.6)	3.7	1/5 胎土:緻密 色調:淡橙褐色
29	土器	ロクロ かわらけ・大	(12.0)	7.0	3.2	2/3 胎土:白色針状物質 色調:淡橙褐色
30	土器	ロクロ かわらけ・大	(14.1)	8.4	3.4	1/3 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡橙褐色
31	磁器	青磁 蓮弁文碗	(13.5)	—	[4.7]	口～体1/6 胎土:灰色、緻密 釉調:緑灰色 龍泉窯系 大宰府Ⅱ - b類
32	磁器	青磁 蓮弁文碗	(12.9)	—	[4.1]	1/4 胎土:灰色、緻密 釉調:淡灰緑色 龍泉窯系 大宰府Ⅱ - b類
33	磁器	青磁 蓮弁文碗	(16.4)	—	[4.1]	口～体1/3 胎土:灰色、緻密で光沢あり 釉調:緑灰色 龍泉窯系 大宰府Ⅱ - b類
34	陶器	瀬戸 折縁中皿	(17.5)	(8.6)	3.6	1/3弱 胎土:灰色、緻密 釉調:淡灰緑色
35	陶器	瀬戸 折縁中皿?	—	7.9	[1.6]	底完存 胎土:黄灰色、緻密 釉調:灰黄～緑灰色 内底面に2重圏線あり

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			その他の特徴
			口径	底径	器高	
36	陶器	瀬戸入れ子	(8.0)	(4.2)	3.0	略完形 [48]g 胎土:雲母 色調:黄橙色 備考:口縁部煤付着
37	陶器	常滑甕	(20.4)	—	[7.6]	口頸1/3 胎土:緻密、やや砂質 色調:暗灰色
38	陶器	常滑甕	—	—	[8.8]	口小片 胎土:粗、黒色粒少量 色調:暗褐色
39	陶器	常滑甕	—	—	—	胴小片 外面にスタンプによる花卉文+自然釉
40	陶器	尾張片口鉢	—	(11.3)	[7.1]	底1/3 胎土:長石、小礫 色調:灰色 内面やや磨耗 常滑I類
41	陶器	常滑片口鉢II類	—	—	[3.9]	口小片 胎土:長石、小礫 色調:暗赤褐色 内面未使用
42	陶器	常滑片口鉢II類	—	—	—	体小片 胎土:白色砂粒 色調:暗赤灰色 内面に焼成前のへら描き
43	陶器	すり常滑	長さ5.0	幅5.7	厚さ1.6	甕の口縁部片を再利用 内面、割れ口など四辺を研磨に利用
44	陶器	すり常滑	長さ5.8	幅7.7	厚さ0.9	片口鉢II類の体部片を転用(内面磨耗)、割れ口の一辺を研磨に使用
45	陶器	すり常滑	長さ11.9	幅6.4	厚さ1.3	片口鉢II類の体部片を再利用、内面磨耗 割れ口上下端の二辺を研磨に利用

表土～1面 出土遺物② (図16)

46	陶器	備前すり鉢	—	(13.8)	[4.0]	底1/3 胎土:緻密 色調:暗赤灰色 底部・体部内面に10条一単位の櫛目
47	陶器	備前すり鉢	—	—	—	口小片 胎土:緻密、縞状の練り具合 色調:暗赤灰色 内面に4条一単位?の櫛目
48	陶器	東播系鉢	—	—	[3.9]	口小片 胎土:砂質、白色砂粒 色調:灰色
49	陶器	東播系鉢	—	—	—	口小片 胎土:砂質、白色砂粒 色調:灰色
50	瓦器	香炉	(6.0)	—	[2.3]	1/4弱 胎土:緻密、黒色 色調:橙灰色 外面ヨコヘラミガキ→スタンプ文+貼り付け文 口縁部内面ヨコヘラミガキ
51	瓦質土器	火鉢	(39.0)	(30.6)	10.5	1/3弱 胎土:細砂質 色調:灰色 体部下端外面糸切り痕? 口縁部内面煤付着
52	土製品	管状土錘	長さ5.4	最大径3.2	孔径1.1	完形 52g
53	瓦	平瓦転用品	長さ[9.9]	幅[9.8]	厚さ2.2	胎土:緻密、白色砂粒 色調:灰白色 凸面に糸切り痕残る 割れ口の一辺を研磨に使用
54	石製品	硯	長さ[12.1]	幅[5.4]	高さ2.0	1/2以下? [130]g 表面筆舟部に線刻画(三つ葉文?) 黒色粘板岩製(鳴滝産若大路石)
55	石製品	硯	長さ[4.3]	幅7.2	高さ1.6	1/5前後 粘板岩製
56	石製品	硯	7.3	4.4	2.2	略完形 [46]g 胎土:雲母・白色針状物質 色調:黄橙色
57	石製品	砥石	長さ[7.8]	幅4.1	厚さ1.2	1/2程度? [56]g 仕上げ砥
58	石製品	砥石	長さ[7.7]	幅3.2	厚さ1.1	1/3前後か 仕上げ砥
59	石製品	砥石	長さ[10.7]	幅4.7	厚さ2.9	残存率不明 [243]g 表面と側面の二面を使用 中砥
60	石製品	砥石	長さ[7.7]	幅5.0	厚さ1.1	残存率不明 仕上げ砥か
61	石製品	砥石	長さ[7.6]	幅2.5	厚さ1.2	残存率不明 [38]g 表面1面を使用 仕上げ砥
62	骨製品	筭	長さ[10.1]	幅1.6	厚さ0.3	1/2
63	鉄製品	釘	長さ9.9	幅1.0	厚さ1.0	完形 19g
64	鉄製品	釘	長さ6.0	幅0.7	厚さ0.7	完形 9g
65	鉄製品	釘	長さ5.8	幅1.0	厚さ1.1	完形 5g
66	銅製品	銭	直径1.9	孔径0.7	厚さ0.1	完形 元祐通寶(篆書) 中国北宋代、1086年初鑄

1面遺構 出土遺物① (図17)

67	土器	ロクロかわらけ・大	11.7	7.5	3.2	4/5 胎土:白色針状物質 色調:淡黄褐色
68	土器	ロクロかわらけ・特大	(18.6)	(9.6)	4.8	1/3 胎土:粗、白色針状物質 色調:淡黄褐色 内底ナデ数回
69	陶器	常滑壺	—	—	—	胴小片 胎土:緻密、長石・石英 肩部外面に突帯+耳 色調:灰色

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			その他の特徴
			口径	底径	器高	
70	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	—	—	[6.7]	口小片 胎土:緻密、白色砂粒 色調:暗灰色
71	土器	吉備系碗	—	4.6	[1.1]	底完存 胎土:緻密 色調:灰色～黒灰色 内底面に紅?付着
72	石製品	砥石	長さ [6.4]	幅 [3.8]	厚さ 2.1	1/2前後か 中砥
73	骨製品	筭	長さ [13.9]	幅 1.7	厚さ 0.6	先端部欠損
74	土器	ロクロかわらけ・小	(7.9)	5.4	1.4	2/3 胎土:細砂、泥岩粒 色調:淡黄褐色
75	土器	ロクロかわらけ・大	12.3	7.4	3.4	完形 170g 胎土:粗、白色針状物質微量 色調:橙褐色
76	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	—	—	—	口小片 胎土:粗、小礫 色調:赤褐色
77	土器	ロクロかわらけ・小	7.5	5.0	2.1	3/4 胎土:緻密 白色針状物質微量 色調:淡黄褐色
78	土器	ロクロかわらけ・小	7.9	6.0	2.0	完形 48g 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡黄褐色
79	土器	ロクロかわらけ・小	7.7	4.6	2.1	完形 52g 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:淡黄褐色
80	陶器	尾張型山茶碗	—	(6.9)	[1.7]	底1/3 胎土:砂質、白色礫 色調:灰色 高台内回転糸切り痕
81	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	—	—	13.2	1/8以下 胎土:緻密、白色・黒色粒 色調:暗赤灰色～褐色 内面に自然釉付着、使用感なし
82	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	—	—	—	口小片 胎土:緻密、白色粗砂 色調:暗灰色～暗赤灰色 9型式以降
83	瓦質土器	火鉢転用品	長さ 12.4	幅 11.2	厚さ 1.5	底部片を再利用か 割れ口の三辺を研磨に使用 内底面ナデ、外底面に糸切り?痕
84	鉄製品	釘	長さ [6.0]	幅 1.1	厚さ 0.8	先端部欠損 [9]g
85	土器	ロクロかわらけ・小	(7.4)	5.1	2.5	2/3弱 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡橙色
86	陶器	常滑甕	—	—	—	口小片 胎土:粗、小礫 色調:灰色
87	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	—	—	[6.2]	口小片 胎土:長石 色調:暗赤灰色 8～9型式
88	鉄製品	釘	長さ 7.0	幅 0.7	厚さ 0.7	完形 6g

1面遺構出土遺物② (図18)

89	石製品	硯	長さ [10.9]	幅 [7.3]	高さ 1.4	4/5 [111]g 頁岩製(鳴滝産) 裏面に針状具による線刻画(阿弥陀如来or地藏菩薩の来迎図か)
90	土器	ロクロかわらけ・小	(7.2)	5.0	1.7	1/4弱 胎土:緻密 色調:淡黄褐色 内底面に焼成後の線刻(文字か?判読不明)
91	土器	ロクロかわらけ・中	10.9	6.8	3.1	略完形 [139]g 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡橙褐色 口縁部・体部内外面に煤付着
92	銅製品	銭	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形 景德元寶 中国北宋代、1004年初鑄
93	磁器	白磁合子蓋	(5.4)	天井径 (4.5)	1.4	1/6 胎土:白色、緻密 釉調:白色 天井部外面型押し文 体部外面蓮弁文
94	磁器	青磁蓮弁文碗	—	—	[2.7]	口小片 胎土:灰色、密 釉調:灰緑色 龍泉窯系 大宰府Ⅱ-b類
95	陶器	備前すり鉢	—	—	—	口小片 胎土:緻密、小礫 色調:赤灰色～褐色 内面に6条一単位の櫛目
96	瓦質土器	角火鉢?	長さ [9.8]	幅 [6.0]	高さ 3.3	小片 内面ナデ、外面ヘラミガキ、外底面スノコ状瓦痕
97	石製品	砥石	長さ [21.2]	幅 3.7	厚さ 2.6	一部欠損 [345]g 中砥(上野産) 4面を使用
98	銅製品	銭	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形 天聖元寶(真書) 中国北宋代、1023年初鑄
99	銅製品	銭	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形 熙寧元寶(真書) 中国北宋代、1068年初鑄
100	銅製品	銭	直径 2.2	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形 元豐通寶(行書) 中国北宋代、1078年初鑄
101	銅製品	銭	直径 2.4	孔径 0.8	厚さ 0.1	完形 元豐通寶(行書) 中国北宋代、1078年初鑄
102	銅製品	銭	直径 2.3	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形 元祐通寶(篆書) 中国北宋代、1086年初鑄
103	—	—	—	—	—	欠番
104	銅製品	銭	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形 元祐通寶(篆書) 中国北宋代、1086年初鑄

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			その他の特徴
			口径	底径	器高	
105	銅製品	銭	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形 政和通寶(篆書) 中国北宋代、1111年初铸

1面下～2面出土遺物①(図19)

106	土器	ロクロ かわらけ・極小	4.4	3.4	0.9	完形 11g 胎土:緻密 色調:淡橙色
107	土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	4.3	2.0	完形 47g 胎土:やや砂質、白色針状物質 色調:橙色
108	土器	ロクロ かわらけ・小	8.8	4.9	1.9	略完形 [48]g 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡橙褐色
109	土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	6.1	1.8	完形 52g 胎土:砂質、白色針状物質 色調:淡橙色
110	土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	5.1	1.7	略完形 [48]g 胎土:緻密 色調:淡黄褐色 器表、割れ口に酸化鉄?付着
111	土器	ロクロ かわらけ・小	(7.9)	5.3	1.7	3/4 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡黄褐色
112	土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	5.7	1.7	完形 52g 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:淡橙褐色
113	土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	5.9	1.7	完形 50g 胎土:やや砂質 色調:淡橙褐色
114	土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.4	1.7	完形 56g 胎土:緻密、泥岩粒、スコリア 色調:淡黄褐色 口縁部内外面に煤付着
115	土器	ロクロ かわらけ・小	7.9	6.0	2.0	完形 67g 胎土:緻密、泥岩粒、白色針状物質 色調:淡橙褐色 口縁部内外面に煤付着
116	土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.8	1.8	3/4 胎土:緻密、泥岩粒、白色針状物質 色調:淡黄褐色
117	土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.7	1.8	略完形 [57]g 胎土 緻密、泥岩粒、白色針状物質 色調:淡黄褐色
118	土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	5.2	1.7	3/4 胎土:緻密、泥岩粒、白色針状物質 色調:淡橙褐色
119	土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	5.4	2.0	2/3 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡橙褐色
120	土器	ロクロ かわらけ・小	(7.3)	4.5	1.9	略完形、口縁部細かく打ち欠き [45]g 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡橙褐色
121	土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.0	2.2	2/3 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡橙褐色
122	土器	ロクロ かわらけ・小	(7.2)	(4.5)	2.2	1/4 胎土:緻密 色調:淡黄褐色
123	土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.7	1.7	2/3 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡橙褐色 底部焼成後に穿孔(内面から) 口縁部内外面に煤付着
124	土器	ロクロ かわらけ・中	(11.2)	(6.8)	3.1	1/5 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:淡橙褐色
125	土器	ロクロ かわらけ・大	11.9	7.2	3.5	4/5 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:淡橙褐色 口縁部内外面に煤付着
126	土器	ロクロ かわらけ・大	12.4	6.5	3.7	略完形 [173]g 胎土:緻密、泥岩粒、白色針状物質 色調:淡橙色
127	土器	ロクロ かわらけ・大	—	(6.0)	[1.2]	底1/3 胎土:白色針状物質 色調:淡黄褐色 底部焼成後に穿孔
128	土器	ロクロ かわらけ・大	(12.4)	(8.4)	3.3	1/2弱 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:橙褐色
129	土器	ロクロ かわらけ・大	(13.2)	8.6	3.7	3/4 緻密、泥岩粒、白色針状物質 色調:橙褐色
130	土器	手づくね かわらけ・小	(8.2)	(6.6)	1.4	1/3 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡黄褐色
131	磁器	白磁 口元皿	(10.5)	(6.6)	2.0	1/6 胎土:白色、緻密 釉調:白黄色、薄掛け 外底面へラ切り、施釉
132	磁器	青磁 蓮弁文碗	—	4.9	[3.1]	底完存 胎土:灰色、やや粗 釉調:淡緑灰色 龍泉窯系 大宰府Ⅲ-2C類か
133	磁器	青磁 碗	—	5.3	[3.0]	底4/5 胎土:緻密、淡灰黄色 釉調:淡緑色 龍泉窯系 大宰府Ⅰ-1a類か
134	磁器	青磁 碗	—	4.7	[1.7]	底完存 胎土:白色、緻密 釉調:乳白色
135	磁器	青磁 蓮弁文碗	—	—	[3.4]	口小片 胎土:灰白色、緻密 色調:淡灰緑色
136	磁器	青磁 皿	(18.2)	(9.6)	4.1	1/6 胎土:灰白色、緻密 色調:淡灰緑色 内面に蓮弁状の型押し
137	舶載陶器	鈞窯系 植木鉢?	—	—	[4.8]	胴1/8以下 胎土:灰褐色、白色微粒 釉調:褐色・白青色(褐釉+濃青釉) 鈞窯系…中国浙江省婺(ぶ)州窯などに類例
138	陶器	瀬戸 瓶子	(4.0)	—	[3.7]	口完存 胎土:灰色、緻密 釉調:淡緑灰色 瓶子Ⅰ or Ⅱ類 古瀬戸中期様式-Ⅱ期か
139	陶器	瀬戸 水滴	—	3.6	[2.0]	底完存 胎土:灰黄色、やや粗、混入物なし 釉調:透明釉 外底面まで施釉

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			その他の特徴
			口径	底径	器高	
140	陶器	瀬戸入れ子	4.5	2.6	1.7	完形 15g 胎土:緻密、混入物なし 色調:灰白色 外底面回転糸切り→一部ナデ 内面に紅付着
141	陶器	瀬戸卸皿	(18.8)	—	[3.3]	口1/4弱 胎土:灰白色、緻密 釉調:淡灰黄色 体部下端外面は無釉
142	陶器	瀬戸折縁深皿	(25.8)	(16.4)	8.0	底1/6～口わずか 胎土:淡灰黄色、緻密、混入物少ない 釉調:淡灰黄色
143	陶器	常滑甕	—	—	—	胴小片 胎土:粗、白色砂粒 色調:赤褐色 外面に扇文のスタンプ
144	陶器	常滑甕	—	—	—	胴小片 外面に焼成前のヘラ描き
145	陶器	常滑甕	—	—	—	胴小片 胎土:長石 色調:赤褐色 外面に方格文のスタンプ
146	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	—	—	[6.2]	口小片 胎土:長石 色調:赤灰色 内面未使用
147	陶器	すり常滑	長さ7.9	幅5.9	厚さ1.5	甕の胴部片を転用 割れ口の二辺を研磨に使用
148	陶器	すり常滑	長さ[9.7]	幅[7.7]	厚さ1.2	甕の胴部片を再利用 割れ口の三辺を研磨に利用
149	瓦質土器	火鉢	—	—	10.3	口～体小片 胎土:灰白色、砂質、小礫 色調:灰黒色 口縁部内面～体部外面ヨコヘラミガキ→体部外面スタンプ花弁文+貼り付け珠文

1面下～2面出土遺物② (図20)

150	土製品	かわらけ転用円盤	直径2.6	厚さ0.9	—	完形 6g 胎土:砂質 色調:淡橙褐色
151	瓦	平瓦転用品	長さ[11.0]	幅7.8	厚さ2.1	分割後、再整形 胎土:緻密、小礫 色調:灰白色 凹面に離れ砂→「十」字の条線 凸面ナデorケズリ
152	石製品	硯	長さ[5.2]	幅[9.5]	高さ[1.8]	1/3前後か
153	瓦	平瓦転用品	長さ[9.3]	幅5.3	厚さ2.0	1/2前後 胎土:細砂質 色調:暗灰色 凸面離れ砂 割れ口を再加工(研磨)
154	石製品	用途不明	長さ6.1	幅3.7	厚さ3.3	完形 35g 軽石製 一面に小孔
155	泥岩製品	用途不明	最大径8.2	高さ6.8	—	完形? 354g
156	銅製品	銭	直径2.4	孔径0.7	厚さ0.1	完形 祥符元寶 中国北宋代、1009年初鑄
157	銅製品	銭	直径2.4	孔径0.7	厚さ0.1	完形 元豊通寶(行書) 中国北宋代、1078年初鑄
158	銅製品	銭	直径2.4	孔径0.7	厚さ0.1	完形 元豊通寶(篆書) 中国北宋代、1078年初鑄
159	銅製品	銭	直径2.3	孔径0.7	厚さ0.1	完形 元祐通寶(行書) 中国北宋代、1086年初鑄
160	銅製品	銭	直径2.4	孔径0.7	厚さ0.1	完形 元祐通寶(篆書) 中国北宋代、1086年初鑄
161	銅製品	銭	直径2.3	孔径0.6	厚さ0.1	完形 元符通寶(行書) 中国北宋代、1098年初鑄
162	銅製品	銭	直径2.4	孔径0.7	厚さ0.1	完形 大観通寶 中国北宋代、1107年初鑄
163	銅製品	銭	直径2.4	孔径0.7	厚さ0.1	完形 大観通寶 中国北宋代、1107年初鑄

2面遺構出土遺物① (図21)

164	土器	ロクロかわらけ・小	(8.8)	(6.2)	1.8	1/2弱 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡黄褐色
165	土器	ロクロかわらけ・小	(7.8)	(6.0)	1.7	1/3 胎土:細砂質、白色針状物質 色調:淡橙褐色
166	銅製品	銭	直径2.4	孔径0.7	厚さ0.1	完形 銭銘不明
167	磁器	青白磁合子蓋	—	—	[2.1]	1/6以下 胎土:灰白色、緻密 釉調:白色～青白色 口縁部内外面無釉 天井部外面に型押しによる文様(鳳凰?草花?)
168	陶器	尾張型山茶碗	—	6.5	[3.3]	底完存 胎土:粗、白色砂、黒色粒 色調:灰色 高台内回転糸切り痕 内面使用により平滑、光沢あり
169	土器	ロクロかわらけ・小	(6.3)	(4.6)	1.8	1/4 胎土:緻密、泥岩粒、白色針状物質 色調:淡橙色
170	鉄製品	釘	長さ[4.8]	幅0.7	厚さ0.8	下端部欠損 [3]g
171	鉄製品	釘	長さ[7.3]	幅0.8	厚さ0.8	下端部欠損 [13]g
172	鉄製品	釘	長さ(7.9)	幅1.1	厚さ0.9	下端部欠損 [13]g
173	鉄製品	釘	長さ[10.7]	幅0.8	厚さ1.0	下端部欠損 [23]g

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			その他の特徴
			口径	底径	器高	
174	骨製品	用途不明	長さ [5.0]	幅 1.3	厚さ 1.0	両端欠損 上面に刻り込み (3ヶ所)
175	鉄製品	釘	長さ [6.8]	幅 0.8	厚さ 0.4	両端欠損 [7]g
176	銅製品	銭	直径 2.1	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形 銭銘不明
177	土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	4.8	2.2	略完形 [64]g 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡黄褐色
178	土器	ロクロ かわらけ・大	(12.8)	(8.0)	3.3	1/4弱 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:橙褐色
179	陶器	常滑 甕	—	—	[5.6]	口小片 胎土:長石 色調:赤灰色 6b型式
180	陶器	すり常滑	—	(10.8)	4.8	片口鉢Ⅰ類片を再利用 内面磨耗 割れ口二辺を研磨に利用
181	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[4.7]	口小片 胎土:長石 色調:暗赤灰色
182	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	—	体小片 胎土:緻密 色調:暗灰色 内面にへら描き? + 自然釉 (使用痕なし)
183	陶器	尾張 片口鉢	—	(12.0)	[11.0]	底1/8以下 胎土:粗、長石 色調:灰色 内面に自然釉、内底面付近の器表剥落
184	石製品	砥石	長さ [6.5]	幅 3.3	厚さ 1.3	残存率不明 中砥
185	石製品	紡錘車	最大径 4.1	孔径 0.7	厚さ 1.6	完形 33g 滑石鍋の転用品か? 独案の可能性もあり

2面遺構 出土遺物② (図22)

186	土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	4.3	2.1	完形 46g 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡橙褐色
187	土器	手づくね かわらけ・大	12.9	—	3.2	2/3 胎土:やや砂質、白色針状物質 色調:淡黄褐色
188	磁器	青磁 碗	—	—	[3.4]	口小片 口縁部外面に横沈線5条 胎土:灰色、やや粗 釉調:緑灰色
189	磁器	青磁 櫛描文皿	—	—	[1.0]	底小片 胎土:灰色、緻密 釉調:緑灰色 内底面に櫛描文 外底面無釉
190	瀬戸	瀬戸 四耳壺	(9.6)	—	[5.3]	口1/3 胎土:灰白色、緻密 釉調:緑灰色 二次焼成受け釉薬が発泡
191	陶器	渥美 甕	—	—	[5.0]	口小片 胎土:微砂質 色調:灰色～暗青灰色
192	陶器	常滑 甕	—	—	—	胴小片 胎土:長石 色調:灰色
193	陶器	備前 すり鉢	(31.4)	—	[8.5]	口1/6 胎土:粗、白色礫 色調:赤灰色～黒灰色 内面に6条一単位の櫛目
194	陶器	備前 すり鉢	—	(14.8)	[9.1]	底1/4 胎土:白色礫 色調:赤褐色～緑灰色 内面に7条一単位の櫛目
195	陶器	東播系 鉢	—	—	—	口小片 胎土:粗砂質、小礫 色調:暗灰色 片口部が部分的に残存
196	石製品	砥石	長さ [8.4]	幅 5.5	厚さ 4.1	残存率不明 [329]g 粗砥
197	石製品	砥石	長さ [9.3]	幅 2.9	厚さ 1.0	1/2以上か 仕上げ砥
198	銅製品	銭	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形 開元通寶 中国唐代、621年初鑄
199	銅製品	銭	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形 皇宋通寶(真書) 中国北宋代、1038年初鑄
200	銅製品	銭	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形 嘉祐通寶(篆書) 中国北宋代、1056年初鑄
201	銅製品	銭	直径 3.0	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形 宣和通寶・折二銭(分楷) 中国北宋代、1119年初鑄
202	土器	ロクロ かわらけ・極小	4.5	3.3	1.1	2/3 胎土:砂質、泥岩粒、白色針状物質 色調:橙褐色
203	土器	ロクロ かわらけ・小	(8.4)	6.4	1.7	1/2弱 胎土:緻密 色調:橙褐色
204	土器	ロクロ かわらけ・小	(8.2)	(5.5)	1.8	1/3 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:淡橙褐色
205	土器	ロクロ かわらけ・大	(13.6)	(8.4)	3.8	1/3 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:橙褐色
206	磁器	青白磁 合子蓋	—	—	—	天井小片 胎土:白色、緻密 釉調:青白色 天井部外面に型押しによる鳳凰文
207	陶器	すり常滑	長さ 6.2	幅 4.9	厚さ 1.1	片口鉢Ⅱ類の口小片を再利用、口唇部と割れ口の一辺を研磨に利用 内面に自然釉付着
208	陶器	東播系 鉢	—	(11.9)	[3.8]	底1/4 胎土:粗、白色礫 色調:灰白色 内外面に薄い煤付着

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			その他の特徴
			口径	底径	器高	
209	陶器	備前すり鉢	—	—	—	口小片 胎土:灰色で緻密、小礫、黒色粒 内面に7条一単位の櫛目
210	石製品	軽石研磨具?	長さ10.5	幅10.0	厚さ7.0	完形? 113g 白色～灰白色
211	鉄製品	釘	長さ9.9	幅2.3	厚さ2.0	完形 25g
212	鉄製品	釘	長さ[10.5]	幅1.5	厚さ0.9	下端部欠損 [32]g
213	銅製品	銭	直径2.5	孔径0.7	厚さ0.1	完形 元豊通寶(篆書) 中国北宋代、1078年
214	土器	ロクロかわらけ・大	12.8	8.5	2.8	完形 151g 胎土:やや砂質、泥岩粒、白色針状物質 色調:橙褐色

2面遺構130・138 出土遺物 (図23)

215	土器	ロクロかわらけ・小	(7.8)	5.4	1.4	1/2弱 胎土:砂質、白色針状物質、角閃石
216	土器	白かわらけ手づくね?大	(11.8)	—	2.9	1/3 胎土:緻密、割れ口が薄い層状をなす 色調:白灰色
217	磁器	青白磁皿	—	—	—	口小片 胎土:白色、緻密 釉調:青白色 内面に型押し菊花文
218	石製品	砥石	長さ11.8	幅2.8	厚さ1.6	完形? 中砥? 表裏2面を使用
219	金銅製品	筭	長さ[13.1]	幅0.4	厚さ0.3	ほぼ完形 [4.7]g 青銅の地金に鍍金
220	鉄製品	釘	長さ[14.5]	幅1.3	厚さ1.1	下端部欠損 [32]g
221	鉄製品	碗形滓	長さ13.9	幅8.0	厚さ3.5	完形 402g
222	陶器	常滑甕	—	17.0	[45.2]	口頸欠失 胎土:灰黒色、外面に長石表出
223	土器	ロクロかわらけ・小	(8.7)	(7.4)	1.7	1/2弱 胎土:細砂質、白色針状物質 色調:淡橙色
224	土器	手づくねかわらけ・大	12.1	—	3.5	4/5 胎土:微砂質、白色針状物質 色調:淡橙褐色
225	土器	手づくねかわらけ・大	11.7	—	3.6	完形 187g 胎土:粗、泥岩粒、白色針状物質 色調:橙色
226	陶器	北部系山茶碗	—	5.4	[2.1]	底完存 胎土:黒色微粒表出 色調:灰白色 内底面磨耗 東濃産か?
227	陶器	尾張片口鉢	(28.6)	13.0	13.7	底完存～口わずか 胎土:粗、長石、小礫 色調:灰色/黒色 内面磨耗 内外面～高台内薄く黒変
228	陶器	すり常滑	長さ[7.2]	幅[2.2]	1.3	片口鉢I類の小片を再利用 内面と割れ口の一辺を研磨に利用
229	石製品	砥石	長さ[6.2]	幅3.6	厚さ0.8	両端欠損 [28]g 仕上げ砥か

2面下～3面 出土遺物 (図24)

230	土器	ロクロかわらけ・小	7.8	5.5	1.7	略完形 [55]g 胎土:緻密 色調:淡黄褐色
231	土器	ロクロかわらけ・小	8.0	4.5	1.9	略完形 [56]g 胎土:緻密、泥岩粒 色調:淡黄褐色
232	土器	ロクロかわらけ・小	7.8	6.1	1.9	4/5 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡黄褐色
233	土器	ロクロかわらけ・小	7.6	5.2	1.9	略完形 [48]g 胎土:やや砂質、泥岩粒、白色針状物質 色調:淡橙褐色
234	土器	ロクロかわらけ・小	7.2	5.3	1.8	完形 49g 胎土:緻密、白色針状物質、雲母? 色調:淡黄褐色
235	土器	ロクロかわらけ・小	(7.7)	5.8	1.9	2/3弱 胎土:細砂質、泥岩粒、白色針状物質 色調:淡黄褐色
236	土器	ロクロかわらけ・小	(8.1)	(6.4)	2.1	1/2弱 胎土:緻密 色調:淡黄褐色
237	土器	ロクロかわらけ・小	7.5	5.1	2.0	3/4 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:淡黄褐色
238	土器	ロクロかわらけ・小	7.2	4.7	2.2	完形 41g 胎土:緻密、泥岩粒、白色針状物質 色調:橙褐色
239	土器	ロクロかわらけ・小	7.5	4.4	2.2	4/5 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:橙褐色
240	土器	ロクロかわらけ・小	(7.2)	4.4	2.3	2/3弱 胎土:白色針状物質 色調:橙褐色
241	土器	ロクロかわらけ・大	12.7	7.5	3.9	3/4 胎土:緻密 色調:淡黄褐色
242	土器	ロクロかわらけ・大	(14.6)	(9.0)	4.3	1/4弱 胎土:泥岩粒・白色礫 色調:明黄灰色 非在地産か

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			その他の特徴
			口径	底径	器高	
243	磁器	白磁 口禿皿	(11.5)	(5.4)	3.4	口わずか～底1/2弱 胎土:灰白色、緻密 釉調:淡青白色、薄掛け 外底面回転ヘラ切り、無釉 大宰府IX-1c類
244	陶器	常滑 広口壺	(16.4)	—	[8.3]	口～胴1/3 胎土:白色粗砂 色調:暗褐色～黒褐色 「不識壺」
245	陶器	常滑 甕	—	—	[12.0]	口小片 胎土:やや砂質、緻密 色調:暗灰色 6a型式
246	陶器	尾張 片口鉢	—	11.5	[6.7]	底1/2 胎土:長石、白色礫 色調:灰色
247	陶器	産地不詳 鉢	—	(12.0)	[5.2]	底1/3 胎土:粗砂質、長石、小礫 色調:灰白色 外底面に離れ砂?
248	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	—	口小片 胎土:長石 色調:淡橙褐色 内面に自然釉、未使用
249	陶器	すり常滑	—	—	[3.8]	片口鉢Ⅱ類の体～底部片を転用(内面磨耗)、割れ口の二辺を研磨に使用
250	陶器	瀬戸 天目茶碗	(12.6)	(4.4)	6.6	底1/2～口1/8 胎土:淡灰色、精緻 釉調:黒褐色/褐色 体部下位外面～高台内錆釉薬 天目茶碗D類? 大窯期以降か?
251	瓦器	香炉	(9.8)	(7.8)	[5.1]	1/4弱 胎土:灰白色、白・黒色細砂 色調:黒灰色 本来は三足あり? 外面ヨコヘラミガキ→スタンプ文+貼り付け文 内面口縁部ヨコヘラミガキ
252	石製品	砥石	長さ [12.2]	幅 3.9	厚さ 0.8	1/2前後か 表面1面を使用 仕上げ砥
253	鉄製品	釘	長さ 11.3	幅 1.2	厚さ 0.9	完形 16g
254	鉄製品	釘	長さ (9.4)	幅 0.5	厚さ 0.4	完形 10g
255	銅製品	銭	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形 開元通寶 中国唐代、621年初鑄
256	銅製品	銭	直径 2.3	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形 嘉祐通寶(篆書) 中国北宋代、1056年初鑄
257	銅製品	銭	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形 熙寧元寶(篆書) 中国北宋代、1068年初鑄
258	銅製品	銭	直径 2.0	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形 銭銘なし

3面遺構 出土遺物 (図25)

259	土器	ロクロ かわらけ・小	(7.8)	(6.0)	1.7	1/3 胎土:やや細砂質、泥岩粒、白色針状物質 色調:淡黄褐色
260	土器	ロクロ かわらけ・小	(8.0)	6.2	1.5	1/2弱 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡黄褐色
261	土器	手づくね かわらけ・小	(8.5)	—	1.9	1/2弱 胎土:白色針状物質 色調:淡橙褐色
262	陶器	瀬戸 碗?	—	—	[3.3]	口小片 胎土:灰色、緻密 釉調:淡緑灰色
263	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	—	口小片 胎土:長石 色調:赤褐色 6b～7型式
264	陶器	渥美・湖西か 器種不明	—	—	—	胴小片 胎土:微砂質、緻密 色調:灰色 円形の透孔、外面に突帯
265	陶器	常滑・甕	—	—	—	口小片 胎土:緻密、長石 色調:暗灰色 6a型式
266	鉄製品	釘	長さ 5.1	幅 0.9	厚さ 0.8	完形? (錆の付着顕著)
267	土器	ロクロ かわらけ・小	(8.3)	(5.8)	1.8	1/3 胎土:細砂質 色調:淡黄褐色
268	土器	ロクロ かわらけ・小	(8.0)	(5.3)	1.9	1/3 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:淡橙褐色 口縁部内外面に煤付着
269	土器	手づくね かわらけ・小	(8.6)	—	1.6	1/4 胎土:やや砂質 雲母、角閃石 色調:淡黄褐色
270	土器	ロクロ かわらけ・小	(8.5)	6.0	1.6	1/2弱 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:淡橙褐色
271	土器	ロクロ かわらけ・小	(8.8)	6.0	1.6	1/2弱 胎土:白色針状物質 色調:淡橙褐色
272	土器	手づくね かわらけ・小	(9.0)	—	1.4	1/2弱 胎土:細砂質、白色針状物質 色調:橙褐色
273	瓦	平瓦	長さ [9.0]	幅 16.3	厚さ 2.2	残存率不明 焼成後タテに2分割か? 胎土:緻密、白色微砂 色調:灰色 凸面縄目叩き+竹管文、凹面ナデ(離れ砂) 永福寺女瓦A類

3面道1c下～4面(地山面)・3面遺構18出土遺物 (図26)

274	土器	手づくね かわらけ・大	(13.5)	—	[3.3]	1/3弱 胎土:やや砂質、泥岩粒、白色針状物質 色調:橙色
275	土器	燗台?	—	—	[3.5]	皿部? 胎土:微砂質、白色針状物質、角閃石 色調:淡橙褐色
276	磁器	青磁 櫛描文碗	—	8.6	[3.3]	底1/2 胎土:灰色、緻密 釉調:緑色、薄掛け 内外面に櫛描き文様 同安窯系 大宰府I-1b類

遺物 番号	種別	器種	法量 (cm)			その他の特徴
			口径	底径	器高	
277	磁器	青磁 櫛描文碗	—	—	[3.1]	口小片 胎土:灰白色、やや粗 釉調:淡緑色、薄掛け 内外面に櫛描き文様 同安窯系 大宰府 I - 1b類
278	陶器	常滑 甕	—	—	[9.3]	口小片 胎土:粗、白色粗砂 色調:暗褐色
279	陶器	常滑 甕	—	—	—	胴小片 胎土:淡灰黄色、緻密 色調灰色 外面に格子状の押印帯2段
280	陶器	常滑 甕	—	—	—	胴小片 胎土:緻密 色調:灰色～赤褐色 外面に唐草文のスタンプ
281	土器	ロクロ かわらけ・大	(12.5)	8.9	3.0	1/2弱 胎土:やや砂質、泥岩粒、白色針状物質、角閃石 色調:淡黄褐色
282	土器	手づくね かわらけ・小	(8.7)	(7.1)	1.7	1/2弱 胎土:緻密、泥岩粒、白色針状物質 色調:淡黄褐色
283	土器	手づくね かわらけ・小	(9.2)	(7.6)	1.8	1/3 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡黄褐色
284	土器	手づくね かわらけ・大	(12.5)	—	3.5	1/4 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡橙褐色
285	陶器	東遠 子持ち小皿	(8.3)	3.7	1.6	子皿4.1×3.2×1.1cm 総高1.8cm 3/4弱 胎土:精緻、白色微砂 色調:灰色
286	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[10.7]	1/8以下、底部剥離 胎土:密、白色礫 色調:暗灰褐色

3面下～4面(地山面)・4面遺構出土遺物(図27)

287	土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.2	1.8	4/5 胎土:泥岩粒、白色針状物質 色調:淡橙褐色
288	土器	ロクロ かわらけ・中	(10.9)	7.0	2.9	2/3 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡橙色
289	土器	手づくね かわらけ・小	8.7	—	2.1	完形 63g 胎土:微砂質、白色針状物質、角閃石 色調:淡黄褐色
290	土器	手づくね かわらけ・小	8.6	—	1.7	3/4 胎土:微砂質、白色針状物質 色調:橙褐色
291	陶器	常滑 甕	—	—	—	口小片 胎土:黒色粗粒、長石 色調:灰色
292	鉄製品	刀子	長さ (14.1)	幅 (2.1)	厚さ 0.2	両端部欠損 [33.5]g
293	土器	ロクロ かわらけ・大	(13.3)	—	[2.7]	1/6以下 胎土:細砂多量、白色針状物質 色調:橙褐色
294	土器	手づくね かわらけ・大	(13.4)	—	3.2	1/3弱 胎土:細砂少量、雲母・角閃石 色調:淡黄灰色(外面薄く黒変)
295	磁器	青磁 劃花文碗	—	—	[4.6]	口小片 胎土:白灰色、緻密 釉調:淡灰緑色 龍泉窯系 大宰府 I - 3a類
296	磁器	青磁 劃花文碗	—	—	[3.4]	口小片 胎土:白灰色、緻密 釉調:淡緑灰色 龍泉窯系 大宰府 I - 2類
297	陶器	東遠 小皿	(7.7)	3.9	2.0	1/3 胎土:緻密、混入物なし 色調:暗灰色
298	陶器	常滑 甕	—	—	[2.6]	口小片 胎土:長石 色調:暗褐色
299	陶器	尾張 片口鉢	—	—	[5.2]	口小片 胎土:微砂質、長石微粒 色調:灰色 体部内面磨耗 常滑Ⅰ類
300	土器	手づくね かわらけ・大	(12.7)	—	3.6	1/3 胎土:緻密、白色針状物質 色調:淡橙褐色
301	土器	ロクロ かわらけ・極小	(4.0)	(3.3)	0.8	1/2弱 胎土:緻密 色調:灰白色
302	陶器	すり常滑	長さ 6.7	幅 6.6	厚さ 1.3	甕の肩部片を再利用 割れ口の一辺を研磨に利用
303	土器	手づくね かわらけ・大	(13.5)	—	[2.9]	1/6 胎土:砂質、角閃石 色調:淡黄褐色
304	土器	手づくね かわらけ・大	(12.2)	—	[3.1]	1/6 胎土:緻密、白色針状物質 色調:橙褐色
305	陶器	渥美 片口鉢	—	—	[2.8]	口小片 胎土:細砂質、緻密 色調:灰色

表2 出土遺物カウント表・計量表

器種	手 かづ わく らね け		ロク かわ らけ			白 かわ らけ			渥 美				渥 美・ 湖 西 型	
	小	大	小	中 大	極 小	特 大	壺 ?	転 用	大	内 折 れ	片 口 鉢	甕	壺	山 茶 碗
	点数	重量	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	
面・層位														
表採		4	40	1	35									
表土	1	15	1	6	220						1	25		
—		1	10	95	900									
0面	1	10	23	170	55				1	5		1	30	
1面まで	5	12	265	205	3090	730	11410	2	20	1	10	1	5	2
1面	7	125	59	840	236	345	1	5			1	25	1	20
1面			8	65	11	245					4	230	7	204
遺構1・10							1	220						
遺構2(欠)	1	10	1	10	10	140								
遺構3			19	105	23	315			1	5	1	30		
遺構4			4	25	3	30								
遺構11									1	15				
遺構28						2	10							
遺構29						8	65							
遺構30						3	20							
遺構32														
遺構33														
遺構34			1	10	1	10								
遺構35			4	20	15	140								
遺構36						5	50							
遺構37(欠)						2	5							
遺構39		1	5	2	40	3	175							
遺構40	1	5	3	25	9	70	40	425						1
遺構56			2	15	7	80								35
遺構122						4	75							
遺構127						2	35							
遺構128		3	45	190	4	70	27	505						
遺構134			2	20	2	15								
遺構135														
遺構136		1	10	2	15	1	5							
遺構137														
1面下	3	55	21	320	192	2915	548	9150	1	10	1	15	23	978
1面下														100
道1a下														

器種	東濃		東遠		東播		龜山		備前		産地不明		七器							
	山茶碗	点数	山茶碗	小皿	鉢	甌	鉢	甌	すり鉢	鉢	甌	碗 坏	南伊 銅系	鍋 釜	鍋 釜	香 炉	火 鉢	燭 台	不明	
面・層位	出土遺構	点数	重量																	
表採	—																			
表土	—																			
—	攪乱																			
0面	—								1	105										
1面まで	—	2	15	1	15	2	55	2	65	2	40	1	10	1	5					
1面	—											1	20	1	30		2	110		
1面	遺構1・10																			
1面	遺構2(欠)																			
1面	遺構3																			
1面	遺構4																			
1面	遺構11								1	145							1	70		
1面	遺構28																			
1面	遺構29																			
1面	遺構30																			
1面	遺構32																			
1面	遺構33																			
1面	遺構34																			
1面	遺構35																			
1面	遺構36																			
1面	遺構37(欠)																			
1面	遺構39																			
1面	遺構40																			
1面	遺構56																			
1面	遺構122								1	335										
1面	遺構127																			
1面	遺構128																			
1面	遺構134																			
1面	遺構135																			
1面	遺構136																			
1面	遺構137																			
1面下	—								1	40				1	15	1	10		4	445
1面下	道1a下																			

器種	施船種陶器			青白磁						白磁						
	天目碗	盤	植釣木繫鉢糸?	壺	台子蓋	台子身	碗・皿	梅瓶	梅瓶蓋	水注	口禿碗	端及碗	皿	碗	四耳盤	瓶類
面・層位	点数	重量														
出土遺構																
表採											3			1	10	
表土							1	5	1	5	2					
—																
攪乱																
0面																
1面まで		2	30	1	5	1	5		1	5	46		6	35		1
1面					1	10		1	20		3		4	15		5
1面																
遺構1・10																
遺構2(欠)																
遺構3																
遺構4																
遺構11					1	5									1	15
遺構28																
遺構29																
遺構30											1					
遺構32																
遺構33																
遺構34																
遺構35																
遺構36																
遺構37(欠)																
遺構39																
遺構40																
遺構56																
遺構122		1	15												1	20
遺構127				1	10											
遺構128							1	5								
遺構134																
遺構135																
遺構136									1	5						
遺構137																
1面下			1	65	1	10	1	5	2	20	17		1	10	1	15
1面下											165					25
遺1a下																

面・層位	器種	銅製品		石製品										骨製品		漆喰		
		銭	点数	重量	滑石鍋	砥石	硯	碁石	紡錘車	磨石	研磨石	石英石核	加工品	加泥岩	斧		加工骨	
面・層位	出土遺構																	
表採	—		2	5											1	65		
表土																		
—	攪乱						1	130										
0面	—					1	55											
1面まで	—		5	20	1	100	14	660	1	55	1	5		2	325			
1面	—		2	10	1	65	4	285			1	5					2	
1面	遺構1・10		2	10	1	160	1	105	1	111							1	
1面	遺構2(欠)																	
1面	遺構3		1	5														
1面	遺構4																	
1面	遺構11		10	35	1	20	4	375									1	1
1面	遺構28																	
1面	遺構29																	
1面	遺構30																	
1面	遺構32																	
1面	遺構33																	
1面	遺構34																	
1面	遺構35																	
1面	遺構36																	
1面	遺構37(欠)																	
1面	遺構39																	
1面	遺構40		1	5														
1面	遺構56						1	15										
1面	遺構122																	
1面	遺構127																	
1面	遺構128																	
1面	遺構134																	
1面	遺構135																	
1面	遺構136																	
1面	遺構137																	
1面下	—		2	10														
1面下	道1a下																	

器種	手 かづ わく ね ら け		口 か わ ら け						白 か わ ら け		渥 美				渥 美・ 湖 西 型		
	小	大	小	中	大	極小	特大	意	転用	大	内折	片口鉢	甕	壺	山茶碗		
	点数	重量	13	170	38	580							8	345			
面・層位	出土遺構																
2面	遺構12	3	25	295	13	170	38	580									
2面	遺構13	6	50	10	4	20	30	310									
2面	遺構14	1	15	20	15	115	21	245									
2面	遺構15・16				5	35	14	165									
2面	遺構17	6	65	14	21	235	101	1195									
2面	遺構41		1	25	2	15	5	70									
2面	遺構42				1	20	4	75									
2面	遺構46		1	10	4	50	5	60									
2面	遺構47	1	20				3	20				1	20				
2面	遺構49		1	5													
2面	遺構50		4	30			2	15									
2面	遺構52		1	15	4	30	21	210									
2面	遺構53		1	10	1	15											
2面	遺構54		1	20			2	35									
2面	遺構55				1	5	2	10									
2面	遺構69(欠)	1	30														
2面	遺構123				1	15	3	25									
2面	遺構125(欠)				1	5											
2面	遺構126(欠)				1	5	4	35									
2面	遺構129(欠)	1	5	6	6	30	19	130									
2面	遺構130a・b											1	25	1	75	1	5
2面	遺構130a	1	10	8	39	515	116	1840				1	10	1	60		
2面	遺構130a 拵甕																
2面	遺構130a 掘方		1	15	1	15	1	20									
2面	遺構130b																
2面	遺構131	4	105	43	600	123	2170	1	10								
2面	遺構138	49	660	19	265	27	805										
2面	遺構140・141																
2面	遺構147	1	10	3	55	2	160										
2面下	—	18	175	71	1085	149	2075	354	6225								
2面下	道1b下		8	125	11	135	39	720									
										1	20						
												1	135	17	1250		
												1	75	4	240	1	25

器種	東濃		東遠		東播	龜山	備前	産地不明		土器								
	山茶碗	山茶碗	山茶碗	小皿	鉢	甕	すり鉢	鉢	甕	碗 坏	南伊 銅勢系	罏釜	鍋釜	香炉	火鉢	燭台	不明	
面・層位	出土遺構	点数	重量															
2面	遺構12																1	15
2面	遺構13																	
2面	遺構14																	
2面	遺構15・16																1	10
2面	遺構17																	
2面	遺構41																	
2面	遺構42																	
2面	遺構46																	
2面	遺構47																	
2面	遺構49																	
2面	遺構50																	
2面	遺構52										1	5						
2面	遺構53																	
2面	遺構54																	
2面	遺構55																	
2面	遺構69(欠)																	
2面	遺構123																	
2面	遺構125(欠)																	
2面	遺構126(欠)																	
2面	遺構129(欠)										1	5						
2面	遺構130a・b						2	500										
2面	遺構130a						2	750										
2面	遺構130a 拵甕						1	90										
2面	遺構130a 拵方																	
2面	遺構130b																	
2面	遺構131						1	70								3	100	
2面	遺構138									1	20							
2面	遺構140・141																	
2面	遺構147																	
2面下	—						1	5	29	1390							1	60
2面下	道1b下						1	5	35								1	30

器種	土製品	瓦器	瓦質土器			瓦			土師器		須惠器		灰釉陶器
			火鉢	香炉	転用	軒平瓦	平瓦	丸瓦	坏	甕	坏	坏蓋	
面・層位	管状土錘	碗	点	重量									
2面	出土遺構	1	5										
2面	遺構12		2	45			2	195	2	270			
2面	遺構13												
2面	遺構14		1	315									
2面	遺構15・16						1	350					
2面	遺構17		2	70			1	70	1	55			
2面	遺構41						2	290					
2面	遺構42												
2面	遺構46												
2面	遺構47												
2面	遺構49												
2面	遺構50												
2面	遺構52		2	90			1	10					
2面	遺構53												
2面	遺構54												
2面	遺構55												
2面	遺構69(欠)												
2面	遺構123												
2面	遺構125(欠)												
2面	遺構126(欠)												
2面	遺構129(欠)		1	15									
2面	遺構130a・b		10	675			1	210					
2面	遺構130a						5	545				1	10
2面	遺構130a:据鬘												
2面	遺構130a:据方												
2面	遺構130b												
2面	遺構131		2	175									
2面	遺構138						1	100					
2面	遺構140・141												
2面	遺構147												
2面下	—		9	315	1	60		5	1005	5	830		
2面下	道1b下						1	105	1	160			1
													30

面・層位	器種	龍泉青窯磁系								同安青窯磁系		高麗青磁	不明	鉄製品					
		蓮弁文碗	點數	重量	劃花文碗	折縁皿	酒会盤	瓶類	碗・皿	不明	櫛捺文碗	櫛捺文皿	瓶	甕	釘	刀子	板状	不明	スラケ
2面	出土遺構																		
2面	遺構12		4	15				1	5										
2面	遺構13																		
2面	遺構14		2	10	1	15								1	10				
2面	遺構15・16		1	5										1	5				
2面	遺構17		5	50	1	45		1	5					3	30				
2面	遺構41													2	5				
2面	遺構42																		
2面	遺構46																		
2面	遺構47																		
2面	遺構49																		
2面	遺構50													1	10	1	20		
2面	遺構52																		
2面	遺構53																		
2面	遺構54													3	10				
2面	遺構55																		
2面	遺構69(欠)																		
2面	遺構123																		
2面	遺構125(欠)																		
2面	遺構126(欠)																		
2面	遺構129(欠)		1	5										1	5				
2面	遺構130a・b							1	5					2	10				
2面	遺構130a		6	35	1	5		1	20					2	30				
2面	遺構130a													20	135				2
2面	遺構130a																		290
2面	遺構130a																		
2面	遺構130b																		
2面	遺構131		2	10				1	5					2	10				
2面	遺構138		2	10	4	30								3	65				
2面	遺構140・141													3	15	3	15		1
2面	遺構147													2	5				400
2面	—		10	60	2	40								1	10				
2面下	道1b下		2	25				4	20					34	210	1	25		3
2面下	—							2	10					15	110				1

面・層位	出土遺構	銅製品		石製品										骨製品		漆喰	
		錢	点数	重量	滑石鍋	砥石	硯	碁石	紡錘車	磨石	研磨石	石英石核	加工品	斧	加工骨		
2面	遺構12			5	2	105											
2面	遺構13						1	10									
2面	遺構14						1	30									
2面	遺構15・16	1										1	350				
2面	遺構17				1	75									1		
2面	遺構41	2															
2面	遺構42																
2面	遺構46																
2面	遺構47						1	45									
2面	遺構49								1	35							
2面	遺構50																
2面	遺構52			5													
2面	遺構53																
2面	遺構54																
2面	遺構55																
2面	遺構69(欠)																
2面	遺構123																
2面	遺構125(欠)			20													
2面	遺構126(欠)			10													
2面	遺構129(欠)			10													
2面	遺構130a・b								1	110							
2面	遺構130a				2	50	2	270								3	
2面	遺構130a:据盤			5													
2面	遺構130a:掘方																
2面	遺構130b			35													
2面	遺構131	1												1	110		
2面	遺構138						2	85								1	5
2面	遺構140・141																
2面	遺構147																
2面下	—	7			1	80	1	10	2	90							
2面下	道1b下	1					1	10									

器種	手 かづ わく ね ら け		ロク か わ ら け						白 か わ ら け		渥 美				渥 美・ 湖 西 型
	小	大	小	中 大	極 小	特 大	壺	転 用	大	内 折 れ	片 口 鉢	甕	壺	山 茶 碗	
	点数	重量	21	310	70	1040	21	310	70	1040	21	310	70	1040	
面・層位	8	75	21	260											
出土遺構	11	170	47	695	5	85	25	520				10	620		
遺構18			3	35							13	755			
遺構57			1	10											
遺構59															
遺構60					3	20									
遺構61	1	15			1	10									
遺構63															
遺構64	1	10	2	55		1	15								
遺構65			1	5											
遺構66			1	15											
遺構70	1	5	1	10											
遺構71						1	20								
遺構72						1	10				1	50			
遺構73			1	10	1	5	10								
遺構78						1	10								
遺構79			2	15		1	5								
遺構82			2	40											
遺構83	1	25				2	15				1	60			
遺構84			1	10											
遺構85															
遺構86	2	10	4	35	1	5									
遺構87			6	65											
遺構91	3	20	1	50	7	40	70				1	15			
遺構132(欠)					1	5									
遺構133						7	90								
遺構141・148・149			2	35	1	10	5								
遺構145	1	10	3	40		5	95								
遺構149	2	20	2	15		1	10								
遺構150a	1	15	4	75	7	140	125								
遺構152			1	10	3	50	40								
遺構154(欠)															
遺構155(欠)			1	5											
遺構156(欠)															
道1c下	4	160	20	345	13	175	22	310			1	90	7	555	
道1c下	34	595	37	565	2	25	9	245				2	110		

器種	尾張・張常滑										瀬戸						
	山茶碗	片口鉢		片口類鉢	片口碗	壺	すり常滑	天目碗	平碗	折縁深皿	御皿	碗・鉢・鉢皿	入子	四耳壺	瓶子	瓶類	
		点数	重量														
面・層位	1	5	2	55	1	105	4	515									
出土遺構																	
3面																	
遺構18																	
3面																	
遺構57																	
3面																	
遺構59	1	10	92	3575	108	6860	1	20	760	43840	2	80	2	210			
3面																	
遺構60																	
3面																	
遺構61	1	20	42	1815	13	985											
3面																	
遺構63																	
3面																	
遺構64																	
3面																	
遺構65																	
3面																	
遺構66																	
3面																	
遺構70																	
3面																	
遺構71																	
3面																	
遺構72																	
3面																	
遺構73																	
3面																	
遺構78																	
3面																	
遺構79																	
3面																	
遺構82																	
3面																	
遺構83																	
3面																	
遺構84																	
3面																	
遺構85																	
3面																	
遺構86	1	5	6	115	12	800											
3面																	
遺構87																	
3面																	
遺構91																	
3面																	
遺構132(次)																	
3面																	
遺構133																	
3面																	
遺構141・148・149	1	5	1	25													
3面																	
遺構145																	
3面																	
遺構149																	
3面																	
遺構150a																	
3面																	
遺構152	3	45	101	4010	71	4555	1	15	961	60885	11	710	2	235			
3面																	
遺構154(次)	1	135	1	10													
3面																	
遺構155(次)																	
3面																	
遺構156(次)	1	20															
3面																	
3面下																	
3面下																	
道1c下																	
3面下																	

器種	東濃		東遠		東播		龜山		産前不明			七器					
	山茶碗	点数	山茶碗	小皿	鉢	甌	すり鉢	鉢	甌	碗	南伊勢系銅釜	銅釜	鍋釜	香炉	火鉢	燭台	不明
面・層位	出土遺構	点数	重量														
3面	—																
3面	遺構18			1	40									1	5		
3面	遺構57																
3面	遺構59																
3面	遺構60																
3面	遺構61																
3面	遺構63																
3面	遺構64																
3面	遺構65																
3面	遺構66																
3面	遺構70																
3面	遺構71																
3面	遺構72																
3面	遺構73																
3面	遺構78																
3面	遺構79																
3面	遺構82																
3面	遺構83																
3面	遺構84																
3面	遺構85																
3面	遺構86																
3面	遺構87																
3面	遺構91																
3面	遺構132(欠)																
3面	遺構133																
3面	遺構141・148・149																
3面	遺構145																
3面	遺構149																
3面	遺構150a																
3面	遺構152																
3面	遺構154(欠)																
3面	遺構155(欠)																
3面	遺構156(欠)																
3面下	—																
3面下	遺1c下															1	140

器種	銅製品		石製品										骨製品		漆喰
	面・層位	出土遺構	錢	滑石鍋	砥石	硯	碁石	紡錘車	磨石	研磨石	石英石核	加工品	斧	加工骨	
			点数	重量											
	3面	—													
	3面	遺構18													
	3面	遺構57													
	3面	遺構59													
	3面	遺構60													
	3面	遺構61													
	3面	遺構63													
	3面	遺構64													
	3面	遺構65													
	3面	遺構66													
	3面	遺構70													
	3面	遺構71													
	3面	遺構72													
	3面	遺構73													
	3面	遺構78													
	3面	遺構79													
	3面	遺構82													
	3面	遺構83													
	3面	遺構84													
	3面	遺構85													
	3面	遺構86													
	3面	遺構87													
	3面	遺構91													
	3面	遺構132(欠)	1	5											
	3面	遺構133													
	3面	遺構141・148・149													
	3面	遺構145													
	3面	遺構149													
	3面	遺構150a													
	3面	遺構152													
	3面	遺構154(欠)													
	3面	遺構155(欠)													
	3面	遺構156(欠)													
	3面下	—												2	25
	3面下	遺1c下													

器種	手 かづ わく らね け		口 かわ らけ						白 かわ らけ		渥 美			渥 美・ 湖 西 型			
	面・層位	出・遺構	小	大	小	中・大	極小	特大	意	転用	大	内折れ	片口鉢	甕	壺	山茶碗	
																	点数
4面	遺構19	3	40														
4面	遺構20(欠)	3	20		1	20											
4面	遺構21			1	5												
4面	遺構22	1	10	3	15												
4面	遺構23(欠)	1	10	5	55	3	45										
4面	遺構24	1	10	1	5												
4面	遺構25																
4面	遺構27	2	25	1	5	1	10							1	25		
4面	遺構89																
4面	遺構92	2	35														
4面	遺構94	1	10														
4面	遺構98																
4面	遺構99	1	5											1	45		
4面	遺構102													1	10		
4面	遺構103	2	15														
4面	遺構105	1	5		1	15											
4面	遺構111	1	10														
4面	遺構113																
4面	遺構116	2	10		1	5											
4面	遺構118																
4面	遺構119(欠)	1	35														
4面	遺構142	2	10	1	15												
4面	遺構143																
4面	遺構144																
4面	遺構151	8	135														
4面	遺構153																
4面	遺構157(欠)													2	30		
4面	遺構158	1	5		1	10								1	10		
4面	遺構160	16	315		1	20											
4面	遺構163(欠)																
4面	遺構166	1	5														
4面	遺構167	1	5	4	35	2	15	2	20								
4面	遺構168																
4面	遺構169	8	50														
4面	遺構170																
4面	遺構171	1	10										1	30			
4面下	—	2	20														

器種	尾張・常型										瀬戸					
	山茶碗	片口I類鉢	片口II類鉢	片口碗	甕	壺	すり常滑	天目碗	平碗	折縁深皿	仰皿	碗・鉢・鉢皿	入子	四耳壺	瓶子	瓶類
	点数	重量														
出土遺構																
4面	1	5	2	55	1	105			4	515						
遺構19									12	725	1	35				
遺構20(欠)									20	1350	3	95				
4面			1	25	5	650			9	890						
遺構21			2	50	6	425			20	751	42950	2	80	2	210	
遺構22			90	3525	102	6435	1	20	256	13670	1	35	1	100		
遺構23(欠)	1	10	37	2025	29	2330			149	7246	58	200				
遺構24			42	1815	13	985			2	120						
遺構25	1	20			1	20			5	225						
遺構27									17	690			2	35		
遺構89									80	4725						
遺構92			18	435	10	605			1	140						
遺構94																
遺構98																
遺構99																
遺構102																
遺構103																
遺構105									3	105						
遺構111			1	10					7	335						
遺構113									1	25						
遺構116									2	140						
遺構118																
遺構119(欠)	1	5	6	115	12	800			45	2105						
遺構142			6	250	3	110			14	590	2	15				
遺構143			1	25	1	145			9	580	1	115				
遺構144			1	5					14	1055						
遺構151																
遺構153	1	5	1	25					1	60						
遺構157(欠)									1	75						
遺構158			1	10					3	130						
遺構160									12	740						
遺構163(欠)	3	45	101	4010	71	4555	1	15	961	60885	11	710	2	235		
遺構166	1	135	1	10					9	230						
遺構167									7	945						
遺構168	1	20							9	465						
遺構169									2	95						
遺構170			6	200					12	705	1	20				
遺構171			2	60	1	40			4	260						
4面下			2	410	1	75			4	275			2	20		

面・層位	器種	土製品	瓦器	瓦質土器			瓦			土師器		ロクロ土師器	須恵器			灰釉陶器
				火鉢	香炉	転用	軒平瓦	平瓦	丸瓦	坏	甗		坏	坏蓋	甗・瓶	
		管状土錘	碗													
		点数														
		重量														
4面	出土遺構															
4面	遺構19															
4面	遺構20(欠)															
4面	遺構21		1	15												
4面	遺構22															
4面	遺構23(欠)															
4面	遺構24															
4面	遺構25															
4面	遺構27															
4面	遺構89															
4面	遺構92															
4面	遺構94															
4面	遺構98															
4面	遺構99															
4面	遺構102															
4面	遺構103															
4面	遺構105															
4面	遺構111															
4面	遺構113															
4面	遺構116															
4面	遺構118															
4面	遺構119(欠)							1	115							
4面	遺構142															
4面	遺構143															
4面	遺構144															
4面	遺構151															
4面	遺構153															
4面	遺構157(欠)															
4面	遺構158															
4面	遺構160															
4面	遺構163(欠)															
4面	遺構166															
4面	遺構167										1	10				
4面	遺構168															
4面	遺構169															
4面	遺構170															
4面	遺構171															
4面下	—															

器種	船載施釉陶器			青白磁							白磁					
	天目碗	盤	植鈞木架鉢	壺	合字蓋	合字身	碗皿	梅瓶	梅瓶蓋	水注	口禿碗	端及碗	皿	碗	四耳盞	瓶類
面・層位	出土遺構	点数	重量													
4面	遺構19															
4面	遺構20(欠)															
4面	遺構21															
4面	遺構22															
4面	遺構23(欠)															
4面	遺構24															
4面	遺構25															
4面	遺構27															
4面	遺構89															
4面	遺構92															
4面	遺構94															
4面	遺構98															
4面	遺構99															
4面	遺構102															
4面	遺構103															
4面	遺構105															
4面	遺構111															
4面	遺構113															
4面	遺構116															
4面	遺構118															
4面	遺構119(欠)															
4面	遺構142															
4面	遺構143															
4面	遺構144															
4面	遺構151															
4面	遺構153															
4面	遺構157(欠)				1	5										
4面	遺構158															
4面	遺構160															
4面	遺構163(欠)															
4面	遺構166															
4面	遺構167															
4面	遺構168															
4面	遺構169															
4面	遺構170															
4面	遺構171															
4面下	—															

面・層位	器種	龍泉青窯磁系							同安青窯磁系		高麗青磁	不明	鉄製品						
		蓮弁文碗	點数	重量	劃花文碗	折縁皿	酒会盤	瓶類	碗・皿	不明	櫛掻文碗	櫛掻文皿	瓶	甕	釘	刀子	板状	不明	スラタ
4面	出土遺構																		
4面	遺構19																		
4面	遺構20(欠)	1		5															
4面	遺構21																		
4面	遺構22																		
4面	遺構23(欠)	1		5															
4面	遺構24																		
4面	遺構25																		
4面	遺構27													1	5				
4面	遺構89																		
4面	遺構92	2		35															
4面	遺構94																		
4面	遺構98	1		5															
4面	遺構99																		
4面	遺構102																		
4面	遺構103																		
4面	遺構105																		
4面	遺構111																		
4面	遺構113																		
4面	遺構116																		
4面	遺構118																		
4面	遺構119(欠)																		
4面	遺構142																		
4面	遺構143																		
4面	遺構144																		
4面	遺構151	1		10															
4面	遺構153																		
4面	遺構157(欠)	1		5															
4面	遺構158																		
4面	遺構160	2		30															
4面	遺構163(欠)																		
4面	遺構166																		
4面	遺構167																		
4面	遺構168																		
4面	遺構169																		
4面	遺構170																		
4面	遺構171																		
4面下	—	2		20															

器種	銅製品		石製品										骨製品		漆喰		
	面・層位	出土遺構	銭	滑石鍋	砥石	硯	碁石	紡錘車	磨石	研磨石具	石英石核	加工品	斧	加工骨			
			点数														
			重量														
	4面	遺構19															
	4面	遺構20(欠)															
	4面	遺構21															
	4面	遺構22															
	4面	遺構23(欠)															
	4面	遺構24															
	4面	遺構25															
	4面	遺構27															
	4面	遺構89															
	4面	遺構92	2		35												
	4面	遺構94															
	4面	遺構98															
	4面	遺構99															
	4面	遺構102															
	4面	遺構103															
	4面	遺構105															
	4面	遺構111															
	4面	遺構113															
	4面	遺構116	1		15												
	4面	遺構118															
	4面	遺構119(欠)															
	4面	遺構142															
	4面	遺構143															
	4面	遺構144															
	4面	遺構151															
	4面	遺構153															
	4面	遺構157(欠)															
	4面	遺構158															
	4面	遺構160															
	4面	遺構163(欠)															
	4面	遺構166															
	4面	遺構167															
	4面	遺構168															
	4面	遺構169															
	4面	遺構170															
	4面	遺構171															
	4面下	—			2												20

面・層位	出土遺構	魚骨・鯨骨	魚骨
0面	攪乱	6	1
1面まで	—	102	1
1面	—	20	3
1面	遺構1・10	12	
1面	遺構11	3	
1面	遺構11	1	
1面	遺構122		1
1面	遺構127	1	
1面	遺構3	3	
1面	遺構35		1
1面	遺構40	3	1
1面	遺構56	1	
1面下	—	46	2
2面	遺構12	1	
2面	遺構14	1	
2面	遺構15・16	1	
2面	遺構17	2	1
2面	遺構17	13	
2面	遺構17	1	
2面	遺構18	1	
2面	遺構41	2	
2面	遺構54	1	
2面	遺構130a	14	3
2面	遺構131	7	
2面	遺構131	16	
2面	遺構138	9	
2面下	—	31	1
2面下	遺構129(欠)	2	
2面下	遺構1b下	16	
3面	—		
3面	遺構57	1	
3面	遺構91		1
3面	遺構152	1	
3面下	—	20	
3面下	遺構1c下	4	1
4面	遺構102	1	
4面	遺構157(欠)	8	
4面	遺構23(欠)		2
4面	遺構92	35	
4面下	—	20	

面・層位	出土遺構	カキ	アワビ	ハマグリ	チョウセンハマグリ	サルボウ	アサリ	アカニシ	サザエ蓋	ツメタガイ	バイ	ダンベイキサゴ	バテイラ	不明
0面	出土遺構							1		1				
1面まで	攪乱			1				9	1					
1面	—			1	3			5						
1面	遺構1			1				1		1				
1面	遺構4													
1面	遺構10			2				2			1		1	
1面	遺構11							2						
1面	遺構39							1						
1面	遺構40							3						
1面	遺構56			1									1	
1面	遺構127										1			
1面下	—			2		1	1	10	2	1	3			
2面	遺構12			1	2			4						
2面	遺構13													
2面	遺構18							1						
2面	遺構130a・b			2				1						
2面	遺構130a			1				7		2				
2面	遺構130b							5						
2面	遺構131			1				5			1			
2面	遺構138	1		4				4		1		1	1	
2面下	—			1	1	1		4	2	1	1			
2面下	遺構1b下		1	2	1			6	1	1	3	4		
2面下	遺構129(欠)							2		1		1		
3面	遺構18			3				4						
3面	遺構60							1						
3面	遺構64	1												
3面	遺構91									1	4			
3面	遺構152							1				1		
3面下	—		1					6	2					
3面下	遺構1c下			1				3			2	2		
4面	遺構19							1						
4面	遺構21							1						
4面	遺構23(欠)													1
4面	遺構92		2	35										
4面	遺構103													
4面	遺構160													
4面下	—		2	20										



1. 現地調査前（南から）



2. 表土掘削作業（北東から）



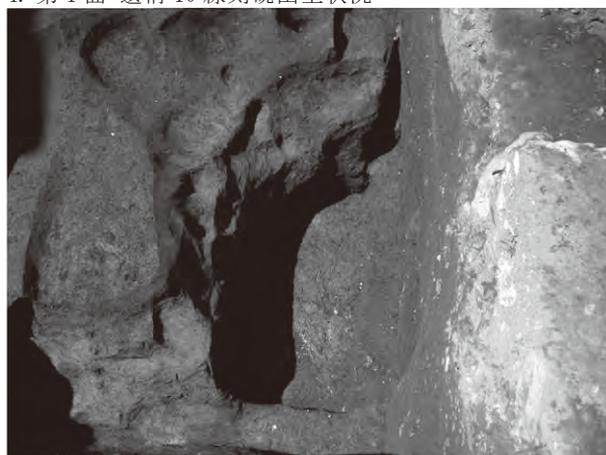
3. I区 第1面（南西から・○印は線刻硯の出土位置）



4. 第1面 遺構10 線刻硯出土状況



5. I区 第4面（北東から）



6. 第3面 遺構18（第4面検出時、南西から）



7. I区 南壁断面（北東から）



8. I区 地山砂質土面（東から）

図版2



1. II区 第1面 (北東から)



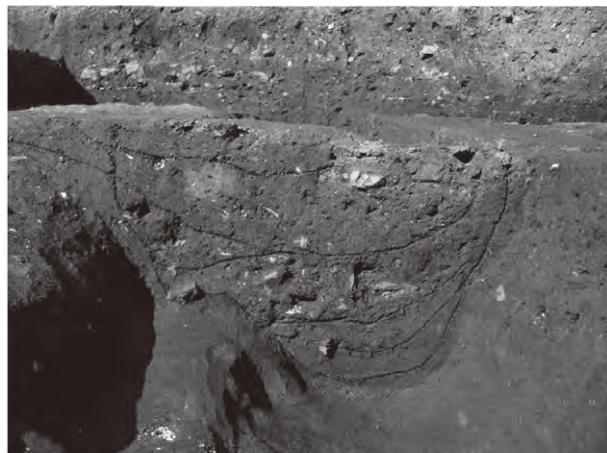
2. II区第1面 道路1a (北東から)



3. 道路1a 路盤内遺物出土状況



4. 道路1a～1b 掘り下げ時断面 (南西から)



5. II区第1・2面 道路1a・遺構10断面 (南西から)



6. II区 第2面 (北東から)



7. II区第2面 道路1b (北東から)



1. II区 第3面 (北東から)



2. II区 第4面 (北東から)



3. II区 第4面 (東から)



4. II区第4面 遺構18 (南西から)



5. II区 地山砂質土面 (北東から)



6. III区 第1面 (北東から)



7. III区 第2面 (北東から)



8. III区第2面 遺構130・138断面 (南西から)



1. III区第2面 遺構130 (北東から)



2. 遺構130 底面清掃作業 (北から)



3. III区第2面 遺構130・138 断面 (西から)



4. 遺構130 床下埋甕 (南西から)



5. III区第2面 清掃作業 (北から)



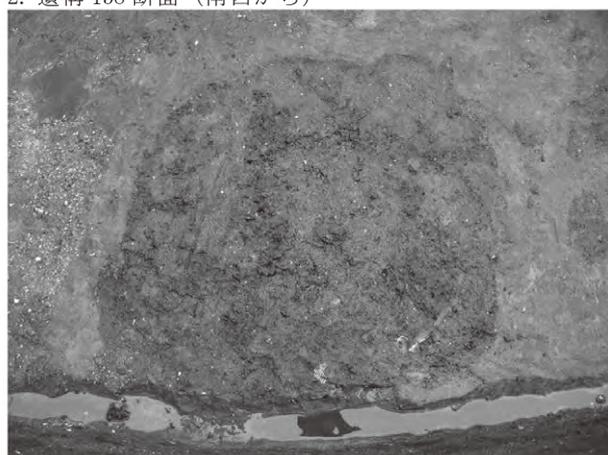
1. III区第2面 遺構 138 (北西から)



2. 遺構 138 断面 (南西から)



3. 遺構 138 断面 (北東から)



4. 遺構 138 床下土坑 (南西から)

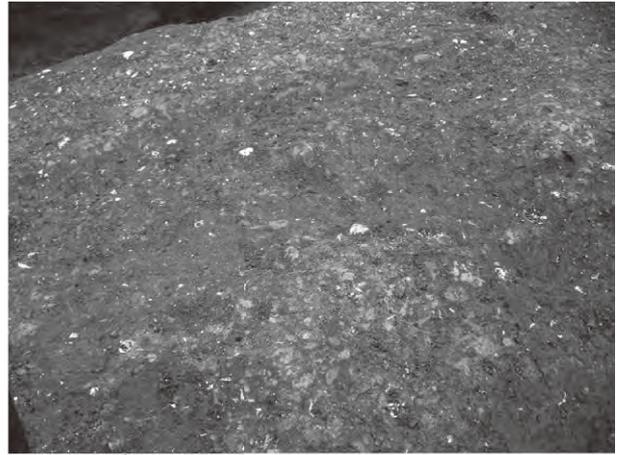


5. III区 第4面 (北東から)

図版6



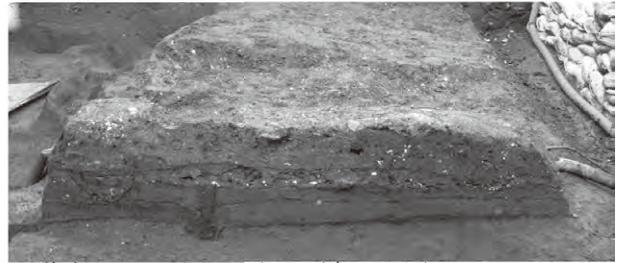
1. 第2面 道路1b (北東から)



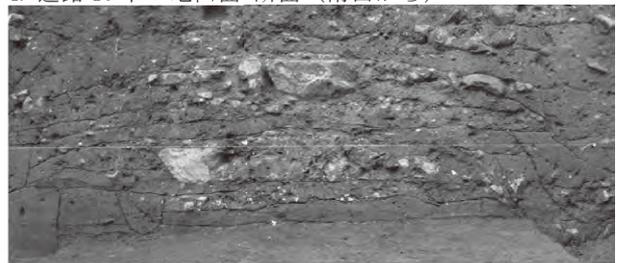
2. 第2面道路1b 路面上貝砂



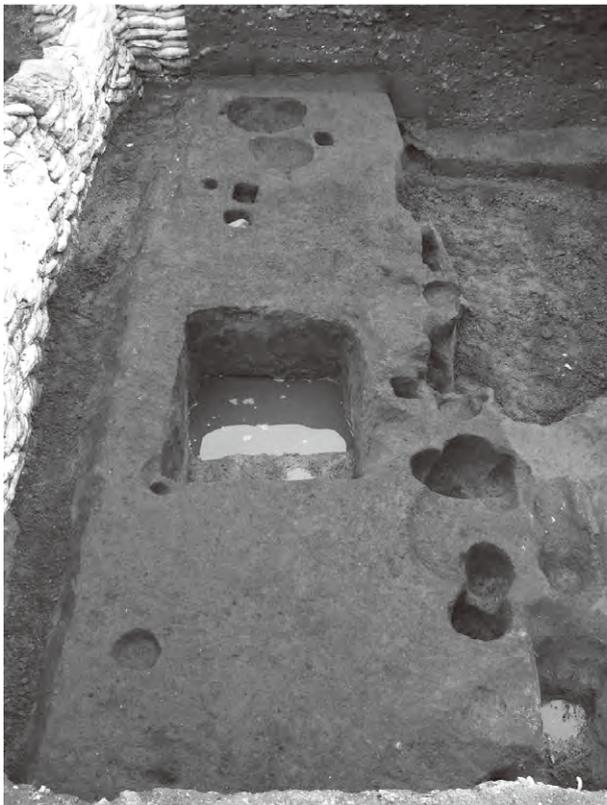
3. 地山砂中の貝層



4. 道路1c下～地山面 断面 (南西から)



5. 道路1a～地山面 調査区北壁断面 (南西から)



6. III区 道路1下 第4面 (北東から)



7. 第4面 遺構160 断面 (南西から)



8. 第4面 遺構160 (南東から)

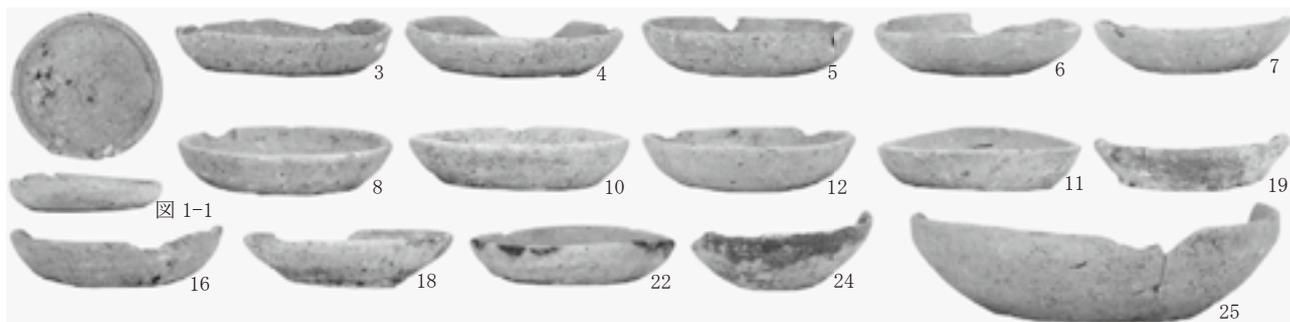
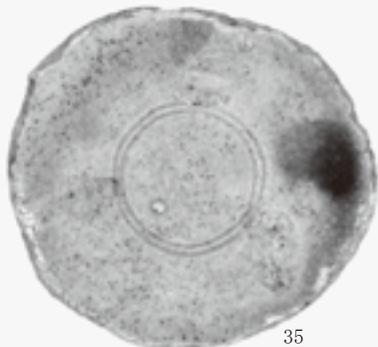


图 1-1



35



37



45



图 2-49



52



53



55



54



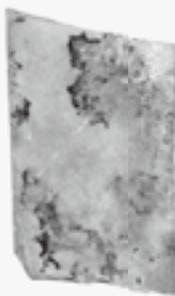
57



57



59



60



61



62

表土~1面

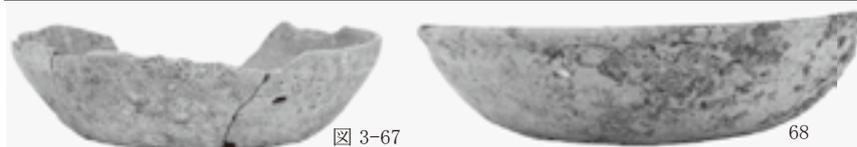
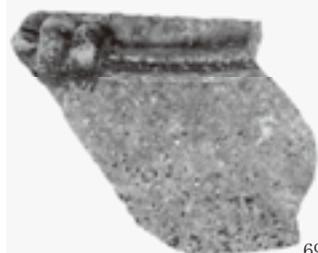


图 3-67

68



69



71

遺構 1



72



1面遺構



77



87

遺構 40



79

道 1a 下

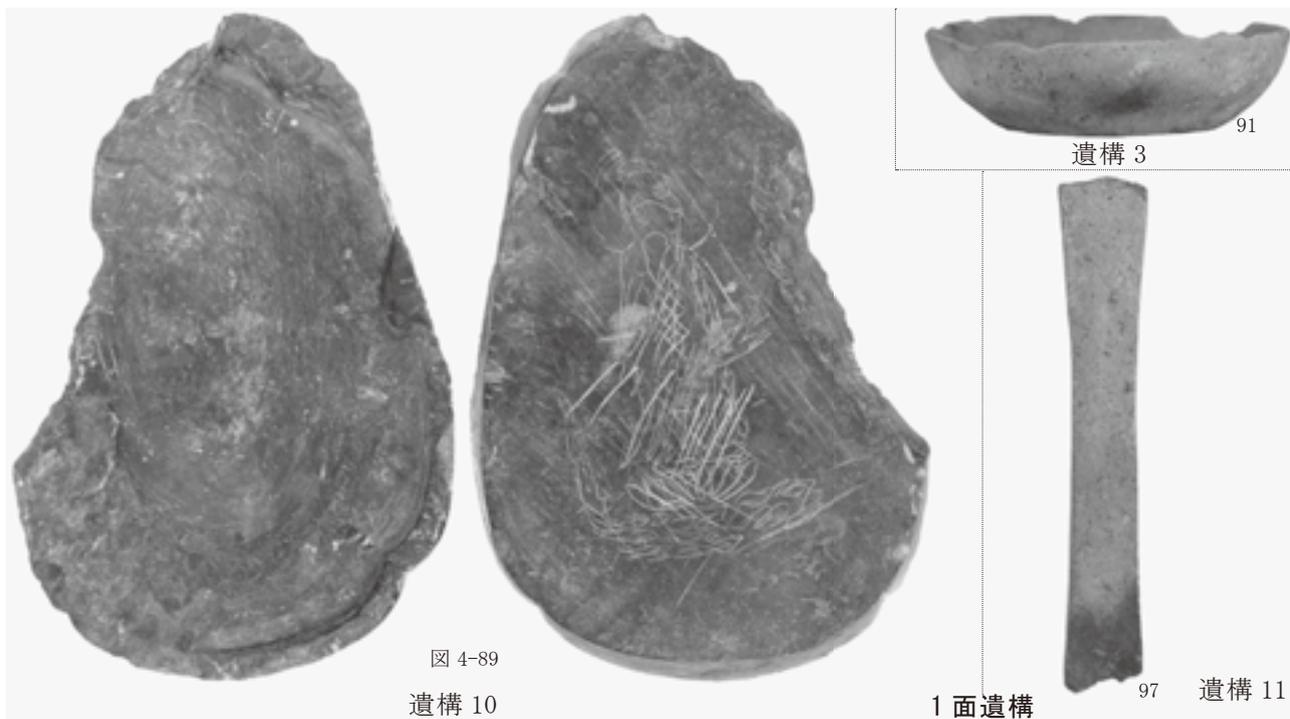


图 4-89
遺構 10

遺構 3
1 面遺構 97 遺構 11

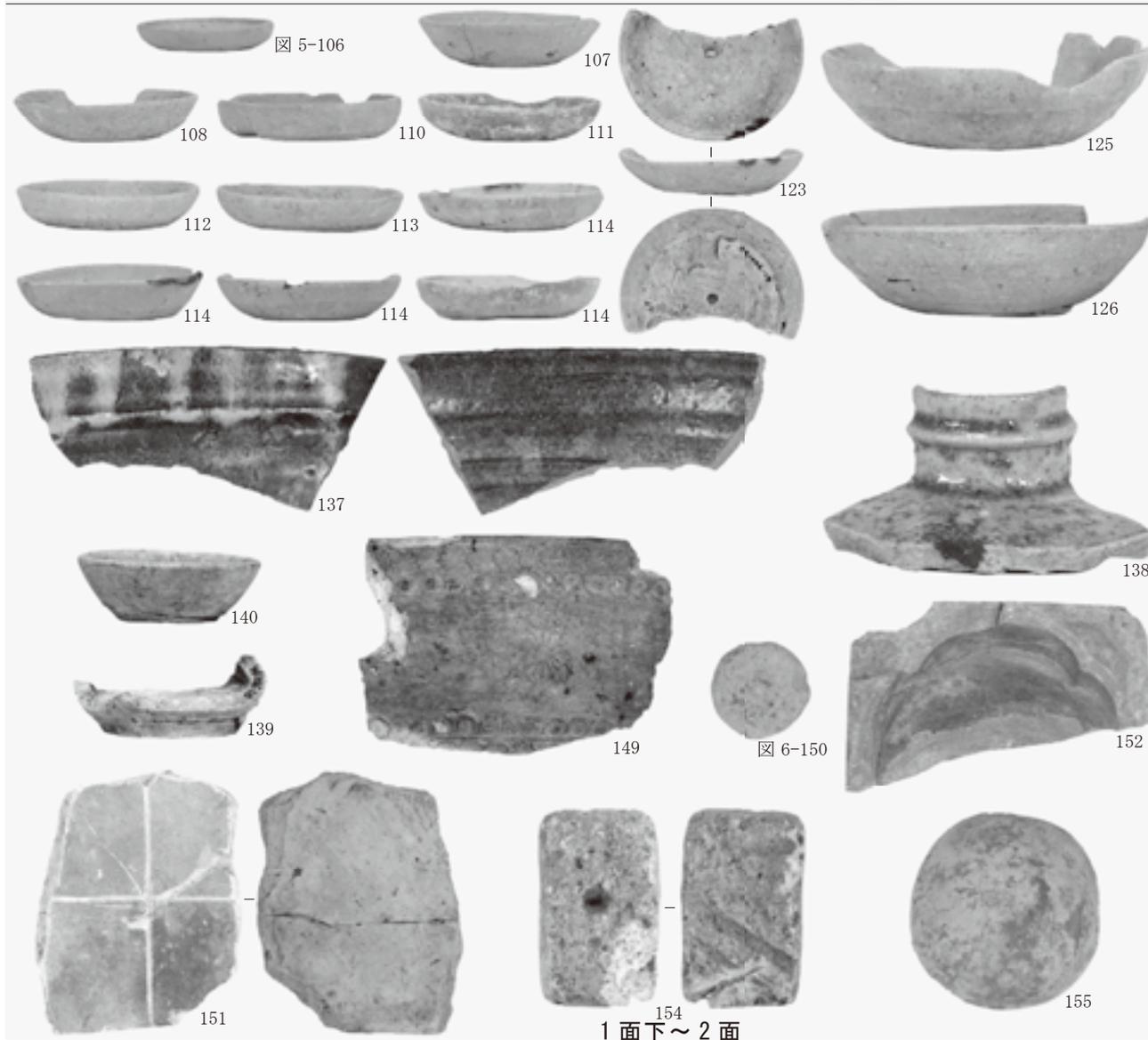
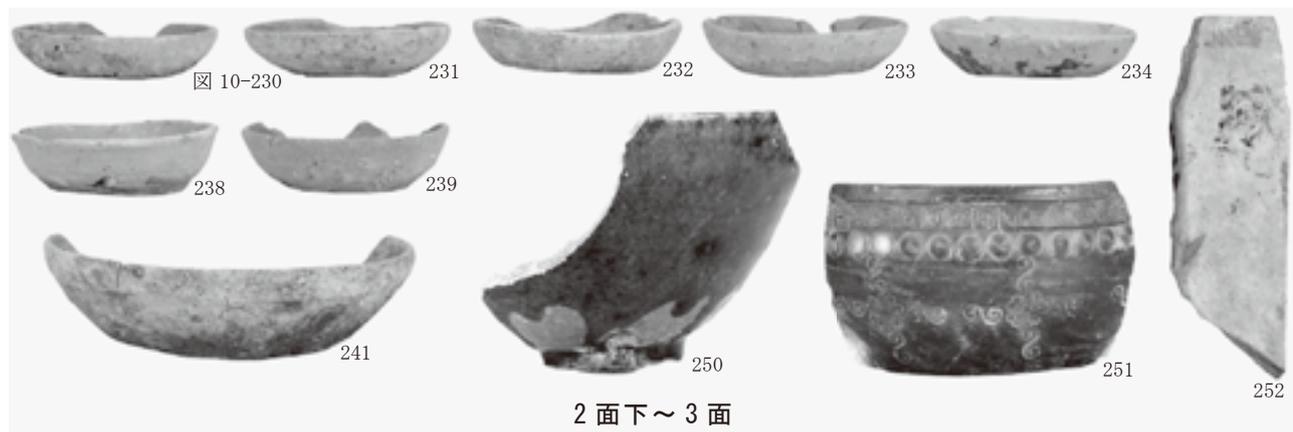


图 5-106

图 6-150

1 面下~2 面

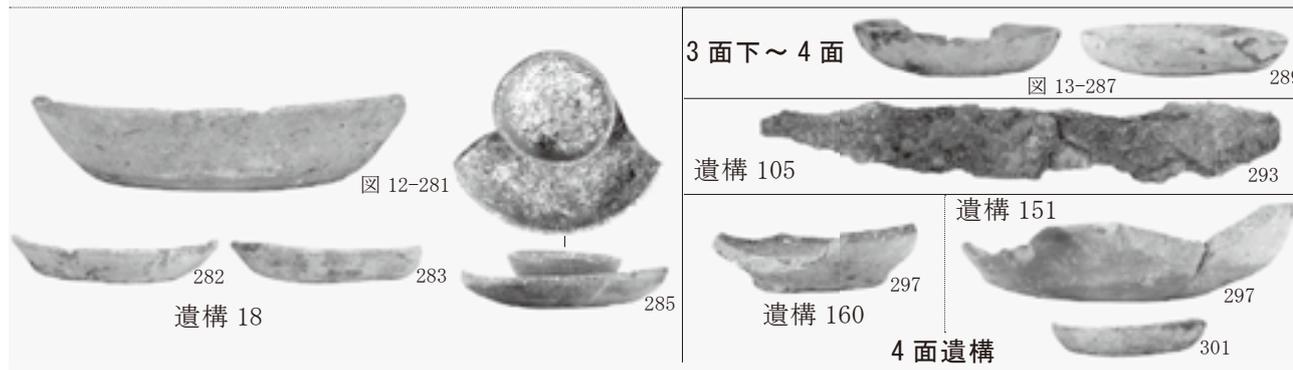
図版 10



2面下~3面



遺構 150



3面下~4面

遺構 18

遺構 105

遺構 151

遺構 160

4面遺構